

PeopleSoft®

EnterpriseOne 8.9
インストール・リファレンス・ガイド
PeopleBook

2003 年 9 月

PeopleSoft EnterpriseOne 8.9
インストール・リファレンス・ガイド PeopleBook
SKU AC89JRS0309

Copyright 2003 PeopleSoft, Inc. All rights reserved.

本書に含まれるすべての内容は、PeopleSoft, Inc. (以下、「ピープルソフト」) が財産権を有する機密情報です。すべての内容は著作権法により保護されており、該当するピープルソフトとの機密保持契約の対象となります。本書のいかなる部分も、ピープルソフトの書面による事前の許可なく複製、コピー、転載することを禁じます。これには電子媒体、画像、複写物、その他あらゆる記録手段を含みます。

本書の内容は予告なく変更される場合があります。ピープルソフトは本書の内容の正確性について責任を負いません。本書で見つかった誤りは書面にてピープルソフトまでお知らせください。

本書に記載されているソフトウェアは著作権によって保護されており、このソフトウェアの使用許諾契約書に基づいてのみ使用が許諾されます。この使用許諾契約書には、開示情報を含むソフトウェアと本書の使用条件が記載されていますのでよくお読みください。

PeopleSoft、PeopleTools、PS/nVision、PeopleCode、PeopleBooks、PeopleTalk、Vantiveはピープルソフトの登録商標です。Pure Internet Architecture、Intelligent Context Manager、The Real-Time Enterpriseはピープルソフトの商標です。その他すべての会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標である場合があります。ここに含まれている内容は予告なく変更されることがあります。

オープンソースの開示

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) が開発したソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 1999–2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved. このソフトウェアは「現状のまま」提供されるものとし、特定の目的に対する商品性および適格性の黙示保証を含む、いかなる明示または黙示の保証も行いません。Apache Software Foundationおよびその供給業者は、損害の発生原因を問わず、責任の根拠が契約、厳格責任、不法行為（過失および故意を含む）のいずれであっても、また損害の可能性が事前に知らされていたとしても、このソフトウェアの使用によって生じたいかなる直接的損害、間接的損害、付随的損害、特別損害、懲罰的損害、結果的損害に関しても一切責任を負いません。これらの損害には、商品またはサービスの代用調達、使用機会の喪失、データまたは利益の損失、事業の中断が含まれますがこれらに限らないものとします。

ピープルソフトは、いかなるオープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアおよび文書の使用または頒布に関しても一切責任を負わず、これらのソフトウェアや文書の使用によって生じたいかなる損害についても保証しません。

目次

概要	1
前提条件	1
サポート情報	1
J.D. Edwards の Web アドレス	2
サポート・レベル – ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナ	2
表記規則	4
タスク基本情報欄	4
考慮事項ボックス	5
ヒントおよびテクニックボックス	5
フォント	6
リリース 8.9 のディレクトリ構造	7
デプロイメント・サーバーのディレクトリ構造	7
言語のロード	11
Intel のディレクトリ構造	12
AS/400 ライブラリ	19
ワークステーションの一般的なディレクトリ構造	20
DB2 UDB データベース	24
概要	24
設定の変更	25
DB2 UDB におけるセキュリティ	25
他のデータベースとの比較	26
Oracle との比較	26
SQL Server との比較	27
DB2/400 との比較	27
リリース 8.9 のインストール手順	27
ユーザーとディレクトリの作成	27
リリース 8.9 データベース・スキーマ	28
F986116 DB2 サイズ設定テーブル	28
データ・ソース一覧	29
ビジネス・データ	29

セントラル・オブジェクト	31
コントロール・テーブル	33
データ辞書	35
LOCAL	36
マシン	37
OMW	39
システム言語	40
System Local	41
OWJRNL	42
サーバー・マップ	43
System(システム)	44
バージョンに関する規則	46
OCM の生成	49
OCM マッピング	49
データ・ソースの設定	49
OCM の作成	50
カスタマイズ	51
環境別のデフォルト OCM マッピング	54
デフォルトの標準環境	55
プロトタイプ環境(PY9)	55
その他のテーブル(CTL733、CTLAS400、CUMENV)	62
デプロイメント環境(DEP9)	62
開発環境(DV9)	67
プランナ環境(JDEPLAN)	74
旧リリースのプランナ環境(PREVPLAN)	79
プリステイン環境(JD9)	79
本稼働用環境(PD9)	86
テスト環境(TS9)	93
リリース 8.9 Java サーバー環境	100
Java CRP 環境(JPY9)	100
Java 開発環境(JDV9)	101
Java プリステイン環境(JJD9)	102
Java 本稼働用環境(JPD9)	103
Java テスト環境(JTS9)	104
Windows ターミナル・サーバー環境	105

Windows CRP 環境(WPY9).....	105
Windows 開発環境(WDV9).....	106
Windows プリステイン環境(WJD9).....	107
Windows 本稼働用環境(WPD9).....	108
Windows テスト環境(WTS9).....	109
主要なテクニカル・テーブル	111
レポート	127
Installation Planner Validation Report(R9840B).....	128
処理オプション	128
レポートの内容	129
Table and Index Creation(R98407).....	129
Environment Database Creation Report(R98403).....	130
処理オプション	130
レポートの内容	135
エラーおよび解決方法.....	136
データ辞書スペック・マージ・レポートとデータ辞書テキスト・マージ・レポート.....	138
処理オプション	138
エラーおよび解決方法.....	138
Object Librarian Modifications Report(R9840D).....	139
処理オプション	139
Table Conversion/Merge Driver Report(R98405).....	139
処理オプション	139
レポートの内容	140
Async Launch TC/UBE (R98405A).....	140
Report on Table Conversions (R984032).....	140
Object Specification Merge Report (R98700).....	141
処理オプション	141
レポートの内容	156
エラーおよび解決方法.....	159
オブジェクトのマージ状況の修正.....	160
Specification Merge Multithread Driver Report(R987001).....	160
レポートの内容	163
List Tables that Differ from OW Specs(R9698711).....	163
UDC マージ・レポート、データ辞書マージ・レポート、およびメニュー・マージ・レポート.....	164
処理オプション	164
Index Regeneration(R9698713).....	166
Pathcode Copy(R9800942).....	166

本稼働用環境のアップグレード	167
全般的なチェックリストと考慮事項	167
マージ	170
コントロール・テーブルのマージ	171
カスタマー・ベースのマージ	172
言語固有のテーブル	172
データ辞書のマージ	173
Solution Explorer のマージ	174
ユーザー定義コードのマージ	174
お気に入りのマージ	175
レポート・ディレクタ・テンプレートのマージ	175
ワンポイント・ヒントのマージ	175
ワークフローのマージ	176
スペックのマージ	177
オブジェクト・ライブラリアンのマージ	178
バージョン・リストのマージ	178
セントラル・オブジェクトのマージ	179
言語テキスト・アップデートのマージ	179

概要

本書には、AS/400、Windows、および UNIX システムに対する ERP のインストール、アップグレード、および PTF/Cum アップデートのリファレンス情報が記載されています。このガイドは、リリース 8.9 の設定項目一覧や各種手順の詳細など、トピック別の章で構成されています。

ここでは次の内容について説明します。

- 前提条件
- サポート情報
- 表記規則

前提条件

本書は、インストール担当者向けの『インストール・ガイド』、『アップグレード・ガイド』、および『PTF/Cum アップデート・ガイド』の付録となっています。これらのガイドの内容をまとめたものではありませんが、問題解決の際や詳細情報を必要とする際に使用する必要があります。

追加情報に関する他の資料は、次の構成プランニングおよびセットアップ用ガイドに記載されています。

- 『CNC インプリメンテーション』ガイド
- 『システム・アドミニストレーション』ガイド
- 『パッケージ管理』ガイド
- 『サーバー&ワークステーション・アドミニストレーション』ガイド

サポート情報

このガイドおよびインストール、アップグレード、アップデートの各プロセスに影響する重要な情報を Web サイトで提供しています。J.D. Edwards の社員とビジネス・パートナーは、J.D. Edwards Knowledge Garden (<https://knowledge.jdedwards.com>) から次の情報にアクセスできます。

- 最新のドキュメンテーション更新を参照するには、[Product]、[Knowledge] や [Publications/Translations]、[View/Download Guides]などを順にクリックします。
- 最新ニュースを参照するには、[Product]、[Knowledge]、[Breaking News]の順にクリックします。[Breaking News] ページで、[J.D. Edwards 5 Breaking News]、適切なリリース、[Technical]などをクリックします。
- 製品サポート情報を参照するには、[Product]、[Knowledge]、[Knowledge Browser]の順にクリックします。[Product Support] ページで、[ERP]、[Technical]などをクリックします。

- 最低限の技術要件を参照するには、[Product]、[J.D. Edwards 5]、[Minimum Technical Requirements]の順にクリックします。

ソフトウェアのインストール時に問題を解決できない場合は、ワールドワイド・カスタマー・サポートにお問い合わせください。ただし、質問はこのソフトウェアに関する内容に限ります。オペレーティング・システム、データベース、および他のソフトウェア製品に関する不明な点は、それぞれの製造販売元へお問い合わせください。

J.D. Edwards の Web アドレス

サポート関連の問題については、次の J.D. Edwards Web サイトを利用することができます。
<http://www.jdedwards.com>

通常の受付時間中には、Web、電子メール、またはファックスを介して送信した問題に対し 1 時間以内に確認が送られてきます。問題を電話で報告すると、即座に問題番号が割り当てられます。その問題に関する活動状況はすべてその番号で照会できるようになります。

サポート・レベル – ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナ

ゴールドおよびプラチナ・レベル(年中無休 24 時間受付)のサービスに契約している場合は、サポート対象の問題を随時問い合わせることができます。その際、お電話、電子メール、または Knowledge Garden の Log an Issue form(ご質問フォーム)をご利用いただけます。ご質問フォームを使用すると、ご依頼のサポート内容に関する情報が確実に記録されるため、このフォームを使用することをお勧めします。

シルバー・レベル(営業日のみ)のサービスに契約している場合は、最寄りのサポート・センターの営業時間内(月曜～金曜の 9 時～6 時)のみのサポートとなります。その場合、ゴールドおよびプラチナ・レベルと同様、お電話、電子メール、または Knowledge Garden のご質問フォームをご利用いただけます。ただし、このレベルでの契約では、営業時間外に受け付けた問題は翌営業日の対応となります。

ブロンズ・レベルのサービスに契約している場合は、サポートを利用するには Knowledge Garden を使用する必要があります。お電話、電子メール、ファックスその他の電子媒体によるサポートはご利用いただけません。

所在地	電話番号	ファックス番号、電子メール・アドレス
北米	1-800-289-2999	303-334-4141; denver_customer_support@jdedwards.com
南米 (以下の各国を除く)	00-1-303-334-4000	303-334-4141; denver_customer_support@jdedwards.com
メキシコ	95-800-784-4260	303-334-4141; denver_customer_support@jdedwards.com
ローカライゼーション (チリ)	1-230-020-5124	303-334-4141; denver_customer_support@jdedwards.com

ローカライゼーション (コロンビア)	980-153-560	303-334-4141; denver_customer_support@jdedwards.com
ローカライゼーション (ベネズエラ)	800-1-2743	303-334-4141; denver_customer_support@jdedwards.com
ローカライゼーション (アルゼンチン)	001-800-333-1111、303-488- 4639-9194、1-800-784-4260	303-334-4141; denver_customer_support@jdedwards.com
エクアドル	999-170、303-488-4639-9194、1- 800-784-4260	303-334-4141; denver_customer_support@jdedwards.com
ローカライゼーション (ペルー)	170(携帯電話の場合は 199)、 303-488-4639-9194、1-800-784- 4260	303-334-4141; denver_customer_support@jdedwards.com
ブラジル	00081-4-550-2779	303-334-4141; denver_customer_support@jdedwards.com
ヨーロッパ EMEA (以下 の各国を除く)	44-1494-682-682	44-1494-682-698; london_customer_support@jdedwards.com
フランス	33-1-44-74-20-15	44-1494-682-698; london_customer_support@jdedwards.com
ドイツ	49-6103-762-110	44-1494-682-698; london_customer_support@jdedwards.com
オランダ	31-35-548-0222	44-1494-682-698; london_customer_support@jdedwards.com
イタリア	39-02-2696-7612	44-1494-682-698; london_customer_support@jdedwards.com
アジア/太平洋諸国 (以下の各国を除く)	65-895-9656	65-227-2698; singapore_customer_support@ jdedwards.com
中国(北京、上海)	10-800-650-0099	65-227-2698; singapore_customer_support@ jdedwards.com
中国(上記以外の 地域)	108-657 または 108-650、音声に よる指示に従ってシンガポール 895-9656 に接続	65-227-2698; singapore_customer_support@ jdedwards.com
香港	800-90-3055	
マレーシア	1-800-80-1557	
日本	0034-800-400429(無料国際電話) 0120-174-074(フリーダイヤル) 03-5571-5713	03-5571-5704; japan_customer_support@jdedwards.com

オーストラリア	1-800-145-200	
---------	---------------	--

表記規則

ここでは、このガイドで使用している表記規則について説明します。

一部の情報は、該当するインストール・ガイド、アップグレード・ガイド、または PTF/Cum アップデート・ガイドを参照していることに注意してください。該当するガイドとは、それぞれ IBM AS/400、Microsoft Windows NT、UNIX など、それぞれのプラットフォーム用のガイドのことを意味します。

タスク基本情報欄

タスク基本情報欄には、実行しなければならない各タスクを示しています。各タスク基本情報欄には、各タスクに関する次の基本情報が含まれています。

タスク基本情報欄の情報を参考にして、各タスクの所要時間を見積り、プランを作成して準備することができます。実際の所要時間と工数は、大幅に異なる場合があります。

次のタスク基本情報欄はこのガイドの例です。

スタッフ	インストール担当者またはデータベース管理者
ログオン状況	パスワードと共にユーザー JDE でサインオンします。
前提条件	このタスクでリストされているライブラリにアクセスしていることを確認します。
同時に行うタスク	なし。このタスクを完了しなければ、次のタスクには進めません。

- スタッフ – タスクを正常に完了させるために必要なスキル・レベル。たとえば、Oracle データベース管理者など、専門のスキルを持つスタッフを必要とする場合があります。特に明記されていない限り、各タスクはインストール担当者が完了できます。ここで指定されるスタッフのタイプは、次のとおりです。
 - インストール担当者 – ほとんどのタスクと処理を実行するスタッフ
 - データベース管理者 – SQL Server や Oracle などのデータベース・ソフトウェアに関して特殊なスキルや知識を持つスタッフ。タスクの内容によっては、必ずデータベース管理スキルを持つスタッフの実施または支援することをお勧めします。
 - システム管理者 – ログイン名の発行やセキュリティ管理などのタスクを実行するためのアクセス権限を持つスタッフ。タスク基本情報欄にシステム管理者と明記されている場合、そのタスクを完了するにはこの管理権限を持ったスタッフが必要です。
- ログオン状況 – タスクを開始するためにログオンする必要のあるマシン、ソフトウェア、および該当する場合はリリース 8.9 の環境を示します。たとえば、Microsoft Windows Explorer、SQL Server、または EnterpriseOne の使用を必要とする場合があります。該当する場合は、ここに使用するユーザー ID とパスワードも記載されています。

- **前提条件** – このタスクを開始する前に完了しなければならないタスクまたはステップ。前提条件がない場合、ここには「なし」と記載されています。
- **同時に行うタスク** – このタスクの処理中に完了できるタスク(該当する場合)。

考慮事項ボックス

考慮事項ボックスには、共存環境、データベース、並行リリース、言語オプション、またはリリース 8.9 のセットアップに必要なその他の情報が記載されています。このボックスの見出しが当てはまる場合は、内容をよくお読みください。

これは、アップグレードの成否に影響する重要な情報です。次に例を示します。

パス・コードに関する考慮事項

JD9 のパス・コード、またはその関連パッケージを使用する場合は、JD7334 ディレクトリ構造を削除しないでください。ただし、そのディレクトリが B9 用のプリステイン(オリジナル)オブジェクトのコピーにすぎない場合は、削除することができます。

ヒントおよびテクニックボックス

このボックスには、リリース 8.9 のセットアップ・プロセスを簡素化するためのヒントとテクニックが記載されています。ヒントとテクニックは、省略してもかまいませんが知っておくと便利な情報です。次に例を示します。

ヒントおよびテクニック

〈Object Librarian Modifications Report (オブジェクト・ライブラリアン修正レポート)〉(R9840D)を印刷することもできます。このレポートには、追加されたオブジェクトと修正されたオブジェクトがすべて表示されます。アップグレード完了後に、このレポートを検討し、オブジェクト修正が新リリースにも反映されたかどうかを検証してください。〈Object Librarian Modifications Report〉の詳細については、『インストール・リファレンス・ガイド』の「レポート」を参照してください。

トラブルシューティング・ボックス

このボックスには、関連タスクまたはプロセスのためのトラブルシューティング情報が記載されています。トラブルシューティング情報を参考にして、アップグレード中に発生する問題を回避することができます。次に例を示します。

トラブルシューティング

リブートすると、DLL の更新が終了しない場合があります。その場合は、デプロイメント・サーバーを手動でシャットダウンし、再起動して処理を終了してください。

アイコン

次の記号は、その段落の内容を視覚的に伝えます。

「注意」記号は、注意を必要とする結果を示します。また、特定の操作によって回復不能なデータの消失など、重大な事態を招く状況を警告している場合もあります。

旗記号は、リリース 8.9 構成処理の一部として英語以外の言語をインストールまたはアップグレードする場合に実施する必要がある手順、タスク、またはステップを示します。英語以外の言語が必要でない場合は、この記号が付いている情報を無視することができます。



フォント

本書では、次の特殊フォントを使用しています。

イタリック(斜体)は変数を示します。たとえば、コマンドに入力しなければならない変数 *deploymentserver* が表示されている場合は、*deploymentserver* 句を実際のデプロイメント・サーバー名に置き換えてください(尚、英語オリジナル・ガイドではガイド名についてもイタリックで表記していますが、日本語ガイドでは、他のガイド名は標準体で表記し、『』で囲んでいます。たとえば、『インストール・ガイド』のように書かれています)。

クーリエ・フォントは、実際に入力する必要があるコマンドや値などの情報を示します。次に使用例を示します。

DEVTEMP など、インストールする環境の名称を入力してください。

リリース 8.9 のディレクトリ構造

下記の表は、デプロイメント・サーバー、エンタープライズ・サーバー、およびワークステーション用の EnterpriseOne のディレクトリ構造を示しています。これらのディレクトリ構造を把握して、リリース 8.9 が正常にアップグレードされたかどうかを検証する必要があります。

J.D. Edwards 推奨の共有パス名を使用していれば、アップグレード・プロセスで旧リリースが削除されたり、上書きされることはありません。既存の B7333 または B7334 のディレクトリに加えて B9 ディレクトリが作成されます。

推奨構成は、サーバーにマップされるすべてのビジネス関数に適合します。ただし、クライアント開発環境の場合は、すべてのビジネス関数をローカルにマップする必要があります。

ここでは次の内容について説明します。

- デプロイメント・サーバーのディレクトリ構造
- 言語のロード
- Intel およびディレクトリ構造
- AS/400 ライブラリ
- ワークステーションの汎用ディレクトリ構造

デプロイメント・サーバーのディレクトリ構造

リリース 8.9 をデプロイメント・サーバーにインストールすると、ディレクトリ構造は次のようになります。

ディレクトリ名	定義
¥PeopleSoft¥B9¥CD Templates¥Esu & Asu	
¥PeopleSoft¥B9¥CD Templates¥Esu & Asu	
¥PeopleSoft¥B9¥CD Templates¥Esu & Asu¥planner¥Package	
¥PeopleSoft¥B9¥CD Templates¥Esu & Asu¥planner¥Package¥PKGNAME	
¥PeopleSoft¥B9¥Client	
¥PeopleSoft¥B9¥Database	データベース・セットアップ・スクリプト
¥PeopleSoft¥B9¥Database¥Exports	

¥PeopleSoft¥B9¥Database¥Exports¥DB2UDB	
¥PeopleSoft¥B9¥Database¥Exports¥Oracle	Oracle インポート・ファイル と SQL Server スクリプト
¥PeopleSoft¥B9¥Database¥Exports¥SQLSrvr	
¥PeopleSoft¥B9¥Database¥Exports¥DB2UDB¥Templates	
¥PeopleSoft¥B9¥Database¥Exports¥Oracle¥NT	セントラル・オブジェクト・テー ブルのロード用の NT バッチ・ ファイル
¥PeopleSoft¥B9¥Database¥Exports¥Oracle¥Unix	セントラル・オブジェクト・テー ブルのロード用の UNIX オペ レーティング・システム・スクリ プト
¥PeopleSoft¥B9¥Database¥Exports¥SQLSrvr¥NT	
¥PeopleSoft¥B9¥Helps	オンライン・ヘルプ・ファイル
¥PeopleSoft¥B9¥HelpsComp	
¥PeopleSoft¥B9¥Hosts	ホスト・スクリプトおよびプロ グラム
¥PeopleSoft¥B9¥Hosts¥AS400	ホスト・インストール・オブジェ クトの一部。プラットフォーム固有 のオブジェクトをインストールす るまで、各ファイルを格納
¥PeopleSoft¥B9¥Hosts¥Hp9000	ホスト・インストール・オブジェ クトの一部。プラットフォーム固有 のオブジェクトをインストールす るまで、各ファイルを格納
¥PeopleSoft¥B9¥Hosts¥IntelNT	JDE 初期化ファイル (JDE.INI)
¥PeopleSoft¥B9¥Hosts¥RS6000	ホスト・インストール・オブジェ クトの一部。プラットフォーム固有 のオブジェクトをインストールす るまで、各ファイルを格納
¥PeopleSoft¥B9¥Hosts¥Sun	
¥PeopleSoft¥B9¥MediaObj	ランタイム用メディア・オブジェ クト

¥PeopleSoft¥B9¥OneWorld Client Install	
¥PeopleSoft¥B9¥OneWorld Client Install¥Font	
¥PeopleSoft¥B9¥OneWorld Client Install¥Misc	
¥PeopleSoft¥B9¥OneWorld Client Install¥Push Install Listener	
¥PeopleSoft¥B9¥OneWorld Client Install¥ThirdParty	
¥PeopleSoft¥B9¥OneWorld Client Install¥ThirdParty¥MSDE	
¥PeopleSoft¥B9¥OneWorld Client Install¥ThirdParty¥MSDE¥MSI	
¥PeopleSoft¥B9¥OneWorld Client Install¥ThirdParty¥MSDE¥MSM	
¥PeopleSoft¥B9¥OneWorld Client Install¥ThirdParty¥MSDE¥RESOURCES	
¥PeopleSoft¥B9¥OneWorld Client Install¥ThirdParty¥MSDE¥SETUP	
¥PeopleSoft¥B9¥OneWorld Client Install¥ThirdParty¥MSDE¥MSM¥1033	
¥PeopleSoft¥B9¥Planner	
¥PeopleSoft¥B9¥Planner¥bin32	アプリケーションとビジネス関数の.DLL ファイル
¥PeopleSoft¥B9¥Planner¥Data	
¥PeopleSoft¥B9¥Planner¥res	アプリケーションのビットマップ・オブジェクト
¥PeopleSoft¥B9¥Planner¥spec	
¥PeopleSoft¥B9¥Planner¥res¥AVI Files	
¥PeopleSoft¥B9¥Planner¥res¥FormLines	
¥PeopleSoft¥B9¥Planner¥res¥Icons	
¥PeopleSoft¥B9¥Planner¥res¥images	
¥PeopleSoft¥B9¥Planner¥res¥treebmps	
¥PeopleSoft¥B9¥Solution Modeler Client	

¥PeopleSoft¥B9¥SolutionExplorer	
¥PeopleSoft¥B9¥System	
¥PeopleSoft¥B9¥SystemComp	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥012003_OneWorld_ERP9.0_SP0_A1	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Bin32	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Classes	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Include	本稼働用のビジネス関数ヘッダー(.H)ファイル
¥PeopleSoft¥B9¥System¥IncludeV	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Lib32	ビジネス関数のインポート・ライブラリ
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Libv32	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Locale	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Models	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥OWPatrol	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Resource	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Classes¥samples	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥IncludeV¥unicode	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Locale¥Iconv	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Locale¥Uconvtab	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Locale¥Xml	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥OWPatrol¥owkm	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥OWPatrol¥owkm¥images	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥OWPatrol¥owkm¥km	

¥PeopleSoft¥B9¥System¥OWPatrol¥owkm¥psl	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Resource¥cidfont	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Resource¥cmap	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Resource¥encoding	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Resource¥font	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Resource¥iccprofile	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Resource¥truetype	
¥PeopleSoft¥B9¥System¥Resource¥font¥pfm	

言語のロード

次の表は、EnterpriseOne 8.9 ランゲージ CD のディレクトリ構造を示しています。このディレクトリ構造を把握して、言語が正常にインストールされたかどうかを検証する必要があります。

ディレクトリ名	定義
LANGUAGE	OneWorld 言語インストール用の言語名
Helps	言語のヘルプ・ファイル
SolutionExplorer	Solution Explorer 言語ファイル
PLANNER	プランナ・パス・コード
DATA	言語データベース

Intel のディレクトリ構造

〈Host Workbench(ホスト・ワークベンチ)〉を実行すると、エンタープライズ・サーバーのディレクトリ構造は次のようになります。

C:\B9\DV9	
C:\B9\PrintQueue	
C:\B9\system	
C:\B9\DV9\bin32	
C:\B9\DV9\data	
C:\B9\DV9\include	本稼働用ビジネス関数のインクルード(.H)ファイル
C:\B9\DV9\lib32	ビジネス関数のインポート・ライブラリ
C:\B9\DV9\make	
C:\B9\DV9\obj	ビジネス関数用のオブジェクト・コード
C:\B9\DV9\res	
C:\B9\DV9\source	ビジネス関数のソース
C:\B9\DV9\spec	レプリケートされたローカル・オブジェクト
C:\B9\DV9\work	
C:\B9\DV9\res\AVI Files	
C:\B9\DV9\res\FormLines	
C:\B9\DV9\res\Icons	
C:\B9\DV9\res\images	
C:\B9\DV9\res\treebmps	
C:\B9\system\Bin32	システムの実行可能ファイル
C:\B9\system\Classes	
C:\B9\system\Explorer	
C:\B9\system\Generator	
C:\B9\system\Include	システムのインクルード・ファイル
C:\B9\system\IncludeV	
C:\B9\system\Lib32	
C:\B9\system\Libv32	

C:\B9\system\Locale	
C:\B9\system\Models	
C:\B9\system\OWPatrol	
C:\B9\system\Resource	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\lib	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\bpm	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\bpmweb	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\jas	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\oneworld	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\printqueuecenter	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\redirector	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\saw	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\services	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\taskexplorer	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\util	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\workflow	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\xts	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\beans	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\behaviorcom	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\cache	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\datatypes	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\exception	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\gui	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\imagegenerator	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\logging	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\owsecurity	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\resource	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\spec	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\timer	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\util	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\webgui	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\gui\explorer	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\gui\util	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\logging\log4j	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\logging\saw	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\logging\test	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\util\cache	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\util\ftp	

C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\util\smtp	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\base\util\threadpool	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\bpm\utils	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\bpmweb\broker	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\bpmweb\Handlers	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\bpmweb\Util	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\base	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\explorer	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\jdbc	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\services	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\application	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\as400	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\businessview	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\condensed	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\config	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\datacache	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\formatter	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\logical	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\oracle	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\physical	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\resultset	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\retry	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\security	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\signon	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\sql	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\sqlserver	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\standalone	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\transaction	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\transform	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\trigger	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\udb	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\impl\usage	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\database\services\base	
C:\B9\system\Generator\WEB-	

INF\classes\com\jdedwards\database\services\bootstrap	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\database\services\company	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\database\services\ocm	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\database\services\role	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\database\services\security	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\database\services\serviceobj	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\database\services\spec	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\database\services\udc	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\jas\bsfnplugin	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\jas\exception	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\jas\net	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\jas\res	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\jas\security	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\jas\services	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\jas\transaction	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\jas\services\anonuser	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\jas\services\env	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\jas\services\userpref	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\oneworld\ifc	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\beans	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\components	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\js	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\util	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\components\envcheck	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\components\hr	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\components\importer	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\components\linkCenter	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\components\reportcenter	
C:\B9\system\Generator\WEB- INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\components\sarsystem	

C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\components\webcheck	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\components\workcenter	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\oneworld\owportal\components\reportcenter\client	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\beans	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\client	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\components	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\datahandler	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\defaults	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\gui	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\js	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\unittest	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\util	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\client\JdeTreeControl	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\components\envcheck	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\components\importer	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\components\linkcenter	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\components\login	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\components\rss	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\components\saw	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\components\search	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\components\webcheck	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\components\importer\upload	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\util\cache	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\portal\util\gui	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\base	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\engine	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\er	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\event	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\generator	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\interfac	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\model	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\swing	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\virtual	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\vtcomponent	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\engine\form	

C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\engine\version	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\er\erobjects	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\generator\engine	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\generator\jniinclude	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\generator\model	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\generator\view	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\model\form	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\model\grid	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\virtual\input	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\virtual\output	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\virtual\xapi	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\vtcomponent\form	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\vtcomponent\grid	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\runtime\vtcomponent\version	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\saw\sawagent	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\saw\sawchart	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\saw\sawcomm	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\saw\sawdb	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\saw\sawjalog	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\saw\sawjdbj	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\saw\sawlog	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\saw\sawsuperagent	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\saw\smc	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\saw\smcgui	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\services\login	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\services\objectlookup	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\services\login\display	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system\kernel	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system\lib	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system\net	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system\security	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system\xml	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system\kernel\jdesaw	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system\lib\cache	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system\security\as400	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system\security\db	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system\security\proxy	

C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\system\xml\test	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\taskexplorer\actions	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\taskexplorer\db	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\taskexplorer\filters	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\taskexplorer\gui	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\taskexplorer\launchers	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\taskexplorer\gui\tagext	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\util\imagegenerator	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\workflow\DesignEngine	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\workflow\monitoring	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\workflow\util	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\xts\serverproxy	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\xts\test	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\xts\xtse	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\xts\xtsm	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\xts\xtsr	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\xts\xtse\adapters	
C:\B9\system\Generator\WEB-INF\classes\com\jdedwards\xts\xtsr\adapters	
C:\B9\system\IncludeV\unicode	
C:\B9\system\Locale\Iconv	
C:\B9\system\Locale\Uconvtab	
C:\B9\system\Locale\Xml	
C:\B9\system\OWPatrol\owkm	
C:\B9\system\OWPatrol\owkm\images	
C:\B9\system\OWPatrol\owkm\km	
C:\B9\system\OWPatrol\owkm\psl	
C:\B9\system\Resource\cidfont	
C:\B9\system\Resource\cmap	
C:\B9\system\Resource\encoding	
C:\B9\system\Resource\font	
C:\B9\system\Resource\iccprofile	
C:\B9\system\Resource\truetype	
C:\B9\system\Resource\font\pfm	

AS/400 ライブラリ

リリース 8.9 ソフトウェアをエンタープライズ・サーバーに転送して〈Installation Workbench (インストール・ワークベンチ)〉を実行すると、エンタープライズ・サーバーのライブラリは次のようになります。この場合、xxxx はインストールするリリース (B7332 など) です。

	ライブラリ名	IFS	定義
インストール	JDEOW		メニューと実行可能プログラム
	OWINSTALL		ホスト CD からのファイルを格納
ホスト・アプリケーション	B9SYS	B9SYS classes include includea includev locale resource INI output queue	J.D. Edwards ERP ファンデーション
		ONEWORLD パッケージ	パッケージのソース、インクルードおよびスペック・ファイル
共有	DD9 OL9 SVM9 SY9 OWJRNL		データ辞書テーブル オブジェクト・ライブラリアン・テーブル サーバー・マップ・テーブル システム・テーブル 実行記録
		JDEB9	J.D. Edwards ERP ログ・ファイル
環境			
DV9 (開発)	TESTCTL		コントロール・テーブルとデータ辞書テーブル
	TESTDTA		ビジネス・データ・テーブル
	CODV9		セントラル・オブジェクトおよびバージョン・テーブル
	DV9		パス・コード・サービス・プログラム
	DV9FA		親パッケージ・サービス・プログラム
		DV9/specfile	パス・コード・スペック

JD9 (プリスティン)	PRISTCTL PRISTDTA COJD9 JD9 JD9FA JD9/specfile	コントロール・テーブルとデータ辞書テーブル ビジネス・データ・テーブル セントラル・オブジェクトおよびバージョン・テーブル パス・コード・サービス・プログラム 親パッケージ・サービス・プログラム パス・コード・スペック
PD9 (本稼働用)	PRODCTL PRODDTA COPD9 PD9 PD9FA PD9/specfile	コントロール・テーブルとデータ辞書テーブル ビジネス・データ・テーブル セントラル・オブジェクトおよびバージョン・テーブル パス・コード・サービス・プログラム 親パッケージ・サービス・プログラム パス・コード・スペック
PY9 (プロトタイプ)	CRPCTL CRPDTA COPY9 PY9 PY9FA PY9/specfile	コントロール・テーブルとデータ辞書テーブル ビジネス・データ・テーブル セントラル・オブジェクトおよびバージョン・テーブル パス・コード・サービス・プログラム 親パッケージ・サービス・プログラム パス・コード・スペック

ワークステーションの一般的なディレクトリ構造

リリース 89 をワークステーションにインストールすると、ローカル・ディレクトリ構造は次のようになります。

¥PeopleSoft¥ddp
¥PeopleSoft¥ddp¥B9
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥Log
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥output
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥PD9
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥PrintQueue
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥queues
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥bin32
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥include
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥spec
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CAEC
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CALLBSFN
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CCONVERT

¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CCORE
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CCRIN
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CDBASE
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CDDICT
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CDESIGN
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CDIST
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CDMDSCH
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CEPM
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CFIN
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CFND
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CHRM
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CINSTALL
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CINV
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CLOC
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CLOG
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CMFG
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CMFGBASE
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥COBJLIB
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥COPBASE
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CPAY
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CRES
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CRUNTIME
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CSALES
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CTC
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CTOOL
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CTRAN
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CTRANS
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CWARE
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥CWRKFLOW
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥JDBTRG1
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥JDBTRG2
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥obj¥JDBTRG3
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CAEC
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CALLBSFN
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CCONVERT
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CCORE
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CCRIN
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CDBASE
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CDDICT
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CDESIGN
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CDIST
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CDMDSCH
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CEPM
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CFIN
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CFND
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CHRM
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CINSTALL

¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CINV
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CLOC
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CLOG
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CMFG
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CMFGBASE
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥COBJLIB
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥COPBASE
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CPAY
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CRES
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CRUNTIME
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CSALES
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CTC
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CTOOL
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CTRAN
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CTRANS
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CWARE
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥CWRKFLOW
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥JDBTRG1
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥JDBTRG2
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥packages¥PD9FA¥source¥JDBTRG3
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥PD9¥bin32
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥PD9¥spec
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥PD9¥spec¥JDE
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥queues¥control
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥queues¥outqueue
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥bin32
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥Classes
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥include
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥includev
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥lib32
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥libv32
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥locale
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥owpatrol
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥resource
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥Classes¥samples
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥includev¥unicode
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥locale¥iconv
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥locale¥uconvtab
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥locale¥xml
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥owpatrol¥owkm
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥owpatrol¥owkm¥images
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥owpatrol¥owkm¥km
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥owpatrol¥owkm¥psl
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥resource¥cidfont
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥resource¥cmap
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥resource¥encoding
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥resource¥font

¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥resource¥iccprofile
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥resource¥truetype
¥PeopleSoft¥ddp¥B9¥system¥resource¥font¥pfm

DB2 UDB データベース

リリース 8.9 でサポートされる新たなデータベースは、IBM の DB2 UDB です。ここでは、DB2 UDB データベースの機能と、他のデータベースとの違いについて詳細に説明します。

ここでは次の内容について説明します。

- 概要
- 設定の変更
- DB2 UDB におけるセキュリティ
- 他のデータベースとの比較
- リリース 8.9 のインストール手順

概要

DB2 UDB は、IBM の Windows および UNIX 用データベース・マネージャです。他のデータベースとほぼ同じですが、顕著な違いもいくつかあります。

その一例が、DB2 UDB インストール環境におけるオブジェクト階層です。

- インストール
 - インスタンス
 - データベース
 - 表スペース
 - オブジェクト - 表、索引など

インスタンスはノードと見なすこともできます。データベースは、アプリケーションの最下位接続レベルです(つまり、アクセス先データベースごとに少なくとも 1 つは接続を確立する必要があります)。

リリース 8.9 では、DB2 UDB データベースの次のアイテムを使用します。

- システム・カタログ・テーブル
- 表領域
- バッファ・プール
- スキーマ
- 表と索引
- グループとユーザー

DB2 UDB データベースでスペースを管理するには、2 つの方法があります。一方は、システム管理ストレージ(SMS)を使用する方法です。SMS では、各表スペースはディスク上の固有のディレクトリであり、随時拡張および縮小されます。他方は、データベース管理ストレージ(DMS)です。DMS では、ディスク上で事前割当て済みのスペースが使用され、拡張または縮小されることはありません。リリース 8.9 では、DMS ストレージ管理を使用します。

MDS では、ディスク上で必要以上のスペースが自動的に割り当てられることはなく、表スペース・コンテナにどの程度のデータが格納されているかをモニタリングするのはユーザーの責任です。割当て済みスペースを増やすには、表スペース・コンテナを追加します。

設定の変更

DB2 UDB データベースと共にリリース 8.9 を正常にインストールするには、多数のデフォルト設定を変更する必要があります。DB2 UDB データベースには、複数の設定レベルがあります。次に例を示します。

- **インストール・レベルの設定:**これらの設定を変更するには、db2set コマンドを使用します。設定変更を有効にするには、インスタンスを再起動する必要があります。
- **インスタンス・レベルの設定:**これらの設定を変更するには、db2set -i コマンドと update dbm cfg コマンドを使用します。設定変更を有効にするには、インスタンスを再起動する必要があります。
- **データベース・レベルの設定:**これらの設定を更新するには、db cfg for "database name" コマンドを使用します。設定変更を有効にするには、データベースまたはインスタンスを再起動する必要があります。
- **インスタンスの再起動:**この操作には、db2stop コマンドと db2start コマンドを使用します。この操作を行っても、管理サーバーは停止しません。
- **データベースの再起動:**この操作を行うには、DEACTIVATE DB "database name" コマンドと ACTIVATE DB "database name" コマンドを使用する方法、またはインスタンスを再起動する方法があります。

DB2 UDB におけるセキュリティ

データベースを使用する際には、常にセキュリティが問題になります。UNIX マシンの場合、root アカウ
ントは表スペースを作成できないため、インスタンス所有者がこの操作を実行する必要があります。
Windows 2000 マシンの場合は、ローカル・システム管理者が表スペースを作成する必要があります。

DB2 UDB のパスワード・チェックは、DB2 UDB ではなくオペレーティング・システムにより実行されます。
したがって、JDE のみでなくすべてのデータ所有者を、オペレーティング・システム・アカウントとして定義
する必要があります。パスワードを有効にするには、英大文字のみで指定してください。たとえば、

アカウント:jde
パスワード:JDE

これらのアカウントは、すべて OWSHARE システム・グループの一部です。これらのアカウント設定の詳細は、『EnterpriseOne 8.9 インストール・ガイド』を参照してください。UNIX マシンの場合、リリース 8.9 サービスを開始するにはアカウント jdeb9 を使用します。したがって、jdeb9 には補助グループとして OWSHARE を設定する必要があります。OWSHARE 権限を db オブジェクトに付与するには、DB2 UDB のスクリプトを使用します。

DB2 UDB で使用されている用語には、スキーマなど、リリース 8.9 ユーザーになじみのない用語があります。スキーマは、他のデータベース・システムにおける所有者に相当します。実際に、スキーマが表を所有しているわけではありませんが、リリース 8.9 のコードでそのように扱われます。DB2 UDB では、表の作成後はスキーマを変更できません。エクスポートしたデータは、任意のスキーマにロードできます。

DB2 UDB では、文字 SYS で始まるコードはすべて予約語として扱われます。このため、リリース 8.9 ではスキーマ/所有者 SYSxxx を使用できません。

他のデータベースとの比較

他のデータベース管理システムに詳しい場合、DB2 UDB を理解する上で最も簡単な方法は両者を比較することです。

比較対象として次のデータベースを使用します。

- Oracle との比較
- SQL Server との比較
- DB2/400 との比較

Oracle との比較

DB2 UDB のインストール内容は、Oracle のインストール内容と同等です。Oracle と DB2 UDB データベースに直接の等価性はありません。DB2 UDB インスタンスは、Oracle インスタンスと同じです。Oracle では、インスタンスへの接続は tnsnames.ora と listener.ora で定義されます。DB2 では、接続はデータベース・レベルで CATALOG NODE コマンドと CATALOG DB コマンドを使用して定義されます。Oracle と DB2 UDB の大きな違いは、DB2 UDB では、インスタンスを削除しても、そのインスタンス内のデータベース、表スペースまたは表は削除されないことです。

Oracle の表領域は DB2 UDB の表スペースに似ています。DB2 UDB の表スペース・コンテナは、Oracle の表領域データ・ファイルに相当します。DB2 UDB では、ページ・サイズと表スペースに 1 対 1 の相関関係があり、表の行が複数ページにまたがることはできません。Oracle では、ページ・サイズはデータベースに関連付けられており、表の行の長さに制限はありません。

DB2 UDB では、バッファ・プールは各データベースに固有です。これらのバッファ・プールは、アクティブ化される時にデータベースに割り当てられるメモリです。DB2 UDB の表スペースは、バッファ・プールに割り当てられます。

DB2 UDB のヒープは、Oracle のバッファ領域に相当します。DB2 UDB の dbheap は、インストール・プロセス中に大量に使用されるため、小さくしないでください。

SQL Server との比較

DB2 UDB のインストール、インスタンス、データベースは、SQL Server のインストール、インスタンス、データベースに相当します。DB2 UDB の表スペースに相当するものは SQL Server にありませんが、表スペース・コンテナは SQL Server のファイル・グループ(OS レベルでの物理ファイル)と同じです。

DB2/400 との比較

DB2/400 には、DB2 UDB のインスタンス、データベース、表スペース、コンテナに相当するものはありません。DB2 UDB のセキュリティは、DB2/400 に似ています。DB2 UDB のスキーマはライブラリと同様で、所有権を伴いません。表は、DB2 UDB の場合はスキーマ.表、DB2/400 の場合はライブラリ/表として参照されます。DB2 UDB と DB2/400 にまたがるアクセスでは、両方のプラットフォーム上で DB2 接続が使用されます。

リリース 8.9 のインストール手順

インストール手順は、次のステップで構成されています。

- ユーザーとディレクトリの作成
- リリース 8.9 スキーマ
- F986116 DB2 サイズ設定テーブル

ユーザーとディレクトリの作成

ユーザーは、オペレーティング・システム・アカウントとして手作業で作成します。このときに、ユーザーを英小文字で指定し、パスワードを英大文字で指定します。すべてのデータ・ソース所有者を定義する必要があります。UNIX マシンへのインストール時には、アカウント jdeb9 も作成します。手順については、『EnterpriseOne 8.9 インストール・ガイド』または『EnterpriseOne 8.9 アップグレード・ガイド』を参照してください。

表スペース、ログ・ファイル、エクスポート・ファイル用のディレクトリを作成できるように、バッチ・ファイル(DB2_mkdir.bat)と UNIX シェル(DB2_mkdir.sh)が用意されています。

リリース 8.9 データベース・スキーマ

スキーマを使用すると、各ユーザーが作成できるデータベース接続が 2 つに制限されます。理由は、DB2 UDB では 3 つ以上のデータベース接続はシステム上での負荷が大きくなるためです。その一方の接続は共有データベース(OWSH9)用で、他方は次の環境データ用となります。

- OW_PROD
- OW_PRST
- OW_CRP
- OW_DEV

OWSH9 データベースには、表スペース・セット OWSH9xx があり、ここには、システム、データ辞書、オブジェクト・ライブラリアン、サーバー・マップが格納されています。すべての環境のセントラル・オブジェクトは、OWSH9 の次の表スペースにも格納されます。

- 本稼働用 - PD9xx
- プリステイン - JD9xx
- プロトタイプ - PY9xx
- 開発 - DV9xx

ビジネス・データとコントロール・テーブルは、別個の環境データベースに格納されます。たとえば、データベース OW_PROD には、次の表スペースが格納されます。

- 表スペース・セット: PRODCCTLxx - Control Tables - Prod Tables を格納
- 表スペース・セット: PRODDTAXx - Business Data - Prod Tables を格納
- TEMP4K - 行の長さが 4K 未満の表のための DB2 UDB 作業領域
- TEMP32K - 行の長さが 4K 以上の表のための DB2 UDB 作業領域

リリース 8.9 では、すべてのデータベースがエイリアスで参照されます。たとえば、リリース 8.9 ではデータベースが JDE9 として認識されても、DB2 UDB では OWSH9 として認識されます。スクリプトでは OWxxx 名が参照されますが、リリース 8.9 のデータ・ソースでは JDExxx 名が参照されます。ODBC データ・ソースは、エイリアスと同じです。エンタープライズ・サーバーは、ローカル TCP/IP ループバック接続経由で、エイリアスを介してデータベースにアクセスします。

F986116 DB2 サイズ設定テーブル

このテーブルは Oracle 用の F986115 テーブルと同じで、〈Install Planner (インストール・プランナ)〉と〈Create Table (テーブル作成)〉で使用します。このテーブルでは、実際のデータベースと表スペース・スクリプトを一致させる必要があります。サイズ設定テーブルにリリース 8.9 データ・ソースのレコードがない場合は、そのデータ・ソース内でテーブルを作成することはできません。このテーブルには、行の長さが 4K 以上のテーブル用の一時変更が含まれています。

データ・ソース一覧

ここではデータ・ソースの特性を示します。データ・ソースは、次の順序で記載されています。

- ビジネス・データ
- セントラル・オブジェクト
- コントロール・テーブル
- データ辞書
- LOCAL
- マシン
- OMW
- システム言語
- OneWorld Local
- OneWorld SU
- システム・ビジネス・データ
- OWJRNL

このデータ・ソースは、AS/400 のカスタマー専用です。

- サーバー・マップ
- システム
- バージョンに関する規則

各表のデータベース名の欄には、個々の情報が適用されるプラットフォームを記載してあります。

ビジネス・データ

フィールド	Oracle (Windows NT と UNIX)	SQL Server (Windows NT のみ)
データ・ソース名 (設定可能なデータ・ソース)	Business Data - PROD	Business Data - PROD
	Business Data - CRP	Business Data - CRP
	Business Data - TEST	Business Data - TEST
	Business Data - JDE	Business Data - JDE
使用データ・ソース	DB	DB
データ・ソース・タイプ	O	L

データベース・サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	プラットフォームのタイプ	NTSVR
詳細設定	X	X
クラスタ	X	X
Unicode	X	X
小数点シフトの使用	X	X
ユリウス日付を使用	X	X
レコード・ロックのサポート	X	X
OCM データ・ソース	X	X
テーブル所有者の使用	X	X
LOB データ・タイプ・サポート	X	X
AS/400 BLOB サポート	X	X
オブジェクト所有者 ID (設定可能な所有者 ID)	PRODDTA (Business Data – PROD の場合) CRPDTA (Business Data – CRP の場合) TESTDTA (Business Data – TEST の場合) PRISTDTA (Business Data – JDE の場合)	PRODDTA (Business Data – PROD の場合) CRPDTA (Business Data – CRP の場合) TESTDTA (Business Data – TEST の場合) PRISTDTA (Business Data – JDE の場合)
データベース名 (設定可能なデータベース)	データベースへの接続文字列	Business Data – PROD Business Data – CRP Business Data – TEST Business Data – JDE
テーブル所有者の使用	X	X
ユリウス日付を使用	X	X
小数点シフトの使用	X	X
更新のサポート	X	X

OCM データ・ソース	ブランク	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク	ブランク
LOB	Blank	ブランク

セントラル・オブジェクト

フィールド	Oracle (AS/400、Windows NT、および UNIX)	SQL Server (AS/400 および Windows NT)
データ・ソース名 (設定可能なデータ・ソース)	Central Objects – PD9 Central Objects – PY9 Central Objects – DV9 Central Objects – JD9	Central Objects – PD9 Central Objects – PY9 Central Objects – DV9 Central Objects – JD9
データ・ソース・タイプ	O	L
使用データ・ソース	DB	DB
オブジェクト所有者 ID (設定可能な所有者 ID)	PRODB733 (Central Objects – PRODB733 の場合) CRPB733 (Central Objects – CRPB733 の場合) DEVB733 (Central Objects – DEVB733 の場合) PRISTB733 (Central Objects – PRISTB733 の場合)	PRODB733 (Central Objects – PRODB733 の場合) CRPB733 (Central Objects – CRPB733 の場合) DEVB733 (Central Objects – DEVB733 の場合) PRISTB733 (Central Objects – PRISTB733 の場合)
ライブラリ名	ブランク	ブランク
ライブラリ・リスト名	ブランク	ブランク
データベース名 (設定可能なデータベース)	データベースへの接続文字列	Central Objects – PD9 Central Objects – PY9 Central Objects – DV9 Central Objects – JD9
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前	データベースが常駐するマシンの名前

プラットフォーム	プラットフォームのタイプ	プラットフォームのタイプ
テーブル所有者の使用	X	X
ユリウス日付を使用	X	X
小数点シフトの使用	X	X
更新のサポート	X	X
OCM データ・ソース	ブランク	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク	ブランク

フィールド	Client Access (AS/400 のみ)
データ・ソース名 (設定可能なデータ・ソース)	Central Objects - CRPB733 (CRP の場合) Central Objects - PRISTB733 (プリスティンの場合) Central Objects - PRODB733 (プリスティンの場合) Central Objects - DEVB733 (開発の場合)
データ・ソース・タイプ	I
使用データ・ソース	DB
オブジェクト所有者 ID	ブランク
ライブラリ名 (設定可能なライブラリ)	COPRDB733 (本稼働用の場合) COCRPB733 (CRP の場合) COPRTB733 (プリスティンの場合) CODEVB733 (開発の場合)
ライブラリ・リスト名	AS/400 の RDB 名*
データベース名 (設定可能なデータベース)	Central Objects - CRPB733 Central Objects - PRISTB733 Central Objects - PRODB733 Central Objects - DEVB733
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	AS400

テーブル所有者の使用	ブランク
ユリウス日付を使用	X
小数点シフトの使用	X
更新のサポート	X
OCM データ・ソース	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	X

* AS/400 RDB 名を検索するには、WRKRDBDIRE コマンドを使用します。

コントロール・テーブル

フィールド	Oracle (Windows NT と UNIX)	SQL Server (Windows NT のみ)
データ・ソース名 (設定可能なデータ・ソース)	Control Tables - Prod Control Tables - CRP Control Tables - Test	Control Tables - Prod Control Tables - CRP Control Tables - Test
データ・ソース・タイプ	O	L
使用データ・ソース	DB	DB
オブジェクト所有者 ID (設定可能な所有者 ID)	PRODCCTL (Control Tables - Production の場合) CRPCTL (Control Tables - CRP の場合) PRISTCTL (Control Tables - JDE の場合) TESTCTL (Control Tables - Test の場合)	PRODCCTL (Control Tables - Production の場合) CRPCTL (Control Tables - CRP の場合) PRISTCTL (Control Tables - JDE の場合) TESTCTL (Control Tables - Test の場合)
ライブラリ名	ブランク	ブランク
ライブラリ・リスト名	ブランク	ブランク
データベース名 (設定可能なデータベース)	データベースへの接続文字列	Control Tables - Prod Control Tables - CRP

		Control Tables – Test
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	プラットフォームのタイプ	プラットフォームのタイプ
テーブル所有者の使用	X	X
ユリウス日付を使用	X	X
小数点シフトの使用	X	X
更新のサポート	X	X
OCM データ・ソース	ブランク	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク	ブランク

フィールド	Client Access (AS/400 のみ)
データ・ソース名 (設定可能なデータ・ソース)	Control Tables – Prod Control Tables – CRP Control Tables – JDE Control Tables – Test
データ・ソース・タイプ	I
使用データ・ソース	DB
オブジェクト所有者 ID	ブランク
ライブラリ名 (設定可能なライブラリ)	PRODCTL (Control Tables – Prod の場合) CRPCTL (Control Tables – CRP の場合) TESTCTL (Control Tables – Test の場合)
ライブラリ・リスト名	AS/400 の RDB 名*
データベース名 (設定可能なデータベース)	Control Tables – Prod Control Tables – CRP Control Tables – Test
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前

プラットフォーム	AS400
テーブル所有者の使用	ブランク
ユリウス日付を使用	X
小数点シフトの使用	X
更新のサポート	X
OCM データ・ソース	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク

* AS/400 RDB 名を検索するには、WRKRDBDIRE コマンドを使用します。

データ辞書

フィールド	Oracle (Windows NT と UNIX)	SQL Server (Windows NT のみ)
データ・ソース名	Data Dictionary - B733	Data Dictionary - B733
データ・ソース・タイプ	O	L
使用データ・ソース	DB	DB
オブジェクト所有者 ID	DDB733	DDB733
ライブラリ名	ブランク	ブランク
ライブラリ・リスト名	ブランク	ブランク
データベース名	データベースへの接続文字列	Data Dictionary - B733
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	プラットフォームのタイプ	プラットフォームのタイプ
テーブル所有者の使用	X	X
ユリウス日付を使用	X	X
小数点シフトの使用	X	X
更新のサポート	X	X
OCM データ・ソース	ブランク	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク	ブランク

フィールド	Client Access (AS/400 のみ)
データ・ソース名	Data Dictionary - B733
データ・ソース・タイプ	I
使用データ・ソース	DB
オブジェクト所有者 ID	ブランク
ライブラリ名	DDB733
ライブラリ・リスト名	AS/400 の RDB 名*
データベース名	Data Dictionary - B733
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	AS400
テーブル所有者の使用	ブランク
ユリウス日付を使用	X
小数点シフトの使用	X
更新のサポート	X
OCM データ・ソース	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク

* AS/400 RDB 名を検索するには、WRKRDBDIRE コマンドを使用します。

LOCAL

LOCAL データ・ソース情報は、AS/400、Windows NT、UNIX の全プラットフォームに適用されます。

フィールド	MSDE
データ・ソース名	LOCAL
データ・ソース・タイプ	M
使用データ・ソース	SVR
オブジェクト所有者 ID	ブランク
ライブラリ名	ブランク
ライブラリ・リスト名	ブランク

データベース名	LOCAL
サーバー名	ローカル
プラットフォーム	LOCAL
テーブル所有者の使用	ブランク
ユリウス日付を使用	ブランク
小数点シフトの使用	ブランク
更新のサポート	ブランク
OCM データ・ソース	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク

マシン

フィールド	Oracle (Windows NT と UNIX)	SQL Server (Windows NT のみ)
データ・ソース名	データベースが常駐するマシンの名前	データベースが常駐するマシンの名前
データ・ソース・タイプ	O	L
使用データ・ソース	DB	DB
オブジェクト所有者 ID	SVMB733	SVMB733
ライブラリ名	ブランク	ブランク
ライブラリ・リスト名	ブランク	ブランク
データベース名	データベースへの接続文字列	データベースが常駐するマシンの名前
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	プラットフォームのタイプ	プラットフォームのタイプ
テーブル所有者の使用	X	X
ユリウス日付を使用	X	X
小数点シフトの使用	X	X
更新のサポート	X	X
OCM データ・ソース	ブランク	ブランク

AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク	ブランク
---------------------	------	------

フィールド	Client Access (AS/400 のみ)*
データ・ソース名	データベースが常駐するマシンの名前
データ・ソース・タイプ	I
使用データ・ソース	SVR
オブジェクト所有者 ID	ブランク
ライブラリ名	xxxxxxMAP (この場合、xxxxxx は、B9 など、インストールするリリースです)
ライブラリ・リスト名	AS/400 の RDB 名**
データベース名	machinename - B9 Server Map
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	AS400
テーブル所有者の使用	ブランク
ユリウス日付を使用	X
小数点シフトの使用	X
更新のサポート	X
OCM データ・ソース	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク

* AS/400 へのインストールの場合、QCCSID のシステム値は 37 です。詳細については、該当するインストール・ガイド、アップグレード・ガイド、または PTF/Cum アップデート・ガイドの「Installation Planner の実行」を参照してください。

** AS/400 RDB 名を検索するには、WRKRDBDIRE コマンドを使用します。

フィールド	Oracle (Windows NT と UNIX)	SQL Server (Windows NT のみ)
データ・ソース名	Object Librarian - B9	Object Librarian - B9
データ・ソース・タイプ	O	L
使用データ・ソース	DB	DB
オブジェクト所有者 ID	OBJ9	OBJ9
ライブラリ名	ブランク	ブランク
ライブラリ・リスト名	ブランク	ブランク
データベース名	データベースへの接続文字列	Object Librarian - B9
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	プラットフォームのタイプ	プラットフォームのタイプ
テーブル所有者の使用	X	X
ユリウス日付を使用	X	X
小数点シフトの使用	X	X
更新のサポート	X	X
OCM データ・ソース	ブランク	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク	ブランク

フィールド	Client Access (AS/400 のみ)
データ・ソース名	Object Librarian - B733
データ・ソース・タイプ	I
使用データ・ソース	DB
オブジェクト所有者 ID	ブランク
ライブラリ名	OLB733
ライブラリ・リスト名	AS/400 の RDB 名*
データベース名	Object Librarian - B9

サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	AS400
テーブル所有者の使用	ブランク
ユリウス日付を使用	X
小数点シフトの使用	X
更新のサポート	X
OCM データ・ソース	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク

* AS/400 RDB 名を検索するには、WRKRDBDIRE コマンドを使用します。

システム言語

このデータ・ソースは、AS/400、Windows NT、UNIX の全プラットフォームに適用されます。

フィールド	MSDE
データ・ソース名 (設定可能なデータ・ソース)	System Language System Language - B9
データ・ソース・タイプ	M
使用データ・ソース	DB
オブジェクト所有者 ID (設定可能な所有者 ID)	ブランク
ライブラリ名	ブランク
ライブラリ・リスト名	ブランク
データベース名 (設定可能なデータベース)	System Language System Language - B9
サーバー名	ローカル
プラットフォーム	LOCAL
テーブル所有者の使用	ブランク

ユリウス日付を使用	blank
小数点シフトの使用	blank
更新のサポート	blank
OCM データ・ソース	blank
AS/400 BLOB データ・ソース	blank

System Local

このデータ・ソースは、AS/400、Windows NT、UNIX の全プラットフォームに適用されます。

フィールド	Microsoft Access
データ・ソース名 (設定可能なデータ・ソース)	System Local System Local - PD9 System Local - PY9 System Local - DV9 System Local - JD9
データ・ソース・タイプ	M
使用データ・ソース	DB
オブジェクト所有者 ID (設定可能な所有者 ID)	blank
ライブラリ名	blank
ライブラリ・リスト名	blank
データベース名 (設定可能なデータベース)	System Local System Local - PD9 System Local - PY9 System Local - DV9 System Local - JD9
サーバー名	ローカル

プラットフォーム	LOCAL
テーブル所有者の使用	ブランク
ユリウス日付を使用	ブランク
小数点シフトの使用	ブランク
更新のサポート	ブランク
OCM データ・ソース	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク

OWJRNL

フィールド	Client Access (AS/400 のみ)
データ・ソース名 (設定可能なデータ・ソース)	OWJRNL
データ・ソース・タイプ	I
使用データ・ソース	DB
オブジェクト所有者 ID	ブランク
ライブラリ名	OWJRNL
ライブラリ・リスト名	AS/400 の RDB 名*
データベース名 (設定可能なデータベース)	OWJRNL
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	AS400
テーブル所有者の使用	ブランク
ユリウス日付を使用	X
小数点シフトの使用	X
更新のサポート	X
OCM データ・ソース	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク

* AS/400 RDB 名を検索するには、WRKRDBDIRE コマンドを使用します。

サーバー・マップ

フィールド	Oracle (Windows NT と UNIX)	SQL Server (Windows NT のみ)
データ・ソース名	machinename - B9 Server Map	machinename - B9 Server Map
データ・ソース・タイプ	O	L
使用データ・ソース	DB	DB
オブジェクト所有者 ID	SVM9	SVM9
ライブラリ名	ブランク	ブランク
ライブラリ・リスト名	ブランク	ブランク
DLL 名	JDBOCI80.DLL	JDBODBC.DLL
データベース名	データベースへの接続文字列	machinename - B9 Server Map
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	プラットフォームのタイプ	プラットフォームのタイプ
テーブル所有者の使用	X	X
ユリウス日付を使用	X	X
小数点シフトの使用	X	X
更新のサポート	X	X
OCM データ・ソース	ブランク	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク	ブランク

フィールド	Client Access (AS/400 のみ)
データ・ソース名	machinename - B9 Server Map ¹
データ・ソース・タイプ	I
使用データ・ソース	DB
オブジェクト所有者 ID	ブランク
ライブラリ名	B733MAP
ライブラリ・リスト名	AS/400 の RDB 名 ²

データベース名	machinename - B9 Server Map
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	AS400
テーブル所有者の使用	ブランク
ユリウス日付を使用	X
小数点シフトの使用	X
更新のサポート	X
OCM データ・ソース	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク

- 1 このデータ・ソースは“Do not translate (DNT:変換しない)”に設定する必要があります。
- 2 AS/400 RDB 名を検索するには、WRKRDBDIRE コマンドを使用します。

System(システム)

フィールド	Oracle (Windows NT と UNIX)	SQL Server (Windows NT のみ)
データ・ソース名	System - B9	System - B9
データ・ソース・タイプ	O	L
使用データ・ソース	DB	DB
オブジェクト所有者 ID	SYS9	SYS9
ライブラリ名	ブランク	ブランク
ライブラリ・リスト名	ブランク	ブランク
データベース名	データベースへの接続文字列	System - B9
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	プラットフォームのタイプ	プラットフォームのタイプ
テーブル所有者の使用	X	X
ユリウス日付を使用	X	X
小数点シフトの使用	X	X

更新のサポート	X	X
OCM データ・ソース	X	X
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク	ブランク

フィールド	Client Access (AS/400 のみ)
データ・ソース名 (設定可能なデータ・ソース)	System - B9
データ・ソース・タイプ	I
使用データ・ソース	DB
オブジェクト所有者 ID	ブランク
ライブラリ名	SYSB733
ライブラリ・リスト名	AS/400 の RDB 名*
DLL 名	JDBODBC.DLL
データベース名 (設定可能なデータベース)	System - B9
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	AS400
テーブル所有者の使用	ブランク
ユリウス日付を使用	X
小数点シフトの使用	X
更新のサポート	X
OCM データ・ソース	System - B9 の場合は X
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク**

* AS/400 RDB 名を検索するには、WRKRDBDIRE コマンドを使用します。

** DNT データ・ソースについては、AS/400 Blob データ・ソースをチェックしてください。

バージョンに関する規則

フィールド	Oracle (Windows NT と UNIX)	SQL Server (Windows NT のみ)
データ・ソース名 (設定可能なデータ・ソース)	Versions – PD9 Versions – PY9 Versions – DV9 Versions – JD9	Versions – PD9 Versions – PY9 Versions – DV9 Versions – JD9
データ・ソース・タイプ	O	L
使用データ・ソース	DB	DB
オブジェクト所有者 ID (設定可能な所有者 ID)	PD9 (Versions – PD9 の場合) PY9 (Versions – PY9 の場合) DV9 (Versions – DV9 の場合) JD9 (Versions – JD9 の場合)	PD9 (Versions – PD9 の場合) PY9 (Versions – PY9 の場合) DV9 (Versions – DV9 の場合) JD9 (Versions – JD9 の場合)
ライブラリ名	ブランク	ブランク
ライブラリ・リスト名	ブランク	ブランク
データベース名 (設定可能なデータベース)	データベースへの接続文字列	Versions – PD9 Versions – PY9 Versions – DV9 Versions – JD9
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	プラットフォームのタイプ	プラットフォームのタイプ
テーブル所有者の使用	X	X
ユリウス日付を使用	X	X
小数点シフトの使用	X	X
更新のサポート	X	X
OCM データ・ソース	ブランク	ブランク

AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク	ブランク
---------------------	------	------

フィールド	Client Access (AS/400 のみ)
データ・ソース名 (設定可能なデータ・ソース)	Versions - PD9 Versions - PY9 Versions - DV9 Versions - JD9
データ・ソース・タイプ	I
使用データ・ソース	DB
オブジェクト所有者 ID	ブランク
ライブラリ名 (設定可能なライブラリ)	Versions - PD9 および COPD9 の場合 Versions - PY9 および COPY9 の場合 Versions - DV9 および COBV9 の場合 Versions - JD9 および COJD9 の場合
ライブラリ・リスト名	AS/400 の RDB 名*
データベース名 (設定可能なデータベース)	Versions - PD9 Versions - PY9 Versions - DV9 Versions - JD9
サーバー名	データベースが常駐するマシンの名前
プラットフォーム	AS400
テーブル所有者の使用	ブランク
ユリウス日付を使用	X
小数点シフトの使用	X
更新のサポート	X

OCM データ・ソース	ブランク
AS/400 BLOB データ・ソース	ブランク**

* AS/400 RDB 名を検索するには、WRKRDBDIRE コマンドを使用します。

** DNT データ・ソースについては、AS/400 Blob データ・ソースをチェックしてください。

OCM の生成

OCM マッピング

EnterpriseOne 8.9 の出荷時には、標準的な環境用の OCM レコードは含まれていません。これらのレコードは、インストール・プランの確定時に生成されます。OCM は、データ・ソースのデータ・クラスとテーブルまたは GT オブジェクトのデータ・クラスに基づいて作成されます。データ・クラスは、環境別 ERP データ・ソース・テーブル(F98511)、データ・ソース・マスター(F98611)、およびオブジェクト・ライブラリアン・マスター(F9860)に格納されます。

データ・ソースの設定

OCM を作成する前に、データ・ソースを構成する必要があります。データ・ソース構成とプロンプトは、環境別データ・ソース・テーブル(F98511)のデータにより駆動されます。

最初に構成するデータ・ソース・セットは、エンタープライズ・サーバー・データ・ソースです。これにはサーバー・マップ・データ・ソースが含まれます。また、論理データ・ソースは、プロンプトなしで自動的に構成されます。サーバー・マップ・データ・ソースの OCM レコードは作成されません。論理データ・ソースの場合は UBE、BSFN、RTE および XAPI マッピングが作成されます。

次に構成するデータ・ソース・セットは、共有データ・ソースです。このセットには、システム、データ辞書、およびオブジェクト・ライブラリアンの各データ・ソースが含まれます。これらのデータ・ソースの初回構成時には、共有データ・ソース・テンプレート(P98511.SPLL = *SHARED)がコピーされ、データ・ソース名とプロパティのトークンが置き換えられて、共有データ・ソース・レコード(F98511.SPLL = DEFAULT)が作成されます。これらのデフォルトを使用して、データ・ソース・マスター(F98611)にデータ・ソース定義が作成されます。F98611 レコードが存在する場合は、F98511 のデフォルトが現行の定義で一時変更されます。その後、データ・ソースのカスタマイズを求めるプロンプトが必要に応じて表示されます。

最後のデータ・ソース・セットは環境データ・ソースです。環境ごとに、データ・ソース・セットが 1 組ずつ構成されます。このデータ・ソース・セットには、ビジネス・データ、コントロール・テーブル、セントラル・オブジェクト、およびバージョンの各データ・ソースが含まれます。

環境データ・ソース・テンプレート(F98511.SPLL = *ENV)には、環境データ・ソースのデフォルトが格納されます。データ・ソースは環境用に構成されるため、これらのレコードがコピーされ、データ・ソース名とプロパティのトークンが置き換えられて、環境用のレコードが作成されます(F98511.SPLL = <Environment Name>)。これらのデフォルトを使用して、データ・ソース・マスター(F98611)にデータ・ソース定義が作成されます。F98611 レコードが存在する場合は、F98511 のデフォルトが現行の定義で一時変更されます。その後、データ・ソースのカスタマイズを求めるプロンプトが必要に応じて表示されます。

標準的な環境が*ENV テンプレートに指定されたデフォルトに当てはまらないケースを想定して、出荷時の製品には標準環境用に構成されたレコードが含まれています。このため、*ENV テンプレートはカスタム環境に対してのみ使用されます。

OCM の作成

データ・ソースを定義してプランが完了すると、プランは最終的に確定されます。OCM はこのときに作成されます。

データベース・データ・ソース

このプロセスでは、オブジェクト・ライブラリアン(F9860.SICLDF)内で各テーブルまたは GT オブジェクトのデータ・クラスが検索されます。構成中の環境とオブジェクトのデータ・クラスに基づいて、F98511 からデータ・ソース名が取り込まれます。レコードが見つからなければ、環境名 DEFAULT を持つデータ・クラスのレコードが検索され、共有データ・ソースにマップするかどうかは確定されます。それでもレコードが見つからなければ、マッピングは作成されず、テーブルは最終的にデフォルトのデータ・ソースにマップされます。レコードが見つかり、それがデフォルト・マッピングのデータ・ソース(F98511.SPDFLTMAP)として設定されている場合は、オブジェクト名 DEFAULT を使用してマッピングが作成されます。それ以外の場合は、実際のオブジェクト名が使用されます。プランナ・データ・クラスと内部データ・クラスについては、マッピングは作成されません。

論理データ・ソース

UBE と BSFN の OCM 生成アルゴリズムは同じですが、出力はデフォルト・マッピングが LOCAL であるかエンタープライズ・サーバーであるかに応じて異なります。

次の表に、UBE オブジェクトと BSFN オブジェクトのデフォルト・マッピングを示します。

	基本環境 (DV9、JD9、PD9、PY9)	JAS/WTS 環境 (JDV9、JJD9、JPD9、JPY9)
UBE	エンタープライズ・サーバー	エンタープライズ・サーバー
BSFN	LOCAL	エンタープライズ・サーバー

次にアルゴリズムを示します。

- デフォルトが LOCAL の場合は、LOCAL へのデフォルト・マッピングが作成されます。OMW でロケーション (BSFN の場合は [Business Function Location (ビジネス関数のロケーション)]、UBE の場合は [Process Location (プロセスのロケーション)]) が [Server Only (サーバーのみ)] (F9860.SIBFLOCN = 3) に設定されているオブジェクト、または OMW でロケーションが [Client Server (クライアント/サーバー)] (F9860.SIBFLOCN = 2)、[OCM Category (OCM カテゴリ)] が [Map To Server (サーバーにマップ)] (F9860.SIOLCD02 = 002) に設定されているオブジェクトの場合は、サーバー・マッピングが作成されます。
- デフォルトがエンタープライズ・サーバーの場合は、エンタープライズ・サーバーへのデフォルト・マッピングが作成されます。OMW でロケーション (BSFN の場合は [Business Function Location]、UBE の場合は [Process Location]) が [Client Only (クライアントのみ)] (F9860.SIBFLOCN = 1) に設定されているオブジェクト、または OMW でロケーションが [Client/Server] (F9860.SIBFLOCN = 2)、[OCM Category] が [Map Local Only (ローカルにのみ

マップ)](F9860.SIOLCD02 = 001)に設定されているオブジェクトの場合は、LOCAL マッピングが作成されます。

RTE および XAPI 論理データ・ソースの場合は、エンタープライズ・サーバーへのデフォルト・マッピングが作成されます。

カスタマイズ

データ・クラス

データ・クラスは、自動 OCM 生成プロセスの核心部となります。データ・クラスにより、データ・ソースとテーブルに格納されるデータのタイプが分類されます。たとえば、ビジネス・データはデータ・クラス B、システムはデータ・クラス S です。ビジネス・データを複数のデータ・ソースに分割する場合は、新規データ・クラスを作成し、そのデータ・クラスのデータ・ソース・テンプレートにデータ・ソースを追加する必要があります。このため、〈Installation Planner〉では、データ・ソースを求めるプロンプトが表示されます。その後で、作成したデータ・クラスにテーブルおよび GT オブジェクトを割り当てます。OCM は、この情報に基づいて作成されます。上記のステップは、プランの作成前に実行する必要があります。

新規データ・クラスの作成

新規データ・クラスを作成するには、データ・ソース用の UDC(H96/DU)とテーブルおよび GT オブジェクト用の UDC(H96/CL)に値を追加します。

データ・ソース・テンプレートの修正

データ・ソース・テンプレートでは、環境に使用されるデータ・ソース・セットと、各データ・ソースのプロパティのデフォルト値が定義されます。これらは F98511 に格納されます。

このフィールドの情報は、〈Advanced Operations (上級操作)〉メニュー(GH9611)の〈Data Source Templates By Environment〉(環境別データ・ソース・テンプレート)を使用して編集できます。このアプリケーションを理解することで、カスタムの命名標準を実装し、環境を簡単に作成できます。

通常、新規環境の場合はテンプレートにレコードを追加します。このテンプレートは、[Environment(環境)]フィールドに“*ENV”と入力してフィルタ処理することで検索できます。新規環境を作成するたびに、このデータ・ソース・セットを確認するプロンプトが表示されます。新規環境に合わせてデータ・ソースを初めて構成するとき、これらのレコードがコピーされ、トークンが置換されて、新規環境に固有のレコードが作成されます。

標準の環境に新規データ・ソースを追加する場合は、[Filter(フィルタ)]フィールドに環境名を入力し、その環境専用のレコードを追加します。

環境*LOGIC が設定されているレコードは、論理データ・ソースおよびサーバー・マップ・データ・ソース用です。これらは、エンタープライズ・サーバーの選択時に設定されます。

テーブルのデータ・クラス

テーブルは、オブジェクト・ライブラリアン・テーブル(F9860.sicldf)のフィールドを使用してデータ・クラスに関連付けられています。テーブルのデータ・クラスを修正するには、次の 2 つの方法があります。

1. 〈Object Management Workbench(オブジェクト管理ワークベンチ)〉メニュー(GH902) – OMW の左のツリー・ビューでテーブルを選択し、[Design(設計)]をクリックします。[Install/Merge(インストール/マージ)]タブをクリックし、[Data Class(データ・クラス)]の値を修正します。[OK]をクリックします。データ・クラスを修正しても、既存の OCM マッピングには影響しません。新規環境のマッピング作成時にのみ使用されます。
2. 〈Table Data Classes(テーブル・データ・クラス)〉 – このアプリケーションを使用すると、一度に複数のテーブルのデータ・クラスを修正できます。このアプリケーションは、システム管理者だけが使用するようにしてください。〈Advanced Operations〉メニュー(GH9611)にアクセスし、〈Table Data Classes〉を開きます。QBE を使用して、グリッドに表示されるテーブルのリストをフィルタ処理します。データ・クラスを変更する 1 つまたは複数のテーブルを選択します。[選択]をクリックします。新規データ・クラスの値を入力して[OK]をクリックします。

この 3 つのステップを実行すると、プランに環境を追加してプランを確定するたびに、新規データ・ソースを確認するプロンプトが表示され、新規データ・ソース用の OCM マッピングが作成されます。**データ・クラスと OCM のダイアグラム:**

オブジェクト名	データ・クラス
F0094	S
F9860	O
F9200	D
F0101	B
F01012	B
F0004	T
F98710	C
F983051	V
GT92002	D
GT9860A	O
GT3711	B
GT4801	B

環境	オブジェクト名	ユーザー/グループ	データ・ソース
ENV1	DEFAULT	*PUBLIC	Business Data – ENV1
ENV1	F0094	*PUBLIC	System – B9
ENV1	F9860	*PUBLIC	Object Librarian – B9
ENV1	F9200	*PUBLIC	Data Dictionary – B9
ENV1	F0004	*PUBLIC	Control Tables – ENV1
ENV1	F983051	*PUBLIC	Versions – PY9
ENV1	GT92002	*PUBLIC	Data Dictionary – B9
ENV1	GT9860A	*PUBLIC	Object Librarian – B9
ENV2	DEFAULT	*PUBLIC	Business Data – ENV2
ENV2	F0094	*PUBLIC	System – B9
ENV2	F9860	*PUBLIC	Object Librarian – B9
ENV2	F9200	*PUBLIC	Data Dictionary – B9
ENV2	F0004	*PUBLIC	Control Tables – ENV2
ENV2	F983051	*PUBLIC	Versions – DV9
ENV2	GT92002	*PUBLIC	Data Dictionary – B9
ENV2	GT9860A	*PUBLIC	Object Librarian – B9

環境別のデフォルト OCM マッピング

ここには、デフォルト環境別に編成された OCM マッピングの完全リストが掲載してあります。多くのオブジェクトの場合、マッピングは環境ごとに異なります。

手作業で調整した後に、必要に応じてこの情報を使用し、マッピングを納入時の状態に復元できます。

リリース 8.9 のデフォルトの標準環境は、次のとおりです。

- PROTOTYPE 環境(PY9)
- その他のテーブル
- デプロイメント環境(DEP9)
- 開発環境(DV9)
- プランナ環境(JDEPLAN)
- 旧リリースのプランナ環境(PREVPLAN)
- プリステイン環境(JD9)
- 本稼働用環境(PD9)
- テスト環境(TS9)

リリース 8.9 の Java サーバー環境と Windows ターミナル・サーバー環境は、次のとおりです。

- CRP 環境(JPY9)
- 開発環境(JDV9)
- プリステイン環境(JJD9)
- 本稼働用環境(JPD9)
- テスト環境(JTS9)

全体で次の略語を使用しています。

略語	記述
AV	マッピングがアクティブ
NA	マッピングは非アクティブ
BSFN	ビジネス関数
GT	メディア・ストレージ用(メディア・オブジェクト・データ構造体と呼ぶこともあります)
TBLE	テーブル
UBE	バッチ・アプリケーション

デフォルトの標準環境

次の表は、デフォルトのリリース 8.9 標準環境とその関連 OCM マッピングを示しています。

プロトタイプ環境(PY9)

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
B0900089	<i>local</i>	AV	BSFN
B0900090	<i>enterpriseserver</i>	NA	BSFN
DEFAULT	Business Data – CRP	AV	TBLE
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	NA	UBE
F0002	Control Tables – CRP	AV ²	TBLE
F00021	Control Tables – CRP	AV ²	TBLE
F0004	System Local – PY9	AV	TBLE
F0004D	System Local – PY9	AV	TBLE
F0005	System Local – PY9	AV	TBLE
F0005D	System Local – PY9	AV	TBLE
F0082	System Local – PY9	AV	TBLE
F00821	System Local – PY9	AV	TBLE
F0083	System Local – PY9	AV	TBLE
F0084	System Local – PY9	AV	TBLE
F00085	System – B9	AV	TBLE
F0092	System – B9	AV	TBLE
F00921	System – B9	AV	TBLE
F00922	System – B9	AV	TBLE
F00924	System – B9	AV	TBLE

F0093	System – B9	AV	TBLE
F0094	System – B9	AV	TBLE
F00941	System – B9	AV	TBLE
F00942	System – B9	AV	TBLE
F00945	System – B9	AV	TBLE
F00946	System – B9	AV	TBLE
F00948	System – B9	AV	TBLE
F00950	System – B9	AV	TBLE
F00960	System – B9	AV	TBLE
F83100	System – B9	AV	TBLE
F83110	System – B9	AV	TBLE
F89210	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F91011	Control Tables – CRPB	AV	TBLE
F91012	Control Tables – CRPB	AV	TBLE
F91013	Control Tables – CRPB	AV	TBLE
F91100	System – B9	AV	TBLE
F91100D	System – B9	AV	TBLE
F91300	System – B9	AV	TBLE
F91310	System – B9	AV	TBLE
F91320	System – B9	AV	TBLE
F91400	System – B9	AV	TBLE
F91410	System – B9	AV	TBLE
F91420	System – B9	AV	TBLE
F91430	System – B9	AV	TBLE
F91500	System – B9	AV	TBLE
F91510	System – B9	AV	TBLE
F9200	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9202	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9203	Data Dictionary – B9	AV	TBLE

F9207	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9210	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9211	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F96021	System – B9	AV	TBLE
F9603	System – B9	AV	TBLE
F96215	System – B9	AV	TBLE
F9622	System – B9	AV	TBLE
F96225	System – B9	AV	TBLE
F9631	System – B9	AV	TBLE
F9640	System – B9	AV	TBLE
F9641	System – B9	AV	TBLE
F9642	System – B9	AV	TBLE
F9643	System – B9	AV	TBLE
F9644	System – B9	AV	TBLE
F9645	System – B9	AV	TBLE
F9650	System – B9	AV	TBLE
F9651	System – B9	AV	TBLE
F9652	System – B9	AV	TBLE
F9653	System – B9	AV	TBLE
F9654	System – B9	AV	TBLE
F9720	System – B9	AV	TBLE
F972009	System – B9	AV	TBLE
F972051	System – B9	AV	TBLE
F9720511	System – B9	AV	TBLE
F972052	System – B9	AV	TBLE
F972053	System – B9	AV	TBLE
F97210	System – B9	AV	TBLE
F97211	System – B9	AV	TBLE
F97212	System – B9	AV	TBLE

F97214	System – B9	AV	TBLE
F979860	System – B9	AV	TBLE
F979865	System – B9	AV	TBLE
F980011	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F980021	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F98101	System – B9	AV	TBLE
F983051	Versions – PY9	AV ²	TBLE
F98306	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F9840	System – B9	AV	TBLE
F98403	System – B9	AV	TBLE
F98405	System – B9	AV	TBLE
F984052	System – B9	AV	TBLE
F9843	System – B9	AV	TBLE
F9860	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9861	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F986101	System – B9	AV	TBLE
F98611	System – B9	AV	TBLE
F986110	System – B9	AV	TBLE
F986111	System – B9	AV	TBLE
F986113	System – B9	AV	TBLE
F986115	System – B9	AV	TBLE
F986116	System – B9	AV	TBLE
F98613	System – B9	AV	TBLE
F986150	System – B9	AV	TBLE
F986151	System – B9	AV	TBLE
F986152	System – B9	AV	TBLE
F98616	System – B9	AV	TBLE
F986161	System – B9	AV	TBLE

F986162	System – B9	AV	TBLE
F986163	System – B9	AV	TBLE
F986164	System – B9	AV	TBLE
F986165	System – B9	AV	TBLE
F9862	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9863	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9865	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F98800	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F98800D	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800T	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F98810D	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE
F98811	Control Tables – CRP	AV ²	TBLE
F98811	Control Tables – CRP – DNT	AV ¹	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F9882	System – B9	AV	TBLE
F98825	System – B9	AV	TBLE
F9883	System – B9	AV	TBLE
F98830	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE
F98840	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845	Control Tables – CRP	AV	TBLE

F98845N	System Local	AV	TBLE
F9885	System – B9	AV	TBLE
F9886	System – B9	AV	TBLE
F98860	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F98865	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F9887	System – B9	AV	TBLE
F9888	System – B9	AV	TBLE
F98881	System – B9	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE
F98882	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F98885	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F98887	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F9889	System – B9	AV	TBLE
F98891	System – B9	AV	TBLE
F98892	System – B9	AV	TBLE
F98950	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F98980	System – B9	AV	TBLE
F989998	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F989999	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F98BLOB	System – B9	AV	TBLE
F98CONST	System – B9	AV	TBLE
F98DRENV	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRENV	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRLOG	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRLOG	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPCN	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRPCN	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPUB	System – B9	AV ²	TBLE

F98DRPUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRSUB	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRSUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98EVDTL	System – B9	AV	TBLE
F98EVHDR	System – B9	AV	TBLE
F98MOQUE	System – B9	AV	TBLE
F98OWSEC	System – B9	AV ²	TBLE
F98OWSEC	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98TMPL	System – B9	AV	TBLE
F98VAR	System – B9	AV	TBLE
GT92002	Data Dictionary – B9	AV	GT
GT9860A	Object Librarian – B9	AV	GT
GT9862A	Object Librarian – B9	AV	GT
GT9862B	Object Librarian – B9	AV	GT
R083305	local	AV	UBE
R48TW	local	AV	UBE
R9621	local	AV	UBE
R9622	local	AV	UBE
R98825C	local	AV	UBE
R98825D	local	AV	UBE

- 1 AS/400 のマッピングのみ。NT および UNIX プラットフォームの場合、このマッピングは NA(非アクティブ)になります。
- 2 このマッピングは、AS/400 プラットフォームの場合は NA(非アクティブ)、NT および UNIX プラットフォームの場合は AV(アクティブ)になります。

その他のテーブル(CTL733、CTLAS400、CUMENV)

オブジェクト名	プライマリ・データ・ソース	状況	オブジェクト・タイプ
(OMOBNM)	(OMDATP)	(OMSTSO)	(OMFUNO)
DEFAULT	B733 Control Tables	AV	TBLE
DEFAULT	AS/400 Common	AV	TBLE
DEFAULT	System Update – B733	AV	TBLE

デプロイメント環境(DEP9)

オブジェクト名	プライマリ・データ・ソース	状況	オブジェクト・タイプ
(OMOBNM)	(OMDATP)	(OMSTSO)	(OMFUNO)
B0900089	<i>local</i>	AV	BSFN
B0900090	<i>enterpriseserver</i>	NA	BSFN
DEFAULT	System Local	AV	TBLE
F00085	System – B9	AV	TBLE
F0092	System – B9	AV	TBLE
F00921	System – B9	AV	TBLE
F00922	System – B9	AV	TBLE
F00924	System – B9	AV	TBLE
F0093	System – B9	AV	TBLE
F0094	System – B9	AV	TBLE
F00941	System – B9	AV	TBLE
F00942	System – B9	AV	TBLE
F00945	System – B9	AV	TBLE
F00946	System – B9	AV	TBLE
F00948	System – B9	AV	TBLE

F00950	System – B9	AV	TBLE
F00960	System – B9	AV	TBLE
F83100	System – B9	AV	TBLE
F83110	System – B9	AV	TBLE
F91100	System – B9	AV	TBLE
F91100D	System – B9	AV	TBLE
F91300	System – B9	AV	TBLE
F91310	System – B9	AV	TBLE
F91320	System – B9	AV	TBLE
F91400	System – B9	AV	TBLE
F91410	System – B9	AV	TBLE
F91420	System – B9	AV	TBLE
F91430	System – B9	AV	TBLE
F91500	System – B9	AV	TBLE
F91510	System – B9	AV	TBLE
F9200	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9202	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9203	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9207	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9210	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9211	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F96021	System – B9	AV	TBLE
F9603	System – B9	AV	TBLE
F96215	System – B9	AV	TBLE
F9622	System – B9	AV	TBLE
F96225	System – B9	AV	TBLE
F9631	System – B9	AV	TBLE
F9640	System – B9	AV	TBLE
F9641	System – B9	AV	TBLE

F9642	System – B9	AV	TBLE
F9643	System – B9	AV	TBLE
F9644	System – B9	AV	TBLE
F9645	System – B9	AV	TBLE
F9650	System – B9	AV	TBLE
F9651	System – B9	AV	TBLE
F9652	System – B9	AV	TBLE
F9653	System – B9	AV	TBLE
F9654	System – B9	AV	TBLE
F9720	System – B9	AV	TBLE
F972009	System – B9	AV	TBLE
F972051	System – B9	AV	TBLE
F9720511	System – B9	AV	TBLE
F972052	System – B9	AV	TBLE
F972053	System – B9	AV	TBLE
F97210	System – B9	AV	TBLE
F97211	System – B9	AV	TBLE
F97212	System – B9	AV	TBLE
F97214	System – B9	AV	TBLE
F979860	System – B9	AV	TBLE
F979865	System – B9	AV	TBLE
F98101	System – B9	AV	TBLE
F98306	Central Objects – CRPB733	AV	TBLE
F9840	System – B9	AV	TBLE
F98403	System – B9	AV	TBLE
F98405	System – B9	AV	TBLE
F984052	System – B9	AV	TBLE
F9843	System – B9	AV	TBLE
F9860	Object Librarian – B9	AV	TBLE

F9861	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F986101	System – B9	AV	TBLE
F98611	System – B9	AV	TBLE
F986110	System – B9	AV	TBLE
F986111	System – B9	AV	TBLE
F986113	System – B9	AV	TBLE
F986115	System – B9	AV	TBLE
F986116	System – B9	AV	TBLE
F98613	System – B9	AV	TBLE
F986150	System – B9	AV	TBLE
F986151	System – B9	AV	TBLE
F986152	System – B9	AV	TBLE
F98616	System – B9	AV	TBLE
F986161	System – B9	AV	TBLE
F986162	System – B9	AV	TBLE
F986163	System – B9	AV	TBLE
F986164	System – B9	AV	TBLE
F986165	System – B9	AV	TBLE
F9862	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9863	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9865	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F98800	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98800D	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98810	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98810D	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F9882	System – B9	AV	TBLE
F98825	System – B9	AV	TBLE
F9883	System – B9	AV	TBLE
F9885	System – B9	AV	TBLE

F9886	System – B9	AV	TBLE
F9887	System – B9	AV	TBLE
F9888	System – B9	AV	TBLE
F98881	System – B9	AV	TBLE
F9888810	System – B9	AV	TBLE
F9889	System – B9	AV	TBLE
F98891	System – B9	AV	TBLE
F98892	System – B9	AV	TBLE
F98980	System – B9	AV	TBLE
F98BLOB	System – B9	AV	TBLE
F98CONST	System – B9	AV	TBLE
F98DRENV	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRENV	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRLOG	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRLOG	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPCN	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRPCN	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPUB	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRPUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRSUB	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRSUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98EVDTL	System – B9	AV	TBLE
F98EVHDR	System – B9	AV	TBLE
F98MOQUE	System – B9	AV	TBLE
F98OWSEC	System – B9	AV ²	TBLE
F98OWSEC	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98TMPL	System – B9	AV	TBLE

F98VAR	System – B9	AV	TBLE
GT92002	Data Dictionary – B9	AV	GT
GT9860A	Object Librarian – B9	AV	GT
GT9862A	Object Librarian – B9	AV	GT
GT9862B	Object Librarian – B9	AV	GT
R083305	local	AV	UBE
R48TW	local	AV	UBE
R9621	local	AV	UBE
R9622	local	AV	UBE
R98825C	local	AV	UBE
R98825D	local	AV	UBE

- 1 AS/400 のマッピングのみ。NT および UNIX プラットフォームの場合、このマッピングは NA(非アクティブ)になります。
- 2 このマッピングは、AS/400 プラットフォームの場合は NA(非アクティブ)、NT および UNIX プラットフォームの場合は AV(アクティブ)になります。

開発環境(DV9)

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
B0900089	<i>local</i>	AV	BSFN
B0900090	<i>enterpriseserver</i>	NA	BSFN
DEFAULT	Business Data – TEST	AV	TBLE
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	NA	UBE
F0002	Control Tables – Test	AV ²	TBLE
F00021	Control Tables – Test	AV ²	TBLE
F0004	System Local – DV9	AV	TBLE
F0004D	System Local – DV9	AV	TBLE

F0005	System Local – DV9	AV	TBLE
F0005D	System Local – DV9	AV	TBLE
F00085	System – B9	AV	TBLE
F0082	System Local – DV9	AV	TBLE
F00821	System Local – DV9	AV	TBLE
F0083	System Local – DV9	AV	TBLE
F0084	System Local – DV9	AV	TBLE
F0092	System – B9	AV	TBLE
F00921	System – B9	AV	TBLE
F00922	System – B9	AV	TBLE
F00924	System – B9	AV	TBLE
F0093	System – B9	AV	TBLE
F0094	System – B9	AV	TBLE
F00941	System – B9	AV	TBLE
F00942	System – B9	AV	TBLE
F00945	System – B9	AV	TBLE
F00946	System – B9	AV	TBLE
F00948	System – B9	AV	TBLE
F00950	System – B9	AV	TBLE
F00960	System – B9	AV	TBLE
F83100	System – B9	AV	TBLE
F83110	System – B9	AV	TBLE
F89210	Central Objects – DV9	AV	TBLE
F91011	Control Tables – Test	AV	TBLE
F91012	Control Tables – Test	AV	TBLE
F91013	Control Tables – Test	AV	TBLE
F91100	System – B9	AV	TBLE
F91100D	System – B9	AV	TBLE
F91300	System – B9	AV	TBLE

F91310	System – B9	AV	TBLE
F91320	System – B9	AV	TBLE
F91400	System – B9	AV	TBLE
F91410	System – B9	AV	TBLE
F91420	System – B9	AV	TBLE
F91430	System – B9	AV	TBLE
F91500	System – B9	AV	TBLE
F91510	System – B9	AV	TBLE
F9200	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9202	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9203	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9207	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9210	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9211	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F96021	System – B9	AV	TBLE
F9603	System – B9	AV	TBLE
F96215	System – B9	AV	TBLE
F9622	System – B9	AV	TBLE
F96225	System – B9	AV	TBLE
F9631	System – B9	AV	TBLE
F9640	System – B9	AV	TBLE
F9641	System – B9	AV	TBLE
F9642	System – B9	AV	TBLE
F9643	System – B9	AV	TBLE
F9644	System – B9	AV	TBLE
F9645	System – B9	AV	TBLE
F9650	System – B9	AV	TBLE
F9651	System – B9	AV	TBLE
F9652	System – B9	AV	TBLE

F9653	System – B9	AV	TBLE
F9654	System – B9	AV	TBLE
F9720	System – B9	AV	TBLE
F972009	System – B9	AV	TBLE
F972051	System – B9	AV	TBLE
F9720511	System – B9	AV	TBLE
F972052	System – B9	AV	TBLE
F972053	System – B9	AV	TBLE
F97210	System – B9	AV	TBLE
F97211	System – B9	AV	TBLE
F97212	System – B9	AV	TBLE
F97214	System – B9	AV	TBLE
F979860	System – B9	AV	TBLE
F979865	System – B9	AV	TBLE
F980011	Central Objects – DV9	AV	TBLE
F980021	Central Objects – DV9	AV	TBLE
F98101	System – B9	AV	TBLE
F983051	Versions – DV9	AV ²	TBLE
F983051	Versions – DV9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98306	Central Objects – DV9	AV	TBLE
F9840	System – B9	AV	TBLE
F98403	System – B9	AV	TBLE
F98405	System – B9	AV	TBLE
F984052	System – B9	AV	TBLE
F9843	System – B9	AV	TBLE
F9860	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9861	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F986101	System – B9	AV	TBLE

F98611	System – B9	AV	TBLE
F986110	System – B9	AV	TBLE
F986111	System – B9	AV	TBLE
F986113	System – B9	AV	TBLE
F986115	System – B9	AV	TBLE
F986116	System – B9	AV	TBLE
F98613	System – B9	AV	TBLE
F986150	System – B9	AV	TBLE
F986151	System – B9	AV	TBLE
F986152	System – B9	AV	TBLE
F98616	System – B9	AV	TBLE
F986161	System – B9	AV	TBLE
F986162	System – B9	AV	TBLE
F986163	System – B9	AV	TBLE
F986164	System – B9	AV	TBLE
F986165	System – B9	AV	TBLE
F9862	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9863	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9865	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F98800	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98800D	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800T	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98810D	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE

F98811	Control Tables – Test	AV ²	TBLE
F98811	Control Tables – TEST – DNT	AV ¹	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F9882	System – B9	AV	TBLE
F98825	System – B9	AV	TBLE
F9883	System – B9	AV	TBLE
F98830	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE
F98840	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE
F9885	System – B9	AV	TBLE
F9886	System – B9	AV	TBLE
F98860	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98865	Control Tables – Test	AV	TBLE
F9887	System – B9	AV	TBLE
F9888	System – B9	AV	TBLE
F98881	System – B9	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE
F98882	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98885	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98887	Control Tables – Test	AV	TBLE
F9889	System – B9	AV	TBLE
F98891	System – B9	AV	TBLE
F98892	System – B9	AV	TBLE
F98950	Central Objects – DV9	AV	TBLE
F98980	System – B9	AV	TBLE

F989998	Central Objects – DV9	AV	TBLE
F989999	Central Objects – DV9	AV	TBLE
F98BLOB	System – B9	AV	TBLE
F98CONST	System – B9	AV	TBLE
F98DRENV	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRENV	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRLOG	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRLOG	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPCN	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRPCN	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPUB	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRPUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRSUB	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRSUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98EVDTL	System – B9	AV	TBLE
F98EVHDR	System – B9	AV	TBLE
F98MOQUE	System – B9	AV	TBLE
F98OWSEC	System – B9	AV ²	TBLE
F98OWSEC	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98TMPL	System – B9	AV	TBLE
F98VAR	System – B9	AV	TBLE
GT92002	Data Dictionary – B9	AV	GT
GT9860A	Object Librarian – B9	AV	GT
GT9862A	Object Librarian – B9	AV	GT
GT9862B	Object Librarian – B9	AV	GT
R083305	<i>local</i>	AV	UBE
R48TW	<i>local</i>	AV	UBE

R9621	<i>local</i>	AV	UBE
R9622	<i>local</i>	AV	UBE
R98825C	<i>local</i>	AV	UBE
R98825D	<i>local</i>	AV	UBE

- 1 AS/400 のマッピングのみ。NT および UNIX プラットフォームの場合、このマッピングは NA(非アクティブ)になります。
- 2 このマッピングは、AS/400 プラットフォームの場合は NA(非アクティブ)、NT および UNIX プラットフォームの場合は AV(アクティブ)になります。

プランナ環境(JDEPLAN)

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
B0900089	<i>local</i>	AV	BSFN
DEFAULT	System Planner – B9	AV	TBLE
F0004	System Local	AV	TBLE
F0004D	System Local	AV	TBLE
F0005	System Local	AV	TBLE
F0005D	System Local	AV	TBLE
F00085	System Local	AV	TBLE
F0009	System Local	AV	TBLE
F0010	System Local	AV	TBLE
F0013	System Local	AV	TBLE
F00165	System Local	AV	UBE
F0025	System Local	AV	TBLE
F0082	System Local	AV	TBLE
F00821	System Local	AV	TBLE
F0083	System Local	AV	TBLE
F0084	System Local	AV	TBLE

F00925	System Local	AV	TBLE
F00946	System Local	AV	TBLE
F00948	System Local	AV	TBLE
F00960	System Local	AV	TBLE
F4009	System Local	AV	TBLE
F7306	System Local	AV	TBLE
F83100	System Local	AV	TBLE
F83110	System Local	AV	TBLE
F91100	System Local	AV	TBLE
F91100D	System Local	AV	TBLE
F91300	System Local	AV	TBLE
F91310	System Local	AV	TBLE
F91320	System Local	AV	TBLE
F91400	System Local	AV	TBLE
F91410	System Local	AV	TBLE
F91420	System Local	AV	TBLE
F91430	System Local	AV	TBLE
F91500	System Local	AV	TBLE
F91510	System Local	AV	TBLE
F9200	Data Dictionary – B9	AV ¹	TBLE
F9200	System Local	AV ²	TBLE
F9202	Data Dictionary – B9	AV ¹	TBLE
F9202	System Local	AV ²	TBLE
F9203	Data Dictionary – B9	AV ¹	TBLE
F9203	System Local	AV ²	TBLE
F9207	Data Dictionary – B9	AV ¹	TBLE
F9207	System Local	AV ²	TBLE

F9210	Data Dictionary – B9	AV ¹	TBLE
F9210	System Local	AV ²	TBLE
F9211	Data Dictionary – B9	AV ¹	TBLE
F9211	System Local	AV ²	TBLE
F9640	System Local	AV	TBLE
F9641	System Local	AV	TBLE
F9642	System Local	AV	TBLE
F9643	System Local	AV	TBLE
F9644	System Local	AV	TBLE
F9645	System Local	AV	TBLE
F9691100	System Local	AV	TBLE
F9691400	System Local	AV	TBLE
F9691410	System Local	AV	TBLE
F9691420	System Local	AV	TBLE
F9691430	System Local	AV	TBLE
F9691500	System Local	AV	TBLE
F9691510	System Local	AV	TBLE
F9746	System Local	AV	TBLE
F9751	System Local	AV	TBLE
F9752	System Local	AV	TBLE
F9753	System Local	AV	TBLE
F9754	System Local	AV	TBLE
F9755	System Local	AV	TBLE
F9757	System Local	AV	TBLE
F9759	System Local	AV	TBLE
F9760	System Local	AV	TBLE
F98101	System Local	AV	TBLE
F983051	System Local	AV	TBLE

F9843	System Local	AV	TBLE
F9860	Object Librarian – B731	AV ¹	TBLE
F9860	Object Librarian – B733	AV ¹	TBLE
F9860	System Local	AV ²	TBLE
F9861	Object Librarian – B731	AV ¹	TBLE
F9861	Object Librarian – B733	AV ¹	TBLE
F9861	System Local	AV ²	TBLE
F98610	System Local	AV	TBLE
F98613	System Local	AV	TBLE
F98616	System Local	AV	TBLE
F986161	System Local	AV	TBLE
F986162	System Local	AV	TBLE
F986163	System Local	AV	TBLE
F986164	System Local	AV	TBLE
F986165	System Local	AV	TBLE
F9862	Object Librarian – B731	AV ¹	TBLE
F9862	Object Librarian – B733	AV ¹	TBLE
F9862	System Local	AV ²	TBLE
F9863	Object Librarian – B731	AV ¹	TBLE
F9863	Object Librarian – B733	AV ¹	TBLE
F9863	System Local	AV ²	TBLE
F9865	Object Librarian – B731	AV ¹	TBLE
F9865	Object Librarian – B733	AV ¹	TBLE
F9865	System Local	AV ²	TBLE
F98800	System Local	AV	TBLE
F98800D	System Local	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE

F98800N	System Local	AV	TBLE
F98810	System Local	AV	TBLE
F98810D	System Local	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F98825	System Local	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE
F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE
F9888	System Local	AV	TBLE
F98881	System – B9	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE
F98882	System Local	AV	TBLE
F98885	System Local	AV	TBLE
F98887	System Local	AV	TBLE
F98950	System Local	AV	TBLE
F98980	System Local	AV	TBLE
F98CONST	System Local	AV	TBLE
F98DRENV	System Planner – B9	AV	TBLE
F98DRLOG	System Planner – B9	AV	TBLE
F98DRPCN	System Planner – B9	AV	TBLE
F98DRPUB	System Planner – B9	AV	TBLE
F98DRSUB	System Planner – B9	AV	TBLE
F98EVDTL	System Local	AV	TBLE
F98EVHDR	System Local	AV	TBLE
F98MOQUE	System Local	AV	TBLE
F98OWSEC	System Planner – B9	AV	TBLE
F98VAR	System Local	AV	TBLE

GT92002	System Local	AV	GT
R083305	<i>local</i>	AV	UBE
R48TW	<i>local</i>	AV	UBE
R9621	<i>local</i>	AV	UBE
R9622	<i>local</i>	AV	UBE
R98825C	<i>local</i>	AV	UBE
R98825D	<i>local</i>	AV	UBE

- 1 AS/400 のマッピングのみ。NT および UNIX プラットフォームの場合、このマッピングは NA(非アクティブ)になります。
- 2 このマッピングは、AS/400 プラットフォームの場合は NA(非アクティブ)、NT および UNIX プラットフォームの場合は AV(アクティブ)になります。

旧リリースのプランナ環境(PREVPLAN)

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
DEFAULT	System Previous Planner	AV	TBLE

プリステイン環境(JD9)

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
B0900089	<i>local</i>	AV	BSFN
B0900090	<i>enterpriseserver</i>	NA	BSFN
DEFAULT	Business Data – JDE	AV	TBLE
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	NA	UBE
F0004	System Local – JD9	AV	TBLE
F0004D	System Local – JD9	AV	TBLE

F0005	System Local – JD9	AV	TBLE
F0005D	System Local – JD9	AV	TBLE
F0082	System Local – JD9	AV	TBLE
F00821	System Local – JD9	AV	TBLE
F0083	System Local – JD9	AV	TBLE
F0084	System Local – JD9	AV	TBLE
F00085	System – B9	AV	TBLE
F0092	System – B9	AV	TBLE
F00921	System – B9	AV	TBLE
F00922	System – B9	AV	TBLE
F00924	System – B9	AV	TBLE
F0093	System – B9	AV	TBLE
F0094	System – B9	AV	TBLE
F00941	System – B9	AV	TBLE
F00942	System – B9	AV	TBLE
F00945	System – B9	AV	TBLE
F00946	System – B9	AV	TBLE
F00948	System – B9	AV	TBLE
F00950	System – B9	AV	TBLE
F00960	System – B9	AV	TBLE
F83100	System – B9	AV	TBLE
F83110	System – B9	AV	TBLE
F89210	Central Objects – JD9	AV	TBLE
F91100	System – B9	AV	TBLE
F91100D	System – B9	AV	TBLE
F91300	System – B9	AV	TBLE
F91310	System – B9	AV	TBLE
F91320	System – B9	AV	TBLE
F91400	System – B9	AV	TBLE

F91410	System – B9	AV	TBLE
F91420	System – B9	AV	TBLE
F91430	System – B9	AV	TBLE
F91500	System – B9	AV	TBLE
F91510	System – B9	AV	TBLE
F9200	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9202	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9203	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9207	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9210	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9211	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F96021	System – B9	AV	TBLE
F9603	System – B9	AV	TBLE
F96215	System – B9	AV	TBLE
F9622	System – B9	AV	TBLE
F96225	System – B9	AV	TBLE
F9631	System – B9	AV	TBLE
F9640	System – B9	AV	TBLE
F9641	System – B9	AV	TBLE
F9642	System – B9	AV	TBLE
F9643	System – B9	AV	TBLE
F9644	System – B9	AV	TBLE
F9645	System – B9	AV	TBLE
F9650	System – B9	AV	TBLE
F9651	System – B9	AV	TBLE
F9652	System – B9	AV	TBLE
F9653	System – B9	AV	TBLE
F9654	System – B9	AV	TBLE
F9720	System – B9	AV	TBLE

F972009	System – B9	AV	TBLE
F972051	System – B9	AV	TBLE
F9720511	System – B9	AV	TBLE
F972052	System – B9	AV	TBLE
F972053	System – B9	AV	TBLE
F97210	System – B9	AV	TBLE
F97211	System – B9	AV	TBLE
F97212	System – B9	AV	TBLE
F97214	System – B9	AV	TBLE
F979860	System – B9	AV	TBLE
F979865	System – B9	AV	TBLE
F980011	Central Objects – JD9	AV	TBLE
F980021	Central Objects – JD9	AV	TBLE
F98101	System – B9	AV	TBLE
F983051	Versions – JD9	AV ²	TBLE
F983051	Versions – JD9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98306	Central Objects – JD9	AV	TBLE
F9840	System – B9	AV	TBLE
F98403	System – B9	AV	TBLE
F98405	System – B9	AV	TBLE
F984052	System – B9	AV	TBLE
F9843	System – B9	AV	TBLE
F9860	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9861	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F986101	System – B9	AV	TBLE
F98611	System – B9	AV	TBLE
F986110	System – B9	AV	TBLE
F986111	System – B9	AV	TBLE

F986113	System – B9	AV	TBLE
F986115	System – B9	AV	TBLE
F986116	System – B9	AV	TBLE
F98613	System – B9	AV	TBLE
F986150	System – B9	AV	TBLE
F986151	System – B9	AV	TBLE
F986152	System – B9	AV	TBLE
F98616	System – B9	AV	TBLE
F986161	System – B9	AV	TBLE
F986162	System – B9	AV	TBLE
F986163	System – B9	AV	TBLE
F986164	System – B9	AV	TBLE
F986165	System – B9	AV	TBLE
F9862	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9863	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9865	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F98800	Business Data – JDE	AV	TBLE
F98800D	Business Data – JDE	AV	TBLE
F98800T	Business Data – JDE	AV	TBLE
F98810	Business Data – JDE	AV	TBLE
F98810D	Business Data – JDE	AV	TBLE
F98811	Business Data – JDE	AV ²	TBLE
F98811	Business Data – JDE – DNT	AV ¹	TBLE
F9882	System – B9	AV	TBLE
F98825	System – B9	AV	TBLE
F9883	System – B9	AV	TBLE
F98830	Business Data – JDE	AV	TBLE
F98840	Business Data – JDE	AV	TBLE

F98845	Business Data – JDE	AV	TBLE
F9885	System – B9	AV	TBLE
F9886	System – B9	AV	TBLE
F98860	Business Data – JDE	AV	TBLE
F98865	Business Data – JDE	AV	TBLE
F9887	System – B9	AV	TBLE
F9888	System – B9	AV	TBLE
F98881	System – B9	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE
F98882	Business Data – JDE	AV	TBLE
F98885	Business Data – JDE	AV	TBLE
F98887	Business Data – JDE	AV	TBLE
F9889	System – B9	AV	TBLE
F98891	System – B9	AV	TBLE
F98892	System – B9	AV	TBLE
F98950	Central Objects – JD9	AV	TBLE
F98980	System – B9	AV	TBLE
F989998	Central Objects – JD9	AV	TBLE
F989999	Central Objects – JD9	AV	TBLE
F98BLOB	System – B9	AV	TBLE
F98CONST	System – B9	AV	TBLE
F98DRENV	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRENV	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRLOG	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRLOG	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPCN	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRPCN	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPUB	System – B9	AV ²	TBLE

F98DRPUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRSUB	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRSUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98EVDTL	System – B9	AV	TBLE
F98EVHDR	System – B9	AV	TBLE
F98MOQUE	System – B9	AV	TBLE
F98OWSEC	System – B9	AV ²	TBLE
F98OWSEC	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98TMPL	System – B9	AV	TBLE
F98VAR	System – B9	AV	TBLE
GT92002	Data Dictionary – B9	AV	GT
GT9860A	Object Librarian – B9	AV	GT
GT9862A	Object Librarian – B9	AV	GT
GT9862B	Object Librarian – B9	AV	GT
R083305	<i>local</i>	AV	UBE
R48TW	<i>local</i>	AV	UBE
R9621	<i>local</i>	AV	UBE
R9622	<i>local</i>	AV	UBE
R98825C	<i>local</i>	AV	UBE
R98825D	<i>local</i>	AV	UBE

- 1 AS/400 のマッピングのみ。NT および UNIX プラットフォームの場合、このマッピングは NA(非アクティブ)になります。
- 2 このマッピングは、AS/400 プラットフォームの場合は NA(非アクティブ)、NT および UNIX プラットフォームの場合は AV(アクティブ)になります。

本稼働用環境(PD9)

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
B0900089	<i>local</i>	AV	BSFN
B0900090	<i>enterpriseserver</i>	NA	BSFN
DEFAULT	Business Data – PROD	AV	TBLE
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	NA	UBE
F0002	Control Tables – Prod	AV ²	TBLE
F00021	Control Tables – Prod	AV ²	TBLE
F0004	System Local – PD9	AV	TBLE
F0004D	System Local – PD9	AV	TBLE
F0005	System Local – PD9	AV	TBLE
F0005D	System Local – PD9	AV	TBLE
F0082	System Local – PD9	AV	TBLE
F00821	System Local – PD9	AV	TBLE
F0083	System Local – PD9	AV	TBLE
F0084	System Local – PD9	AV	TBLE
F00085	System – B9	AV	TBLE
F0092	System – B9	AV	TBLE
F00921	System – B9	AV	TBLE
F00922	System – B9	AV	TBLE
F00924	System – B9	AV	TBLE
F0093	System – B9	AV	TBLE
F0094	System – B9	AV	TBLE
F00941	System – B9	AV	TBLE

F00942	System – B9	AV	TBLE
F00945	System – B9	AV	TBLE
F00946	System – B9	AV	TBLE
F00948	System – B9	AV	TBLE
F00950	System – B9	AV	TBLE
F00960	System – B9	AV	TBLE
F83100	System – B9	AV	TBLE
F83110	System – B9	AV	TBLE
F89210	Central Objects – PD9	AV	TBLE
F91011	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F91012	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F91013	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F91100	System – B9	AV	TBLE
F91100D	System – B9	AV	TBLE
F91300	System – B9	AV	TBLE
F91310	System – B9	AV	TBLE
F91320	System – B9	AV	TBLE
F91400	System – B9	AV	TBLE
F91410	System – B9	AV	TBLE
F91420	System – B9	AV	TBLE
F91430	System – B9	AV	TBLE
F91500	System – B9	AV	TBLE
F91510	System – B9	AV	TBLE
F9200	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9202	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9203	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9207	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9210	Data Dictionary – B9	AV	TBLE

F9211	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F96021	System – B9	AV	TBLE
F9603	System – B9	AV	TBLE
F96215	System – B9	AV	TBLE
F9622	System – B9	AV	TBLE
F96225	System – B9	AV	TBLE
F9631	System – B9	AV	TBLE
F9640	System – B9	AV	TBLE
F9641	System – B9	AV	TBLE
F9642	System – B9	AV	TBLE
F9643	System – B9	AV	TBLE
F9644	System – B9	AV	TBLE
F9645	System – B9	AV	TBLE
F9650	System – B9	AV	TBLE
F9651	System – B9	AV	TBLE
F9652	System – B9	AV	TBLE
F9653	System – B9	AV	TBLE
F9654	System – B9	AV	TBLE
F9720	System – B9	AV	TBLE
F972009	System – B9	AV	TBLE
F972051	System – B9	AV	TBLE
F9720511	System – B9	AV	TBLE
F972052	System – B9	AV	TBLE
F972053	System – B9	AV	TBLE
F97210	System – B9	AV	TBLE
F97211	System – B9	AV	TBLE
F97212	System – B9	AV	TBLE
F97214	System – B9	AV	TBLE
F979860	System – B9	AV	TBLE

F979865	System – B9	AV	TBLE
F980011	Central Objects – PD9	AV	TBLE
F980021	Central Objects – PD9	AV	TBLE
F98101	System – B9	AV	TBLE
F983051	Versions – PD9	AV ²	TBLE
F983051	Versions – PD9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98306	Central Objects – PD9	AV	TBLE
F9840	System – B9	AV	TBLE
F98403	System – B9	AV	TBLE
F98405	System – B9	AV	TBLE
F984052	System – B9	AV	TBLE
F9843	System – B9	AV	TBLE
F9860	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9861	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F986101	System – B9	AV	TBLE
F98611	System – B9	AV	TBLE
F986110	System – B9	AV	TBLE
F986111	System – B9	AV	TBLE
F986113	System – B9	AV	TBLE
F986115	System – B9	AV	TBLE
F986116	System – B9	AV	TBLE
F98613	System – B9	AV	TBLE
F986150	System – B9	AV	TBLE
F986151	System – B9	AV	TBLE
F986152	System – B9	AV	TBLE
F98616	System – B9	AV	TBLE
F986161	System – B9	AV	TBLE
F986162	System – B9	AV	TBLE

F986163	System – B9	AV	TBLE
F986164	System – B9	AV	TBLE
F986165	System – B9	AV	TBLE
F9862	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9863	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9865	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F98800	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98800D	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800T	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98810D	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE
F98811	Control Tables – Prod	AV ²	TBLE
F98811	Control Tables – Prod – DNT	AV ¹	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F9882	System – B9	AV	TBLE
F98825	System – B9	AV	TBLE
F9883	System – B9	AV	TBLE
F98830	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE
F98840	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE

F9885	System – B9	AV	TBLE
F9886	System – B9	AV	TBLE
F98860	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98865	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F9887	System – B9	AV	TBLE
F9888	System – B9	AV	TBLE
F98881	System – B9	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE
F98882	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98885	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F98887	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F9889	System – B9	AV	TBLE
F98891	System – B9	AV	TBLE
F98892	System – B9	AV	TBLE
F98950	Central Objects – PD9	AV	TBLE
F98980	System – B9	AV	TBLE
F989998	Central Objects – PD9	AV	TBLE
F989999	Central Objects – PD9	AV	TBLE
F98BLOB	System – B9	AV	TBLE
F98CONST	System – B9	AV	TBLE
F98DRENV	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRENV	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRLOG	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRLOG	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPCN	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRPCN	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPUB	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRPUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE

F98DRSUB	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRSUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98EVDTL	System – B9	AV	TBLE
F98EVHDR	System – B9	AV	TBLE
F98MOQUE	System – B9	AV	TBLE
F98OWSEC	System – B9	AV ²	TBLE
F98OWSEC	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98TMPL	System – B9	AV	TBLE
F98VAR	System – B9	AV	TBLE
GT92002	Data Dictionary – B9	AV	GT
GT9860A	Object Librarian – B9	AV	GT
GT9862A	Object Librarian – B9	AV	GT
GT9862B	Object Librarian – B9	AV	GT
R083305	<i>local</i>	AV	UBE
R48TW	<i>local</i>	AV	UBE
R9621	<i>local</i>	AV	UBE
R9622	<i>local</i>	AV	UBE
R98825C	<i>local</i>	AV	UBE
R98825D	<i>local</i>	AV	UBE

- 1 AS/400 のマッピングのみ。NT および UNIX プラットフォームの場合、このマッピングは NA(非アクティブ)になります。
- 2 このマッピングは、AS/400 プラットフォームの場合は NA(非アクティブ)、NT および UNIX プラットフォームの場合は AV(アクティブ)になります。

テスト環境(TS9)

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
B0900089	<i>local</i>	AV	BSFN
B0900090	<i>enterpriseserver</i>	NA	BSFN
DEFAULT	Business Data – TEST	AV	TBLE
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	NA	UBE
F0002	Control Tables – Test	AV ²	TBLE
F00021	Control Tables – Test	AV ²	TBLE
F0004	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0004D	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0005	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0005D	Control Tables – Test	AV	TBLE
F00085	System – B9	AV	TBLE
F0082	Control Tables – Test	AV	TBLE
F00821	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0083	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0084	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0092	System – B9	AV	TBLE
F00921	System – B9	AV	TBLE
F00922	System – B9	AV	TBLE
F00924	System – B9	AV	TBLE
F0093	System – B9	AV	TBLE
F0094	System – B9	AV	TBLE
F00941	System – B9	AV	TBLE

F00942	System – B9	AV	TBLE
F00945	System – B9	AV	TBLE
F00946	System – B9	AV	TBLE
F00948	System – B9	AV	TBLE
F00950	System – B9	AV	TBLE
F00960	System – B9	AV	TBLE
F83100	System – B9	AV	TBLE
F83110	System – B9	AV	TBLE
F89210	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F91011	Control Tables – Test	AV	TBLE
F91012	Control Tables – Test	AV	TBLE
F91013	Control Tables – Test	AV	TBLE
F91100	System – B9	AV	TBLE
F91100D	System – B9	AV	TBLE
F91300	System – B9	AV	TBLE
F91310	System – B9	AV	TBLE
F91320	System – B9	AV	TBLE
F91400	System – B9	AV	TBLE
F91410	System – B9	AV	TBLE
F91420	System – B9	AV	TBLE
F91430	System – B9	AV	TBLE
F91500	System – B9	AV	TBLE
F91510	System – B9	AV	TBLE
F9200	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9202	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9203	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9207	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9210	Data Dictionary – B9	AV	TBLE
F9211	Data Dictionary – B9	AV	TBLE

F96021	System – B9	AV	TBLE
F9603	System – B9	AV	TBLE
F96215	System – B9	AV	TBLE
F9622	System – B9	AV	TBLE
F96225	System – B9	AV	TBLE
F9631	System – B9	AV	TBLE
F9640	System – B9	AV	TBLE
F9641	System – B9	AV	TBLE
F9642	System – B9	AV	TBLE
F9643	System – B9	AV	TBLE
F9644	System – B9	AV	TBLE
F9645	System – B9	AV	TBLE
F9650	System – B9	AV	TBLE
F9651	System – B9	AV	TBLE
F9652	System – B9	AV	TBLE
F9653	System – B9	AV	TBLE
F9654	System – B9	AV	TBLE
F9720	System – B9	AV	TBLE
F972009	System – B9	AV	TBLE
F972051	System – B9	AV	TBLE
F9720511	System – B9	AV	TBLE
F972052	System – B9	AV	TBLE
F972053	System – B9	AV	TBLE
F97210	System – B9	AV	TBLE
F97211	System – B9	AV	TBLE
F97212	System – B9	AV	TBLE
F97214	System – B9	AV	TBLE
F979860	System – B9	AV	TBLE
F979865	System – B9	AV	TBLE

F980011	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F980021	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F98101	System – B9	AV	TBLE
F983051	Versions – PY9	AV ²	TBLE
F983051	Versions – PY9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98306	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F9840	System – B9	AV	TBLE
F98403	System – B9	AV	TBLE
F98405	System – B9	AV	TBLE
F984052	System – B9	AV	TBLE
F9843	System – B9	AV	TBLE
F9860	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9861	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F986101	System – B9	AV	TBLE
F98611	System – B9	AV	TBLE
F986110	System – B9	AV	TBLE
F986111	System – B9	AV	TBLE
F986113	System – B9	AV	TBLE
F986115	System – B9	AV	TBLE
F986116	System – B9	AV	TBLE
F98613	System – B9	AV	TBLE
F986150	System – B9	AV	TBLE
F986151	System – B9	AV	TBLE
F986152	System – B9	AV	TBLE
F98616	System – B9	AV	TBLE
F986161	System – B9	AV	TBLE
F986162	System – B9	AV	TBLE
F986163	System – B9	AV	TBLE

F986164	System – B9	AV	TBLE
F986165	System – B9	AV	TBLE
F9862	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9863	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F9865	Object Librarian – B9	AV	TBLE
F98800	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98800D	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800T	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98810D	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE
F98811	Control Tables – Test	AV ²	TBLE
F98811	Control Tables – Test – DNT	AV ¹	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F9882	System – B9	AV	TBLE
F98825	System – B9	AV	TBLE
F9883	System – B9	AV	TBLE
F98830	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE
F98840	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE
F9885	System – B9	AV	TBLE

F9886	System – B9	AV	TBLE
F98860	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98865	Control Tables – Test	AV	TBLE
F9887	System – B9	AV	TBLE
F9888	System – B9	AV	TBLE
F98881	System – B9	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE
F98882	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98885	Control Tables – Test	AV	TBLE
F98887	Control Tables – Test	AV	TBLE
F9889	System – B9	AV	TBLE
F98891	System – B9	AV	TBLE
F98892	System – B9	AV	TBLE
F98950	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F98980	System – B9	AV	TBLE
F989998	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F989999	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F98BLOB	System – B9	AV	TBLE
F98CONST	System – B9	AV	TBLE
F98DRENV	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRENV	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRLOG	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRLOG	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPCN	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRPCN	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98DRPUB	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRPUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE

F98DRSUB	System – B9	AV ²	TBLE
F98DRSUB	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98EVDTL	System – B9	AV	TBLE
F98EVHDR	System – B9	AV	TBLE
F98MOQUE	System – B9	AV	TBLE
F98OWSEC	System – B9	AV ²	TBLE
F98OWSEC	System – B9 – DNT	AV ¹	TBLE
F98TMPL	System – B9	AV	TBLE
F98VAR	System – B9	AV	TBLE
GT92002	Data Dictionary – B9	AV	GT
GT9860A	Object Librarian – B9	AV	GT
GT9862A	Object Librarian – B9	AV	GT
R083305	<i>local</i>	AV	UBE
R48TW	<i>local</i>	AV	UBE
R9621	<i>local</i>	AV	UBE
R9622	<i>local</i>	AV	UBE
R98825C	<i>local</i>	AV	UBE
R98825D	<i>local</i>	AV	UBE

- 1 AS/400 のマッピングのみ。NT および UNIX プラットフォームの場合、このマッピングは NA(非アクティブ)になります。
- 2 このマッピングは、AS/400 プラットフォームの場合は NA(非アクティブ)、NT および UNIX プラットフォームの場合は AV(アクティブ)になります。

リリース 8.9 Java サーバー環境

次の表は、デフォルトのリリース 8.9 Java サーバー環境とその関連 OCM マッピングを示しています。

Java CRP 環境(JPY9)

この環境のほとんどのマッピングは、PY9 と同じです。JPY9 に含まれていないマッピングは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
F89210	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE
F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE

JPY9 のマッピングのうち、プライマリ・データ・ソースが PY9 の関連マッピングとは異なるものは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
F0004	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0004D	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0005	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0005D	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0082	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F00821	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0083	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0084	Control Tables – CRP	AV	TBLE

Java 開発環境(JDV9)

この環境のほとんどのマッピングは、DV9 と同じです。JDV9 に含まれていないマッピングは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
F89210	Central Objects – DV9	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE

F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE

JDV9 のマッピングのうち、プライマリ・データ・ソースが DV9 の関連マッピングとは異なるものは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
F0004	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0004D	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0005	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0005D	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0082	Control Tables – Test	AV	TBLE
F00821	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0083	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0084	Control Tables – Test	AV	TBLE

Java プリステイン環境(JJD9)

この環境のほとんどのマッピングは、JD9 と同じです。JJD9 に含まれていないマッピングは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
F89210	Central Objects – JD9	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE

JJD9 のマッピングのうち、プライマリ・データ・ソースが JD9 の関連マッピングとは異なるものは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
F0004	Business Data – JDE	AV	TBLE
F0004D	Business Data – JDE	AV	TBLE
F0005	Business Data – JDE	AV	TBLE
F0005D	Business Data – JDE	AV	TBLE
F0082	Business Data – JDE	AV	TBLE
F00821	Business Data – JDE	AV	TBLE
F0083	Business Data – JDE	AV	TBLE
F0084	Business Data – JDE	AV	TBLE

Java 本稼働用環境(JPD9)

この環境のほとんどのマッピングは、PD9 と同じです。JPD9 に含まれていないマッピングは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
F89210	Central Objects – PD9	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE

F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE

JPD9 のマッピングのうち、プライマリ・データ・ソースが PD9 の関連マッピングとは異なるものは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
F0004	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0004D	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0005	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0005D	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0082	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F00821	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0083	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0084	Control Tables – Prod	AV	TBLE

Java テスト環境(JTS9)

この環境のほとんどのマッピングは、TS9 と同じです。JTS9 に含まれていないマッピングは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
F89210	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE

F98810N	System Local	AV	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE
F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE

Windows ターミナル・サーバー環境

次の表は、デフォルトの Windows ターミナル・サーバー環境とその関連 OCM マッピングを示しています。

Windows CRP 環境(WPY9)

この環境のほとんどのマッピングは、PY9 と同じです。WPY9 に含まれていないマッピングは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
F89210	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE
F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE

WPY9 のマッピングのうち、プライマリ・データ・ソースが PY9 の関連マッピングとは異なるものは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
F0004	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0004D	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0005	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0005D	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0082	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F00821	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0083	Control Tables – CRP	AV	TBLE
F0084	Control Tables – CRP	AV	TBLE

Windows 開発環境(WDV9)

この環境のほとんどのマッピングは、DV9 と同じです。WDV9 に含まれていないマッピングは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
F89210	Central Objects – DV9	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE

F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE

WDV9 のマッピングのうち、プライマリ・データ・ソースが DV9 の関連マッピングとは異なるものは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
F0004	Control Tables – Test	AV	TBLE
F0004D	System Local – DV9	AV	TBLE
F0005	System Local – DV9	AV	TBLE
F0005D	System Local – DV9	AV	TBLE
F0082	System Local – DV9	AV	TBLE
F00821	System Local – DV9	AV	TBLE
F0083	System Local – DV9	AV	TBLE
F0084	System Local – DV9	AV	TBLE

Windows プリステイン環境(WJD9)

この環境のほとんどのマッピングは、JD9 と同じです。WJD9 に含まれていないマッピングは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
F89210	Central Objects – JD9	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE

WJD9 のマッピングのうち、プライマリ・データ・ソースが JD9 の関連マッピングとは異なるものは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
F0004	Business Data – JDE	AV	TBLE
F0004D	System Local – JD9	AV	TBLE
F0005	System Local – JD9	AV	TBLE
F0005D	System Local – JD9	AV	TBLE
F0082	System Local – JD9	AV	TBLE
F00821	System Local – JD9	AV	TBLE
F0083	System Local – JD9	AV	TBLE
F0084	System Local – JD9	AV	TBLE

Windows 本稼働用環境(WPD9)

この環境のほとんどのマッピングは、PD9 と同じです。WPD9 に含まれていないマッピングは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
F89210	Central Objects – PD9	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE
F98811N	System Local	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE

F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE

WPD9 のマッピングのうち、プライマリ・データ・ソースが PD9 の関連マッピングとは異なるものは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
F0004	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0004D	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0005	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0005D	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0082	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F00821	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0083	Control Tables – Prod	AV	TBLE
F0084	Control Tables – Prod	AV	TBLE

Windows テスト環境(WTS9)

この環境のほとんどのマッピングは、TS9 と同じです。WTS9 に含まれていないマッピングは、次のとおりです。

オブジェクト名 (OMOBNM)	プライマリ・データ・ソース (OMDATP)	状況 (OMSTSO)	オブジェクト・タイプ (OMFUNO)
DEFAULT	<i>enterpriseserver</i>	AV	UBE
F89210	Central Objects – PY9	AV	TBLE
F98800DN	System Local	AV	TBLE
F98800N	System Local	AV	TBLE
F98800TN	System Local	AV	TBLE
F98810DN	System Local	AV	TBLE
F98810N	System Local	AV	TBLE

F98811N	System Local	AV	TBLE
F98830N	System Local	AV	TBLE
F98840N	System Local	AV	TBLE
F98845N	System Local	AV	TBLE
F988810	System – B9	AV	TBLE

主要なテクニカル・テーブル

ここでは、データ・ソースの主要テクニカル・テーブルのリストを示します。ただし、アプリケーション・テーブルは含まれていません。すべてのテクニカルなメディア保管オブジェクト(GTxxx)は、この表の最後に掲載されています。複数のデータ・ソースに存在するテーブルも多数あり、ここには掲載されていないものもあります。

注:

System Local - *pathcode* データ・ソースは、パス・コード固有のローカル・データベースのみを参照します。次の表では、System Local - *pathcode* は、使用するパス・コードの数に応じて複数のデータ・ソースを表す場合があります。*pathcode* とは、次のうちの 1 つまたは複数のパス・コードです。

- PY9
 - DV9
 - JD9
 - PD9
-

注:

System Local データ・ソースは、プランナ環境で使用するデプロイメント・サーバー上のローカル・データベースのみを参照します。

* 次のリストで、特定のテーブルには言語情報が反映されており、翻訳されている言語の参照コードが含まれています。

[Table(テーブル)]	データ・ソース	記述	目的
F0004D*	Control Tables	ユーザー定義 コード翻訳記述	F0004 内の見出しの UDC キー、言語キー、およびテキストが格納されます。代替言語に関するユーザー定義コード・タイプの記述です。
F0005D*	Control Tables	ユーザー定義 コード翻訳記述	F0005 内の詳細の UDC キー、言語キー、およびテキストが格納されます。代替言語に関するユーザー定義コード値の記述です。
F00165*	Business Data System Local - <i>pathcode</i>	メディア・オブジェクト	テキストの OLE 参照とイメージ参照が格納されます。F0016D で置換されます。全言語向けの用語解説テキスト - メディア・オブジェクトです。

F0082	Control Tables	メニュー・マスター	1つのメニューにつき1件のレコードが格納されます。
F00821	Control Tables System Local System Local – <i>pathcode</i>	メニュー選択	オプション、プログラム、メニュー、メッセージなどのメニュー詳細が格納されます。
F0083*	Control Tables System Local System Local – <i>pathcode</i>	メニュー・テキスト ストーリー時変更	メニュー詳細のオプションのテキストのみが格納されます。全言語向けのメニュー・タイトルと選択項目の記述情報も格納されます。
F0084	Control Tables System Local System Local – <i>pathcode</i>	メニュー・パス	Windows プログラムのデフォルト・パスと System Local 専用のアイコン・パスが格納されます。
F0092	System – B9 System Planner	ライブラリ・リスト – ユーザー	初期メニュー、初期プログラム、略式コマンドの可否など、1ユーザー当たり1レコードで格納されます。
F00921*	System – B9 System Planner	ユーザー表示 設定	日付書式、日付区切り記号、DW プレフィックス、および使用言語など、1ユーザー当たり1レコードで格納されます。
F00922	System – B9 System Planner	ユーザー表示 設定タグ・ファイル	1ユーザー当たり1レコードでワークステーション構成名などが格納されます。F00050と併用されます。
F00924	System – B9 System Planner	ユーザー・インストール・パッケージ	承認されたパッケージごとに対して、1ユーザー当たり1レコードが格納されます。
F0093	System – B9 System Planner	ライブラリ・リスト管理	承認された環境のユーザー別リストが格納されます。

F0094	System - B9	ライブラリ・リスト・マスター	環境に対するマスター・ファイル情報が格納されます。
F00941	System - B9 System Planner	OneWorld 環境 詳細	1 環境当たり 1 レコード。リリースおよびパス・コード付き。
F00942	System - B9 System Planner	オブジェクト・パス・マスター	1 パス・コード当たり 1 レコード。スペック・ファイルのデータ・ソース、他の開発オブジェクト(.DLL、ソース、ヘッダー)用のサーバー・パス付き。
F00945	System - B9 System Planner	リリース・マスター	1 リリース当たり 1 レコード。システム・テーブルのデータ・ソース、環境のサーバー・パス付き。
F00946	System - B9 System Local	リリース互換性 マップ	上位および下位互換性を確定するための主なリリース・レベルのマッピングに使用される情報。
F00948	System - B9 System Local	データ・ソース/ リリース・マップ・ テーブル	オブジェクト・ライブラリアン、データ辞書、またはバージョン・リスト・データ・ソースなど、特定タイプのデータ・ソースをリリース・レベルにマッピングするために使用される情報。
F00950	System - B9 System Local	セキュリティ・ワーク ベンチ・テーブル	セキュリティ属性を格納(1 ユーザーまたは 1 グループ当たり 1 レコード)。
F00960	System - B9 System Local	マシン/グループ 識別	リリース 8.9 を予定のパッケージにインストールした全ワークステーションのリストを格納。
F83100*	System - B9	データ・タイトル	データ・タイトルの一連の定義。各ローは、日付タイトルの定義/スペック。ソフトコード化された RDA テキスト。
F83110*	System - B9	カラム見出し	各期間番号に対する関連記述。ソフトコード化された RDA テキスト。
F9000	Control Table	タスク・マスター	Solution Explorer のみ。リリース 8.9 タスク・リスト。
F9001	Control Table	タスク関連	ActivEra のみ。F9000 テーブル内のタスクを論理(親/子)ツリー形式でグループ化。
F9002	Control Table	タスク記述	ActivEra のみ。F9000 テーブル内のタスクの記述。

F9005	Control Table	バリエント記述	ActivEra のみ。このテーブル内のバリエントの属性の記述。
F9005D	Control Table	バリエント代替記述	ActivEra のみ。F9005 テーブル内のタスクの記述の翻訳済みテキスト。
F9006	Control Table	バリエント詳細	ActivEra のみ。バリエント内で実行されるノード(タスク)と、バリエント内で動的に名称変更されるタスクの名称を定義。
F9006D	Control Table	バリエント詳細代替記述	ActivEra のみ。F9006 テーブル内のタスクの記述の翻訳済みテキスト。
F9020	Control Table	ActivEra 修飾子ルール見出し	ActivEra のみ。ActivEra で使用されるルール名の定義。 ルールを適用し、個々のタスクまたはタスク関連(ツリー順)を条件付きで実行。
F9022	Control Table	ActivEra 修飾子ルール詳細	ActivEra のみ。F9020 テーブルのルール内の条件文。
F9030	Control Table	タスク・ドキュメンテーション相互参照	ActivEra のみ。特定のタスクに関連する HTML ドキュメントのインデックス。
F9050	Control Table	ラフカット回答依存関係	ActivEra のみ。指定したシステム構成内で適用されないシステム・コードと後続のアプリケーションを除外する階層上の意味の定義。
F91100	System - B9	お気に入りレリションシップおよびプロパティ	親/子形式によるビジネス・ビューの分類。
F91100D*	System - B9	お気に入り項目 - 翻訳 +D1134 記述 +D1074	さまざまな言語による代替記述。
F91400	System - B9	レポート・ディレクター・テンプレート	作成できるレポートの設計テンプレートを格納。
F91410	System - B9	レポート・ディレクター・テンプレート順序項目	データ順序設定に関するヘルプ。

F91420	System – B9	レポート・ディレクター・テンプレート – スマート・フィールドのアクティブ化	スマート・フィールド・テンプレートに属するすべてのデータ項目を示すリストを作成。
F91430	System – B9	スマート・フィールド・テンプレート基準	選択基準のサブセットを格納。
F91500	System – B9	ワンポイント・ヒントのアプリケーション・ヘッダー	ヒントがあるアプリケーション名またはツール名を格納。
F91510	System – B9	ワンポイント・ヒント詳細	ヒントのテキストと、順序を修正するためのキーを格納。
F9200	Data Dictionary System Local	データ項目マスター	データ辞書の関係区分を格納。
F9202*	Data Dictionary System Local	データ・フィールド表示テキスト	言語、データ項目、およびシステム・コード・レポート用のデータ・フィールドごとに、表示テキストを格納。データ項目の説明を要求された時に使用されます。 全言語向けのデータ辞書のローおよびカラム・テキスト*。 * データ辞書の使用言語コードは、テキストにのみ適用されます。テキストには、ローおよびカラム見出し、圧縮記述、および用語解説が含まれます。
F9203*	Data Dictionary System Local	データ項目名称記述	データ項目の名称記述と圧縮記述を格納。データ項目の説明を要求された時に使用されます。F9202に類似。全言語向けのデータ辞書の名称記述。
F9207	Data Dictionary System Local	データ辞書 – エラー・メッセージ情報	1 エラー・メッセージ当たり 1 レコード。
F9210	Data Dictionary System Local	データ・フィールド・スペック (OneWorld)	各データ項目の詳細情報(スペック)が格納されます。このテーブルは、データ項目の識別を必要とする時にアクセスされます。
F9211	Data Dictionary System Local	データ辞書 – スマート・フィールド	スマート・フィールドの情報。

F96021	System - B9	ソフトウェア・パッケージ作成見出し	パッケージ作成の定義プロセスからの詳細情報を格納。
F9603	System - B9	ソフトウェア・パッケージ作成見出し	パッケージ作成のアセンブリ・プロセスからの情報を格納。
F96215	System - B9	ソフトウェア・パッケージ作成見出し履歴	F96021 レコードの履歴レコード。パッケージを作成するたびに、その状況が格納されます。
F9622	System - B9	ソフトウェア・パッケージ作成詳細	パッケージ作成の定義プロセスからのオプション情報を格納。各レコードは、スペック・ファイル名、.DLL ファイル名、圧縮ディレクトリ名、オブジェクト名のいずれかです。
F96225	System - B9	ソフトウェア・パッケージ作成詳細履歴	P9622 プログラムの履歴レコード。パッケージの完成時に、そのレコードの処理に関する作成状況が格納されます。
F9631	System - B9	ソフトウェア・パッケージ詳細	パッケージ作成のアセンブリ・プロセスの詳細情報を格納。オブジェクト名、基盤名、データ名、またはヘルプ名が格納されます。
F9650	System - B9	マシン・マスター	ERP で使用する全マシンのデフォルト情報を保持。
F9651	System - B9	マシン詳細	マシン・マスター・テーブルで定義された各マシンに関する特定の情報を、レコード・タイプ別に格納。
F9652	System - B9	デプロイメント・グループ見出し	システム管理者がパッケージ・デプロイメントに使用できるグループを設定。
F9653	System - B9	デプロイメント・グループ詳細定義	デプロイメント見出しファイルで定義された 1 つ以上のグループに属するユーザーを格納。また、グループのグループも定義できます。
F9654	System - B9	デプロイメント・ロケーション定義	1 つ以上のデプロイメント・ロケーションを定義可能。主として複数階層型デプロイメントに使用されます。
F9691100	System Local	変更テーブル - お気に入り項目	リリース間のよく使用する項目テーブルへの追加/変更/削除を格納。
F9691400	System Local	変更テーブル - レポート・ディレクター・テンプレート見出し	リリース間のレポート・ディレクター・テンプレート見出しテーブルへの追加/変更/削除を格納。

F9691410	System Local	変更テーブル - レポート・ディレクター・テンプレート順序	リリース間のレポート・ディレクター・テンプレート順序テーブルへの追加/変更/削除を格納。
F9691420	System Local	変更テーブル - スマート・フィールド・アクティビティ	リリース間のスマート・フィールド・アクティビティ・テーブルへの追加/変更/削除を格納。
F9691430	System Local	変更テーブル - スマート・フィールド基準	リリース間のスマート・フィールド基準テーブルへの追加/変更/削除を格納。
F9720	System System Tables	AutoPilot スクリプト・リポジトリ・テーブル	AutoPilot のスクリプト・ライブラリ内のスクリプトの見出し情報。
F972051	System System Tables	AutoPilot スクリプト・バージョン・テーブル	スクリプトごとにすべてのチェックインとチェックアウトの履歴レコードを保守することにより、リポジトリ機能をサポート。
F97210	System System Tables	AutoPilot 再生結果見出しテーブル	名称および次の番号で実行スクリプトを識別。
F97211	System System Tables	AutoPilot メッセージ・マスター・テーブル	メッセージ・レコード:可能性のあるすべてのメッセージ要素のテンプレート。
F97212	System System Tables	AutoPilot 自動採番テーブル	次に実行されるスクリプトの増分と識別に使用。
F97214	System System Tables	AutoPilot 再生結果詳細テーブル	すべての実行スクリプトの結果の履歴レコードを保守することにより、リポジトリ機能をサポート。
F9746	System Local	UDC マージ・テーブル	リリース間で変更または追加された UDC レコード。〈UDC のマージ(UDC merge)〉プログラム(R98741)で使用されます。
F9751	System Local	リリース別メニュー項目変更	リリース間で変更または追加されたメニュー詳細レコード(F00821)。〈メニュー・マージ(Menu merge)〉プログラム(R989751B)で使用されます。
F9752	System Local	リリース別メニューヘッダー変更	リリース間で変更または追加されたメニュー・マスター・レコード(F0082)。〈Menu merge〉プログラム(R989751B)で使用されます。
F9753	System Local	新/旧の実行メニュー・ジョブ(リリース別)	リリース間で変更または追加されたメニュー詳細レコード(F0083 と F0084)。〈Menu merge〉プログラム(R989751B)で使用されます。

F9754	System Local	メニュー・マージ	リリース間のメニュー・テーブルの変更リスト。
F9755	System Local	リリース別データ項目マスター変更	リリース間で変更または追加されたデータ辞書項目。〈Data Dictionary merge (データ辞書マージ)〉プログラム(R989200P)で使用されます。
F9757	System Local	リリース別データ項目名称記述変更	リリース間でデータ項目(F9203)の名称記述に加えられた変更のリスト。〈Data Dictionary merge〉処理に使用されます。
F9759	System Local	リリース別エラー・メッセージ・プログラム・コール変更	リリース間でエラー・メッセージ(F9207)に加えられた変更のリスト。〈Data Dictionary merge〉処理に使用されます。
F9760	System Local	リリース別 OneWorld データ・フィールド・スペック変更	リリース間でフィールド・スペック(F9210)に加えられた変更のリスト。〈Data Dictionary merge〉処理に使用されます。
F980011	Central Objects Specifications System Local	相互参照リレーションシップ	ビジネス・ビュー、イベント・ルール、コントロールの相互参照関係リスト。
F980021	Central Objects Specifications System Local	相互参照フィールド・リレーションシップ	アプリケーション内のフィールドの相互参照関係リスト。
F98101	System – B9 System Local	イメージング固定情報	サードパーティのイメージングを実行するかどうかを判別。
F983051	Versions System Local	バージョン・リスト	1 バージョン (バッチまたは対話型) 当たり 1 レコードを格納。対話型の場合は処理オプションの値が格納され、バッチの場合はデータ選択、順序設定、および他のテンプレートの一時変更が保持されます。
F98306*	Central Objects System Local	処理オプション・テキスト	全言語向けの処理オプションのテキストを提供。
F9840	System Planner	インストール・プラン・マスター・テーブル	インストール・プランの一般情報を格納。説明および状況付きで 1 プラン名当たり 1 レコード。
F98401	System Planner	データ・ソース・プラン詳細テーブル	各プランのデータ・ソース・リスト。そのプランに関連する各データ・ソースごとに 1 プラン・レコード当たり 1 レコード。
F98402	System Planner	ホスト・プラン詳細テーブル	各プランのエンタープライズ・サーバーとホストのリスト (各サーバーごとに 1 プラン当たり 1 レコード)。

F984021	System Planner	ロケーション・プラン詳細テーブル	プランの最終ロケーション。
F984022	System Planner	レプリケート・プラン詳細テーブル	リモート・ロケーション、パブリッシャ、およびサブスクライバ・テーブルのレプリケート・プランが格納されます。
F98403	System Planner	環境プラン詳細テーブル	各プランの環境リスト。本稼働データ、デモ・データ、アップグレード用テーブル変換のフラグが保持されます。
F984031*	System Planner	言語/環境プラン詳細テーブル	言語と各プラン向けに選択した環境のリスト。
F98404	System Planner	パッケージ・プラン詳細テーブル	各環境のパッケージとその定義のリスト。
F98405	System Planner	テーブル変換スケジューラ	〈Environment Planner(環境プランナ)〉と〈Table Conversion Planner(テーブル変換プランナ)〉から〈Table Conversion Scheduler(テーブル変換スケジューラ)〉にマージされたテーブル変換情報のリスト。F9843 に類似。
F984052	System Planner	テーブル変換 - 履歴ログ	テーブル変換、コントロール・テーブルのマージ、スペックのマージのログを格納。
F9843	System Local	テーブル変換 - JDE スケジューラ	アップグレード、更新、および共存インストールのテーブル変換、コントロール・テーブルのマージ、およびスペック・マージを格納。
F98511	System Planner	環境別 REP データ・ソース	環境別のデフォルト・データ・ソース・リスト。インストール時に使用されます。
F9860	OMW System Local	オブジェクト・ライブラリアン・マスター・テーブル	記述とオブジェクト・タイプ付きで 1 オブジェクト当たり 1 レコード。
F9861	OMW System Local	オブジェクト・ライブラリアン - 状況詳細	1 オブジェクト、1 ロケーション、および 1 パス・コードごとに 1 レコード。各オブジェクトは、サーバー・ロケーションを 1 つと、マシンにチェックアウトするユーザーごとにロケーションを持ちます。
F986101	System - B9 Server Map System Planner	オブジェクト構成マスター	サーバー上で実行されるテーブル、バッチ・アプリケーション、およびビジネス関数のすべてのデータ・ソースを格納。このファイルを通じて制御されないデータ・ソースは、リリース・マスター内のシステム・データ・ソースと、オブジェクト・パス・マスター内の開発データ・ソースのみです。

F98611	System - B9	データ・ソース・マスター	データ・ソースの定義を保持。タイプ、データベース、マシン名、および基礎.DLL 付きで 1 データ・ソース当たり 1 レコード。
F986110	System - B9 Server Map System Local	ジョブ・コントロール状況マスター	ステータス情報を持つサーバー上のジョブ当たり 1 レコード。
F986111	System - B9 Server Map System Local	ジョブ番号マスター・テーブル	サーバー・ジョブ用の自動採番テーブル。
F986113	System - B9 Server Map System Local	サブシステム・ジョブ・マスター	状況、ロケーション、バージョンなど、サーバー・ジョブ・レコードを格納。
F986115	System - B9 System Planner	テーブル/データ・ソース・サイジング	Oracle 用の記憶域、サイジング、およびロケーション・パラメータと、すべてのデータ・ソース用の一部の一般情報を保持。
F986116	System - B9 System Local	MVS テーブル/データ・ソース・サイジング	MVS 用の記憶域、サイジング、およびロケーション・パラメータを保持。F986115 に類似。
F98613	System - B733 System Local	ビジネス・ビュー環境サーバー	キャッシュ・テーブルのリスト。
F986150	System - B9 System Local	サーバー転送パッケージ内容	各サーバー・パッケージに属すオブジェクトのリスト。サーバー・パッケージのインストール・プロセス (P986150) で使用されます。
F986151	System - B9 System Local	サーバー・パッケージ転送ファイル	特定のサーバー・パッケージの転送先となるサーバーとパス・コードのリスト。サーバー・パッケージのインストール・プロセス (P986150) で使用されます。
F986152	System - B9 System Local	サーバー・パッケージ・マスター	すべてのサービス・パッケージのマスター・リスト。サーバー・パッケージのインストール・プロセス (P986150) で使用されます。

F98616	System – B9	プリンタ定義	論理名、物理名、および変換プログラムなど、プリンタ定義のリスト。1 プリンタ当たり 1 レコード。
F986161	System – B9 System Local	デフォルト・プリンタ・テーブル	ユーザー別と環境別のデフォルト・プリンタ設定リスト。
F986162	System – B9 System Local	紙の定義	プリンタごとに定義された用紙サイズのリスト。1 プリンタ当たり 1 レコード。
F986163	System – B9 System Local	プリンタ能力	プリンタごとのプリンタ能力(用紙の向きとサイズ、プリンタのタイプとロケーション)リスト。1 プリンタ当たり 1 レコード。
F986164	System – B9 System Local	出力変換	プリンタごとに定義されたプリンタ出力変換リスト。1 プリンタ当たり 1 レコード。
F986165	System Shared	プリンタ・セキュリティ	ユーザー、環境、ホスト名、プリンタ名、状況など、デフォルトのプリンタ情報を格納。
F986167	System – B9 System Local	プリンタ・セキュリティ	将来使用予定。
F9862	OMW System Local	オブジェクト・ライブラリアン – ファンクション詳細	ソース・ファイルに含まれる機能ごとに 1 レコード。
F9863	OMW System Local	オブジェクト・ライブラリアン・オブジェクト・リレーションシップ	関連オブジェクトごとの 1 ビジネス関数当たり 1 レコード。ビジネス関数のビルド時に使用されます。
F9865	OMW System Local	フォーム情報ファイル	1 対話型フォーム当たり 1 レコードとオンライン・ヘルプ情報。
F98710	Central Objects Specifications	テーブル・ヘッダー	TDA (BOBSPEC)内で作成されたテーブルに固有の情報を格納。
F98711	Central Objects Specifications	テーブル・カラム	TDA(DDCLMN)内でのテーブルの全カラム情報を格納。
F98712	Central Objects Specifications	プライマリ・インデックス・ヘッダー	TDA – プライマリ・インデックスに関する情報。
F98713	Central Objects Specifications	プライマリ・インデックス詳細	TDA – プライマリ・インデックスを構成する全フィールド。

F98720	Central Objects Specifications	ビジネス・ビュー・スペック	BDA からのビジネス・ビュー固有の全情報を格納。
F98740	Central Objects Specifications	イベント・ルール・リンク・テーブル	イベント・ルールのヘッダー・ファイル。
F98741	Central Objects Specifications	イベント・ルール - スペック・テーブル	フォームの実際のイベント・ルール詳細を格納。
F98743	Central Objects Specifications	データ構造体テンプレート	テンプレートごとに 1 レコード (ビジネス関数用データ構造体など)。
F98744	Central Objects Specifications	メディア・オブジェクト	ツール用のメディア・オブジェクトのテキストを格納。
F98745	Central Objects Specifications	スマート・フィールドネームド・マッピング	スマート・フィールドネームド・マッピングを格納。
F98750*	Central Objects Specifications	フォーム設計ツール(FDA)テキスト情報	生成されたアプリケーション用の全言語のフォーム設計テキストを格納。
F98751	Central Objects Specifications	フォーム設計ツール(FDA)スペック情報	アプリケーションのスペック。
F98752	Central Objects Specifications	FDA/SVR ヘッダー情報	各アプリケーションの要約情報。
F98753	Central Objects Specifications	FDA/SVR 詳細情報	各アプリケーションのフォームごとの要約情報。
F98760*	Central Objects Specifications	レポート設計ツール(RDA)テキスト情報	全言語向けの〈Report Design Aid (レポート設計ツール)〉のテキストが格納されているレコード。
F98761	Central Objects Specifications	レポート設計ツール(RDA)スペック情報	〈Report Design Aid〉のセットアップ情報が格納されているレコード。
F98762	Central Objects Specifications	JDEBLC - ビジネス関数情報	ビジネス関数のスペックを格納。
F9882	System - B9 System Local	チェックアウト・ログ・テーブル	オブジェクトに対するすべてのトランザクションのログ。
F98825	System - B9	パッケージ・デプロイメント・スケジュール	グループ・ユーザーID とパッケージ割当てなど、クライアント・パッケージのデプロイメント情報を格納。

F9883	System - B9	OneWorld ネットワーク・ロケーション・テーブル	パッケージ割当てなど、サーバー・パッケージのデプロイメント情報を格納。
F9885	System - B9 System Planner	インストール・パッケージ・ヘッダー	1 パッケージ当たり 1 レコード。
F9886	System - B9 System Planner	インストール・パッケージ詳細	パッケージに組み込まれるシステム・コードまたはオブジェクトごとに、1 パッケージ当たり 1 レコード。
F9887	System - B9 System Planner	インストール・パッケージ・ビルド履歴	パッケージのビルド日時のリスト。
F9888	System - B9 System Local	マージ・ログ	マージに関する一時メッセージのログを格納。
F98800D*	System - B9 コントロール・テーブル	プロセス・マスター翻訳記述	F98800 の複数言語情報を格納。
F98800T	コントロール・テーブル	プロセス・マスター補足情報	コンポーザ・プロセスの分類用ファイル。
F98810D*	System - B9 Control Tables	アクティビティ・マスター翻訳記述	F98810 の複数言語情報を格納。
F98810	Control Tables	アクティビティ・マスター	ワークフロー・アクティビティ情報を格納。
F98811	Control Tables	アクティビティ・スペック	イベント・ルールとして格納されたワークフロー・アクティビティ・スペックを格納。
F98830	Control Tables	プロセス・アクティビティ関連付け	ワークフロー・アクティビティの関連付けを格納。
F98840	Control Tables	組織構造マスター	組織モデルの定義データを格納。
F98845	Control Tables	組織構造ルール	組織モデルにワークフローを結合するデータを格納。
F98860	Control Tables	プロセス・インスタンス	ワークフロー・プロセスのインスタンスを格納。
F98865	Control Tables	アクティビティ・インスタンス	プロセス内のワークフロー・アクティビティのインスタンスを格納。

F98881	System - B9 System - Local	スペック・マージ・ ログ・ファイル	アップグレードと更新に関するスペック・マージと、 スペック・マージ・レポート、およびオブジェクト・ライ ブラリ・マージ・レポートから生成されたログ情 報を格納。
F98882	System - B9 Control Tables System - Local	コンポーザ・ラ フカット選択	コンポーザのビルド用を選択される内容を格納。
F98885	System - B9 Control Tables System - Local	コンポーザ - 産 業および地域	F98882 テーブルのビルド支援データを格納。
F98887	System - B9 Control Tables System - Local	コンポーザ - 産業および地 域相互参照	F98882 テーブルのビルド支援データを格納。
F9889	System - B9 System - Local	デプロイメント・ ロケーション・マ スター	システムおよびヘルプ情報を持つ階層ごとのレコード のリスト。複数階層型デプロイメントにのみ使用さ れます。
F98891	System - B9 System - Local	デプロイメント・ ロケーション・ パス・コード	パッケージおよびヘルプ情報を含むレコードのリス ト。複数階層型デプロイメントにのみ使用されます。
F98892	System - B9 System - Local	パッケージ・デ プロイメント・ス ケジュール	複数階層環境のスケジュール情報のリスト。
F98950	Central Objects Specifications System - Local	ユーザー一時 変更テーブル	アプリケーション、バージョン、およびそれを入力し たユーザーなど、アプリケーションのバージョン情 報を格納。
F98980	System - B9 System - Local	言語別フォント 一時変更	言語とそれに対応する表示フォント情報のリスト。
F98BLOB	System - B9	DB2 BLOB サ ポート	
F98CONST	System - B9 System - Local	固定情報テー ブル	レポート設計ツールとフォーム設計ツールの固定情 報リスト。

F98DRENV	System - B9 System - Planner	データ・レプリケーション環境 マッピング・テーブル	データ辞書のレプリケーション用に更新するパス・コードを確定。
F98DRLOG	System - B9 Server Map System - Planner	データ・レプリケーション変更 ログ	変更がレプリケートされるごとに1レコード。このテーブル情報は、BLOBとして格納されます。
F98DRPCN	System - B9 Server Map System - Planner	データ・レプリケーション保留 変更通知	レプリケートされた変更について、サブスクライバごとに1レコード。レコードは、サブスクライバが通知を受け取った時に削除されます。
F98DRPUB	System - B9 System - Planner	データ・レプリケーション・パブリッシャ	発行済みオブジェクトの定義リスト。
F98DRSUB	System - B9 System - Planner	データ・レプリケーション・サブスクライバ	各サブスクライバの定義。
F98EVDTL	System - B9 System - Local	イベント詳細ファイル	FDA または UBE 設計中に表示されるイベントにフィルタを適用。
F98EVHDR	System - B9 System - Local	イベント・ヘッダー・ファイル	イベント記述とイベント ID を格納。全イベント・ルールに使用されます。
F98MOQU	System - B9 System - Local	メディア・オブジェクト待ち行列	マルチメディア・オブジェクトの格納位置へのパス・コード。
F98OWSEC	System - B9 System - Local	リリース 8.9 セキュリティ	特定のデータ・ソースに対するデータベース・ユーザーとパスワードを取得するためのリリース 8.9 ユーザー名およびパスワードが格納されているセキュリティ・テーブル。
F98TMPL	System - B9 System - Local	テンプレート	
F98VAR	System - B9 System - Local	変数テーブル	通常使用されるイベント・ルール変数。
GT92002	Data Dictionary	データ辞書 - 用語解説情報	データ辞書項目の記述付きデータ辞書のコラム。

GT9860A	Object Librarian	オブジェクト・ライブラリアンの汎用テキスト構造	オブジェクト・ライブラリアンのオブジェクトに関する注記を格納。
GT9862A	Object Librarian	ビジネス関数の注記	ビジネス関数の注記を格納。
GT98DSA	Object Librarian	データ構造体の注記 - 構造および項目	データ構造体の注記を格納。
GT98DSB	Object Librarian	データ構造体の注記 - 構造および項目	データ構造体の注記を格納。
GT98TMPL	Object Librarian	メディア・オブジェクト・テンプレート	任意のアタッチメントに使用できるテンプレートを格納。

レポート

インストール、アップグレード、PTF/Cum アップデート・プロセス中では、さまざまなレポートが作成されます。これらのレポートには、プランの詳細情報と環境ビルド状況の要約が示されます。アップグレードと PTF/Cum アップデート中には、このレポートにテーブル・マージ状況の要約が示されます。

ここでは次の内容について説明します。

- Installation Planner Validation (インストール・プランナ検証)(R9840B)

このレポートは、インストール、アップグレード、PTF/Cum アップデートを対象としています。

- Table and Index Creation (テーブルおよびインデックス作成)(R98407)

このレポートは、アップグレードと PTF/Cum アップデートを対象としています。

- Environment Database Creation (環境データベース作成)(R98403)

このレポートは、インストール、アップグレード、PTF/Cum アップデートを対象としています。

- Object Librarian Modifications (オブジェクト・ライブラリアン修正)(R9840D)

このレポートは、アップグレードと PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

- Table Conversion/Merge Driver (テーブル変換/マージ・ドライバ)(R98405)

このレポートは、アップグレードと PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

- Object Specification Merge (オブジェクト・スペック・マージ)(R98405A)

このレポートは、アップグレードと PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

- Object Specification Merge (オブジェクト・スペック・マージ)(R984052)

このレポートは、アップグレードと PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

- Object Specification Merge (オブジェクト・スペック・マージ)(R98700)

このレポートは、アップグレードと PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

- Specification Merge Multithread Driver (スペック・マージ・マルチスレッド・ドライバ)(R987001)

このレポートは、アップグレードと PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

- List Tables that Differ from OW Specs (OW スペックとは異なるテーブルのリスト)(R9698711)

このレポートは、インストール、アップグレード、および PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

- Index Regeneration (インデックス再生成)(R9698713)

このレポートは、インストール、アップグレード、および PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

- Pathcode Copy (パス・コードのコピー) (R9800942)

このレポートは、インストールとアップグレードのみを対象としています。

- UDC (ユーザー定義コード)、Data Dictionary (データ辞書)、Menu Merge (メニュー・マージ) レポート

このレポートは、アップグレードと PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

Installation Planner Validation Report(R9840B)

注:

このレポートは、インストール、アップグレード、PTF/Cum アップデートを対象としています。

すべての処理で、このレポートのバージョン XJDE0001 を使用します。

Installation Planner Validation Report には、インストール・プランの状況が要約され、〈Installation Workbench (インストール・ワークベンチ)〉を実行する前にプラン情報が正しいかどうかを検証できます。

処理オプション

[Extra Info (追加情報)] タブには、次のオプションが含まれています。

- データ・ソース追加情報フラグ。“Y”と入力すると追加情報が組み込まれます。
“Y”を入力します。
- OCM 情報フラグ。現在のデータ選択に関するすべての OCM 情報を表示する場合は“Y”を入力します。“D”を入力するとすべてのデフォルト・レコードが選択され、“N”を入力すると OCM レコードは表示されません。
“D”を入力します。
- OCM 差異フラグ。新環境と旧環境の OCM 違いを表示する場合は、“Y”を入力します。
“N”を入力します。
- パス・コード情報フラグ。データ選択に含まれるプランのすべてのパス・コード情報を表示するには、“Y”を入力します。
“Y”を入力します。
- プラン状況の更新(10~60)
“30”を入力します。

レポートの内容

〈Installation Planner Validation Report〉には、インストール、アップグレード、または PTF/Cum アップデートの基本情報、検証済みのレコード数、および実行された処理タイプを検討する要約セクションが組み込まれています。

レポートの主要部分を検討し、プランに含まれる各データ・ソース、マシン、パッケージが正常に作成されたかどうかを確認してください。確認するには、右端の欄に[Record Validated(レコード検証済み)]と示されているかどうかを調べます。

このレポートには、次のレコード・タイプの状況が含まれます。

- ロケーション
- データ・ソース(データベース・タイプ別に表示)
- 環境
- パス・コード
- オブジェクト構成マネージャ(OCM)
- マシン
- テーブル変換
- コントロール・テーブルのマージ
- スペック・テーブル・マージ
- パッケージ

このレポートの最後には集計情報が表示されるため、すべてのレコードが検証され、プラン状況が 30 に更新されたかどうかを確認できます。

Table and Index Creation(R98407)

リリース 8.9 では、アップグレード対象の環境ごとにレポートが作成されます。新規のテーブルとインデックスが作成され、テーブル変更テーブル(F9698710)とインデックス変更テーブル(F9698712)に基づいて、変更があったテーブルとインデックスが再作成されます。また、テーブル変換 - JDE スケジューラ・テーブル(F9843)が読み取られ、スペック変更がなかった追加テーブルが再生成されるか、〈Table Conversion Workbench(テーブル変換ワークベンチ)〉またはワークベンチ実行後の変換時に変換されないテーブルまたはインデックスの再生成が禁止されます。

データベースに対して実行された処理のログが作成されます。このログ・テーブルは、お気に入りテーブルは、よく使用するリレーションシップおよびプロパティ・テーブル(F984072)です。このレポートを再実行すると、成功状況になっていない項目はやり直されますが、レポートにはすべての項目が出力されます。

Environment Database Creation Report(R98403)

〈Environment Database Creation Report〉は、プランに組み込まれている環境ごとに作成されます。環境ごとに、本稼働データまたはデモ・データをロードするように選択できます。

注:

このレポートの次のバージョンは、インストール、アップグレード、PTF/Cum アップデートを対象としています。

- インストールおよびアップグレード時にはバージョン XJDE0001 を実行します。
- PTF/Cum アップデート時にはバージョン XJDE0004 を実行します。
アップデート・プロセスでは、汎用テキストのみが更新されます。
- XJDE0005 はアップグレード用です。
- プリステイン(JDE オリジナル)データの実行時には XJDE0024 を実行します。

このバージョンの環境データベース作成では、システム・データ・ソース(B73.2)が System - B9 データ・ソースにコピーされます。システム・データ・ソースは、リリース固有です。このレポートを読み、通常の〈Environment Database Creation〉と同様にエラーを処理します。

処理オプション

次の処理オプションは、〈Environment Database Creation〉レポートの各バージョンの標準的な処理オプションです。

インストールおよびアップグレード用のバージョン XJDE0001

[Environment] タブには、次のオプションが含まれています。

- Environment for the database to be created(作成するデータベースの環境)
ブランクにします。
- Data Source for the database to be created(または作成するデータベースのデータ・ソース)
ブランクにします。

- Enter a 1 to load Production Data or a 2 to load Demonstration Data(本稼働用データをロードするには”1”、デモ用データをロードするには”2”を入力してください)。The default is to load production data. (If this report is called from another process, this flag will be passed in.) (デフォルトでは本稼働用データがロードされます(このレポートが別の処理から呼び出されている場合は、このフラグが挿入されます))

”2”を入力します。

- Enter the source Data Source for Loading of Data.(データのロード元となるデータ・ソースを入力します。)(If this report is called from another process, the data source will be passed in.)(このレポートが別の処理から呼び出されている場合は、データ・ソースが挿入されます。)

”OneWorld Local”と入力します。

- or Enter the Source Environment for the database to be copied from(または、データベースのコピー元となるソース環境名を入力してください)If this report is called from another process, the Source Environment will be passed in.(このレポートが別の処理から呼び出されている場合は、ソース環境が挿入されます。)

ブランクにします。

[Update]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a 1 for Proof Mode or a 1 to create the Environment Database.(テスト・モードの場合は0を、環境データベースを作成する場合は2を入力します。)(The default is Proof Mode.(デフォルトはテスト・モードです。))

”2”を入力します。

- Enter a A to recreate existing tables in data sources that allow automatic table creation. The default is not to recreate tables.(テーブルの自動生成が可能なデータ・ソースに既存のテーブルを再生成するには、”A”を入力してください。デフォルトでは、テーブルは再作成されません。)

ブランクにします。

- Enter a 1 to only copy tables that exist in the source data source. The default is to copy all tables.(ソース・データ・ソースに存在するテーブルのみをコピーするには、”1”と入力します。デフォルトでは、すべてのテーブルがコピーされます。)

ブランクにします。

- Enter a Y to add records without clearing the target table.(ターゲット・テーブルを消去せずにレコードを追加するには、”Y”を入力してください。)(これは言語テーブルに使用されます。The default is to clear the target table.(デフォルトでは、ターゲット・テーブルが消去されます。))

ブランクにします。

[Print]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a 1 to only print exceptions.(例外のみを印刷する場合は、”1”を入力してください。)(デフォルトではすべての行が印刷されます。)

ブランクにします。

[Licensing(ライセンス情報)]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a Y to create all tables or a N to create licensed tables only. The default is to create all tables.(すべてのテーブルを生成するには、“Y”を入力します。ライセンス・テーブルのみの生成には、“N”を入力します。デフォルトでは、すべてのテーブルが作成されます。)

ブランクにします。

- Enter a Y to print all tables in the report or a N to print licensed tables only. The default is to print all tables.(レポートに全テーブルを印刷するには、“Y”を入力します。ライセンス・テーブルのみの印刷には、“N”を入力します。デフォルトでは、すべてのテーブルが印刷されます。)

ブランクにします。

アップデート用のバージョン XJDE0004

[Environment]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter the Environment for the database to be created(作成するデータベースの環境を入力してください)

ブランクにします。

- or Enter the Data Source for the database to be created(または、作成するデータベースのデータソースを入力してください)

ブランクにします。

- Enter a 1 to load Production Data or a 2 to load Demonstration Data. The default is to load production data.(本稼働用データをロードする場合は 1、デモ・データをロードする場合は 2 を入力します。デフォルトでは、本稼働用データがロードされます。)このレポートが別の処理から呼び出されている場合は、このフラグが挿入されます。

“1”を入力します。

- Enter the source Data Source for Loading of Data.(データのロード元となるデータ・ソースを入力します。)(If this report is called from another process, the data source will be passed in.)

ブランクにします。

- or Enter the Source Environment for the database to be copied from(または、データベースのコピー元となるソース環境名を入力してください)このレポートが別の処理から呼び出されている場合は、ソース環境が挿入されます。

ブランクにします。

[Update]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a 1 for Proof Mode or a 2 to create the Environment Database.(テスト・モードの場合は 0 を、環境データベースを作成する場合は 2 を入力します。)The default is Proof Mode(デフォルトはテスト・モードです)

“2”を入力します。

- Enter a A to recreate existing tables in data sources that allow automatic table creation. (テーブルの自動生成が可能なデータ・ソースに既存のテーブルを再生成するには、“A”を入力してください。) The default is not to recreate tables. (デフォルトでは、テーブルは再作成されません。)

ブランクにします。

- Enter a 1 to only copy tables that exist in the source data source. (ソース・データ・ソースにあるテーブルのみをコピーするには、“1”を入力してください。) The default is to copy all tables. (デフォルトでは、すべてのテーブルがコピーされます。)

ブランクにします。

- Enter a Y to add records without clearing the target table. (ターゲット・テーブルを消去せずにレコードを追加するには、“Y”を入力してください。) This is used for language tables (これは言語テーブルに使用されます。) The default is to clear the target table. (デフォルトでは、ターゲット・テーブルが消去されます。)

ターゲット・テーブルを消去せずにレコードを追加するわけではないため、“N”を入力します。

[Print]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a 1 to only print exceptions. (例外のみを印刷する場合は、“1”を入力してください。) The default is to print all lines. (デフォルトではすべての行が印刷されます。)

ブランクにします。

[Licensing(ライセンス情報)]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a Y to create all tables or a N to create licensed tables only. (すべてのテーブルを作成するには“Y”、ライセンスのあるテーブルのみを作成には“N”を入力してください。) The default is to create all tables. (デフォルトでは、すべてのテーブルが作成されます。)

ブランクにします。

- Enter a Y to print all tables in the report or a N to print licensed tables only. (すべてのテーブルをレポートに印刷するには“Y”、ライセンスのあるテーブルのみ印刷には“N”を入力してください。) The default is to print all tables. (デフォルトでは、すべてのテーブルが印刷されます。)

ブランクにします。

プリスティン・データ実行用のバージョン XJDE0024

[Environment]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter the Environment for the database to be created. (作成するデータベースの環境を入力してください。)

ブランクにします。

- or Enter the Data Source for the database to be created. (または、作成するデータベースのデータ・ソースを入力してください。)

ブランクにします。

- Enter a 1 to load Production Data or a 2 to load Demonstration Data. The default is to load production data. (本稼働用データをロードする場合は 1、デモ・データをロードする場合は 2 を入力します。) The default is to load production data. (デフォルトでは、本稼働用データがロードされます。) このレポートが別の処理から呼び出されている場合は、このフラグが挿入されます。

“2”を入力します。

- Enter the source Data Source for Loading of Data. (データのロード元となるデータ・ソースを入力します。) If this report is called from another process, the data source will be passed in. (このレポートが別の処理から呼び出されている場合は、データ・ソースが挿入されます。)

“OneWorld Local”と入力します。

- or Enter the Source Environment for the database to be copied from. (または、データベースのコピー元となるソース環境名を入力してください。) このレポートが別の処理から呼び出されている場合は、ソース環境が挿入されます。

ブランクにします。

[Update]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a 1 for Proof Mode or a 1 to create the Environment Database. (テスト・モードの場合は 0 を、環境データベースを作成する場合は 2 を入力します。) The default is Proof Mode (デフォルトはテスト・モードです)

“2”を入力します。

- Enter a A to recreate existing tables in data sources that allow automatic table creation. (テーブルの自動生成が可能なデータ・ソースに既存のテーブルを再生成するには、“A”を入力してください。) The default is not to recreate tables. (デフォルトでは、テーブルは再作成されません。)

“A”と入力します。

- Enter a 1 to only copy tables that exist in the source data source. (ソース・データ・ソースにあるテーブルのみをコピーするには、“1”を入力してください。) The default is to copy all tables. (デフォルトでは、すべてのテーブルがコピーされます。)

ブランクにします。

- Enter a Y to add records without clearing the target table. (ターゲット・テーブルを消去せずにレコードを追加するには、“Y”を入力してください。) これは言語テーブルに使用されます。 The default is to clear the target table. (デフォルトでは、ターゲット・テーブルが消去されます。)

ブランクにします。

[Print]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a 1 to only print exceptions. デフォルトではすべての行が印刷されます。

ブランクにします。

[Licensing(ライセンス情報)]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a Y to create all tables or a N to create licensed tables only.(すべてのテーブルを作成するには”Y”、ライセンスのあるテーブルのみを作成には”N”を入力してください。)The default is to create all tables.(デフォルトでは、すべてのテーブルが作成されます。)

ブランクにします。

- Enter a Y to print all tables in the report or a N to print licensed tables only.(すべてのテーブルをレポートに印刷するには”Y”、ライセンスのあるテーブルのみ印刷には”N”を入力してください。)The default is to print all tables.(デフォルトでは、すべてのテーブルが印刷されます。)

ブランクにします。

レポートの内容

環境が正常に作成され、構成されたかどうかを確認するためにレポートを検討してください。テーブルごとに、次のいずれかの状況が表示されます。

- 正常に作成されたテーブルの状況は、[Success(成功)]になっています。
- エラーがあったテーブルは[Failure(失敗)]になっています。
- テーブルが[No Action(操作なし)]になっている場合があります。

〈Environment Database Creation〉レポートには、カバー・ページはありません。

このレポートには、作成されたオブジェクト(テーブル)ごとに次のプロパティが表示されます。

カラム見出し	記述
Syst Code	システム・コード。[Member Description(メンバ記述)]列のデータベースのリリース 8.9 システム・コードを示します。
Object Name	データベースの英数字名を示します。
Member Description	作成されるデータベースの完全名を示します。
Data Source	このメンバが指すデータ・ソースを示します。
Crt Tbl(コントロール・テーブル)	テーブルを作成します。このデータベース用にテーブルが作成されるかどうかを示します。
Copy Data	テーブルがデータと共にコピーされたかどうかを示します。
Rec Insrt(レコード挿入)	レコード挿入。挿入されたレコード数を示します。
Rec Fail(レコード失敗)	レコード失敗。失敗したレコード数を示します。
Copied from Data Source(データ・ソースからのコピー)	テーブルがデータと共にコピーされたかどうかと、コピー元のデータ・ソースを示します。

Status	テーブル作成状況として[Success]、[Failure]、または[No Action]が表示されます。
Source DS Warnings(ソース DS 警告)	コピー元データ・ソースに関するエラーまたは警告を示します。
Target DS Warnings(ターゲット DS 警告)	コピー先データ・ソースに関するエラーまたは警告を示します。

エラーおよび解決方法

正常に作成されたテーブルについても、レポートに状況が Failure(失敗)と表示される場合があります。通常、これは索引の作成エラーによるもので、ソフトウェアのインストールには支障ありません。

アップグレードまたは PTF/Cum アップデート中には、一部のテーブルに関して[Failure]と表示される場合があります。次のテーブルが正常に作成された場合は、エラーを無視してください。テーブルが正常に作成されたかどうかを確認するには、そのテーブルがコピー先データベースに存在するかどうかを検証します。

- F0007Z1
- F00092
- F0086
- F03B11
- F03B14
- F03B112
- F060116
- F06106
- F08042
- F08330
- F0911
- F1501B
- F1721
- F1731
- F17111
- F30006Z1
- F3002Z1
- F3003Z1
- F3460Z1
- F39062
- F4077
- F4106

- F4111
- F41508
- F4600
- F4812H
- F5215
- F7302
- F986113

レポートでは、正常に作成されたテーブルについても、状況が[No Action]と表示されることがあります。この状況が示されると同時に、問題のテーブルに対して処理が実行されなかったことを示すコピー元およびコピー先データ・ソースの警告が示されます。これらが表示されても正常終了しているため、無視してかまいません。この警告が示される主な理由は、次の2つです。

- コピー元とコピー先のデータ・ソースが同一の場合

コピー元とコピー先が同一の場合、レポートには次のような警告が出力されます。

ソース・データ・ソースの警告	ターゲット・データ・ソースの警告
Source Same as Target	Existing table

通常、このエラーは「コピー元」データ・ソースが「コピー先」データ・ソース(テーブルのマッピング)と同一の場合に、しばしば次のテーブルについて発生します。

ユーザー定義コード・テーブル	メニュー・テーブル
F0004、F0005	F0082、F00821、F0083、F0084

- 前にインストールされた環境によってテーブルが作成されていた場合

同じマッピングを共有する複数の環境(DV9とTS9など)をロードすると、最初にロードした環境(この場合はDV9)には各テーブルの状況が[Success]と表示されますが、2番目の環境(TS9)には、最初の環境のロード中に作成されたテーブルに対し、[No Action]状況でコピー先データ・ソースに対して「Existing Table」という警告が表示されます。

これは正常であり、予知できるものです。コピー先データ・ソースに対して Existing Table という警告が表示されているテーブルについては、前の環境のロード時に作成されているかどうかを調べれば、正常に作成されたかどうかを確認できます。

データ辞書スペック・マージ・レポートとデータ辞書テキスト・マージ・レポート

注:

この 2 つのレポートは、リリース 8.9 を AS/400 にインストールする場合のみを対象としています。アップグレードや PTF/Cum アップデートは対象外です。

〈Control Table Workbench(コントロール・テーブル・ワークベンチ)〉では、次のレポートが作成されます。

- Data Dictionary Specification Report(R98722C)
- Data Dictionary Text Merge Report(R98722T)

どちらのレポートの場合も、バージョン ZJDE0001 を実行します。

データ辞書マージ・レポートは、修正されているデータ辞書情報をリリース 8.9 のデータ辞書にマージした結果を示します。

処理オプション

この 2 つのレポートの処理オプションは同じです。

[Merge Option(マージ・オプション)]タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a 1 for Proof Mode or a 2 for Update Mode.(テスト・モードの場合は 1、更新モードの場合は 2 を入力してください。)

“2”を入力します。

エラーおよび解決方法

これらのレポートの状況が Failure と表示される場合は、ほとんどマージ先のデータ辞書に存在しないデータ項目をマージしようとしたことが原因です。これらの Failure は正常であり、無視してかまいません。レポートの各項目のマージ状況が Failure と表示される場合は、マージ元となるデータ辞書が見つからなかったため、マージを実行できなかったことを示します。マージ元のデータ辞書を確認して、マージを再度実行してください。

Object Librarian Modifications Report(R9840D)

注:

このレポートは、アップグレード、PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

〈Object Librarian Modifications Report〉は、オブジェクトのマージ前に〈Installation Workbench〉プログラムで作成します。このレポートには、旧リリースから新リリースへのマージを示すフラグが設定されているオブジェクトと、そのオブジェクトのうち変更または追加された構成要素が出力されます。

処理オプション

このレポートには、処理オプションはありません。

Table Conversion/Merge Driver Report(R98405)

注:

このレポートは、アップグレード、PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

〈Table Conversion/Merge Driver Report〉は、〈Table Conversion Workbench〉で作成されます。このレポートには、各テーブル変換およびマージの結果が表示されます。このレポートを検討し、各テーブル変換やマージが正常終了したかどうかを確認します。

処理オプション

このレポートには、処理オプションはありません。

レポートの内容

このレポートには、次のようなカラム見出しが表示されます。

カラム見出し	記述
Environment	変換先またはマージ先となる新しい環境。
Previous Environment	変換元またはマージ元となる環境。
Obj Name(オブジェクト名)	オブジェクト名。変換またはマージされるテーブルの名称。
Program Name	テーブル変換プログラムまたはテーブル・マージ・プログラムの ID 番号。
Version	テーブル変換プログラムまたはテーブル・マージ・プログラムのバージョン。
Status	テーブル作成状況。正常終了すると[Completed Normally(正常終了)]と表示されます。

Async Launch TC/UBE (R98405A)

〈Table Conversion Workbench〉を非同期で実行すると、デプロイメント・サーバーとエンタープライズ・サーバーのどちらで実行されるかに関係なく、すべての変換に対して R98405A が起動します。R98405A により変換が実行されます。変換がすべて完了すると、それぞれの状況が R984052 に出力されます。

Report on Table Conversions (R984032)

変換が非同期で実行される場合は、〈Table Conversion Workbench〉で〈Report on Table Conversions(テーブル変換レポート)〉が作成されます。このレポートには、各テーブル変換およびマージの結果が表示されます。このレポートを検討し、各テーブル変換やマージが正常終了したかどうかを確認します。

Object Specification Merge Report(R98700)

注:

このレポートは、アップグレード、PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

〈Object Specification Merge Report〉は、Object Librarian Modification レポートに密接に関連しています。このレポートは、〈Specification Table Merge Workbench (スペック・テーブル・マージ・ワークベンチ)〉で作成されます。このレポートは、各修正のマージ結果と、各〈Specification Merge Multithread Driver Report〉(R987001)に表示されるアクティビティの要約を示します。このレポートを検討し、すべての修正が正常にマージされたかどうかを確認します。

処理オプション

このレポートには、次のバージョンごとに処理オプションがあります。

バージョン番号	バージョン・タイトル
ZJDE0001	UPGRADE – normal processing (UPGRADE – 標準処理)
ZJDE0002	UPDATE – normal processing (UPDATE – 標準処理)
ZJDE0003	UPGRADE – restart (UPGRADE – 再起動)
ZJDE0004	UPDATE – restart (UPDATE – 再起動)
ZJDE0005	UPGRADE – reprint (UPGRADE – 再印刷)
ZJDE0006	UPDATE – reprint (UPDATE – 再印刷)
ZJDE0007	Internet Code Change Merge (インターネット・コード変更マージ)

ZJDE0001

[Options]タブには、次のオプションが含まれています。

- Merge Type (マージ・タイプ)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
2	アップグレード
3	アップデート
4	言語のみ

これはアップデート用バージョンなので“2”と入力します。

- Source Environment Name (ソース環境名)
“DEVB732”と入力します。
- Target Environment Name (ターゲット環境名)
“DV9”と入力します。
- Release or Package Name (リリースまたはパッケージ名)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
Upgrade (アップグレード)	ターゲット・リリース
Update (アップデート)	パッケージ名

“B9”と入力します。

[Advanced]タブには、次のオプションが含まれています。

- Printing Level of Detail (詳細レベルの印刷)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	例外のみ
1	オブジェクト名のみ
2 – 5	詳細レベル

“2”を入力します。

- Merge Restart (マージの再開)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	標準処理
1	再開
2	結果の再印刷
3	テスト・モード

“0”を入力します。

- Stop Processing on Error (エラー時のプロセス停止)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	エラー発生後も処理を継続
1	エラー発生後に処理を停止

“0”を入力します。

- Number of simultaneous processes (同時プロセスの数) (1 -6)

“1”を入力します。

[Language] タブには、次のオプションが含まれています。

- Update translated text (Updates Only) (翻訳されたテキストのみを更新 (更新のみ))

値	記述
0	翻訳済みテキストは置換されません。
1	翻訳済みテキストが置換されます。

“0”を入力します。

- Source data source for translated text (翻訳されたテキストのソース・データ・ソース)
 ブランクにします。

ZJDE0002

[Options]タブには、次のオプションが含まれています。

- Merge Type(マージ・タイプ)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
2	アップグレード
3	アップデート
4	言語のみ

これはアップグレード用バージョンなので“3”を入力します。

- Source Environment Name(ソース環境名)
“JDEPLAN”を入力します。
- Target Environment Name(ターゲット環境名)
“DV9”を入力します。
- Release or Package Name(リリースまたはパッケージ名)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
アップグレード	ターゲット・リリース
アップデート	パッケージ名

“CUMB7331-2”を入力します。

[Advanced]タブには、次のオプションが含まれています。

- Printing Level of Detail(詳細レベルの印刷)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	例外のみ
1	オブジェクト名のみ
2 - 5	詳細レベル

“2”を入力します。

- Merge Restart (マージの再開)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	標準処理
1	再開
2	結果の再印刷
3	テスト・モード

“0”を入力します。

- Stop Processing on Error (エラー時のプロセス停止)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	エラー発生後も処理を継続
1	エラー発生後に処理を停止

“0”を入力します。

- Number of simultaneous processes (同時プロセスの数) (1～6)

“3”を入力します。

[Language] タブには、次のオプションが含まれています。

- [Update translated text (Updates Only)]

値	記述
0	翻訳済みテキストは置換されません。
1	翻訳済みテキストが置換されます。

“0”を入力します。

- Source data source for translated text (翻訳されたテキストのソース・データ・ソース)
 ブランクにします。

ZJDE0003

[Options]タブには、次のオプションが含まれています。

- Merge Type (マージ・タイプ)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
2	アップグレード
3	Update (アップデート)
4	言語のみ

これはアップグレード用バージョンなので“2”を入力します。

- Source Environment Name (ソース環境名)
“DEV732”を入力します。
- Target Environment Name (ターゲット環境名)
“DV9”を入力します。
- Release or Package Name (リリースまたはパッケージ名)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
アップグレード	[Target Release (ターゲット・リリース)]
Update (アップデート)	パッケージ名

“B9”を入力します。

[Advanced]タブには、次のオプションが含まれています。

- Printing Level of Detail (詳細レベルの印刷)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	例外のみ
1	オブジェクト名のみ
2 – 5	詳細レベル

“2”を入力します。

- Merge Restart (マージの再開)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	標準処理
1	再開
2	結果の再印刷
3	テスト・モード

“1”を入力します。

- Stop Processing on Error (エラー時のプロセス停止)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	エラー発生後も処理を継続
1	エラー発生後に処理を停止

“0”を入力します。

- Number of simultaneous processes (同時プロセスの数) (1～6)

“1”を入力します。

[Language] タブには、次のオプションが含まれています。

- [Update translated text (Updates Only)]

値	記述
0	翻訳済みテキストは置換されません。
1	翻訳済みテキストが置換されます。

“0”を入力します。

- Source data source for translated text (翻訳されたテキストのソース・データ・ソース)
 ブランクにします。

ZJDE0004

[Options]タブには、次のオプションが含まれています。

- Merge Type (マージ・タイプ)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
2	アップグレード
3	Update (アップデート)
4	言語のみ

これはアップデート用バージョンなので“3”と入力します。

- Source Environment Name (ソース環境名)
“JDEPLAN”と入力します。
- Target Environment Name (ターゲット環境名)
“PY9”と入力します。
- Release or Package Name (リリースまたはパッケージ名)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
アップグレード	[Target Release (ターゲット・リリース)]
Update (アップデート)	パッケージ名

“CUMB7331-2”と入力します。

[Advanced]タブには、次のオプションが含まれています。

- Printing Level of Detail (詳細レベルの印刷)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	例外のみ
1	オブジェクト名のみ
2 - 5	詳細レベル

“2”を入力します。

- Merge Restart (マージの再開)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	標準処理
1	再開
2	結果の再印刷
3	テスト・モード

“1”を入力します。

- Stop Processing on Error (エラー時のプロセス停止)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	エラー発生後も処理を継続
1	エラー発生後に処理を停止

“0”を入力します。

- Number of simultaneous processes (同時プロセスの数) (1～6)

“1”を入力します。

[Language] タブには、次のオプションが含まれています。

- [Update translated text (Updates Only)]

値	記述
0	翻訳済みテキストは置換されません。
1	翻訳済みテキストが置換されます。

“0”を入力します。

- Source data source for translated text (翻訳されたテキストのソース・データ・ソース)
 ブランクにします。

ZJDE0005

[Options]タブには、次のオプションが含まれています。

- Merge Type (マージ・タイプ)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
2	アップグレード
3	Update (アップデート)
4	言語のみ

これはアップグレード用バージョンなので“2”を入力します。

- Source Environment Name (ソース環境名)
“DEV732”を入力します。
- Target Environment Name (ターゲット環境名)
“DV9”を入力します。
- Release or Package Name (リリースまたはパッケージ名)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
アップグレード	[Target Release (ターゲット・リリース)]
Update (アップデート)	パッケージ名

“B9”を入力します。

[Advanced]タブには、次のオプションが含まれています。

- Printing Level of Detail (詳細レベルの印刷)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	例外のみ
1	オブジェクト名のみ
2 - 5	詳細レベル

“3”を入力します。

- Merge Restart (マージの再開)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	標準処理
1	再開
2	結果の再印刷
3	テスト・モード

“2”を入力します。

- Stop Processing on Error (エラー時のプロセス停止)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	エラー発生後も処理を継続
1	エラー発生後に処理を停止

“0”を入力します。

- Number of simultaneous processes (同時プロセスの数) (1～6)

“1”を入力します。

[Language] タブには、次のオプションが含まれています。

- Update translated text (Updates Only) (翻訳されたテキストの更新 (更新のみ))

値	記述
0	翻訳済みテキストは置換されません。
1	翻訳済みテキストが置換されます。

“0”を入力します。

- Source data source for translated text (翻訳されたテキストのソース・データ・ソース)
 ブランクにします。

ZJDE0006

[Options]タブには、次のオプションが含まれています。

- Merge Type (マージ・タイプ)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
2	アップグレード
3	アップデート
4	言語のみ

これはアップデート用バージョンなので“3”と入力します。

- Source Environment Name (ソース環境名)
“JDEPLAN”と入力します。
- Target Environment Name (ターゲット環境名)
“DV9”と入力します。
- Release or Package Name (リリースまたはパッケージ名)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
アップグレード	ターゲット・リリース
アップデート	パッケージ名

“CUMB733-1”と入力します。

[Advanced]タブには、次のオプションが含まれています。

- Printing Level of Detail (詳細レベルの印刷)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	例外のみ
1	オブジェクト名のみ
2 - 5	詳細レベル

“3”を入力します。

- Merge Restart (マージの再開)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	標準処理
1	再開
2	結果の再印刷
3	テスト・モード

“2”を入力します。

- Stop Processing on Error (エラー時のプロセス停止)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	エラー発生後も処理を継続
1	エラー発生後に処理を停止

“0”を入力します。

- Number of simultaneous processes (同時プロセスの数) (1～6)

“1”を入力します。

[Language] タブには、次のオプションが含まれています。

- Update translated text (Updates Only) (翻訳されたテキストの更新 (更新のみ))

値	記述
0	翻訳済みテキストは置換されません。
1	翻訳済みテキストが置換されます。

“0”を入力します。

- Source data source for translated text (翻訳されたテキストのソース・データ・ソース)
 ブランクにします。

ZJDE0007

[Options]タブには、次のオプションが含まれています。

- Merge Type (マージ・タイプ)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
2	アップグレード
3	アップデート
4	言語のみ

これはインターネット・コード変更マージ用バージョンなので“3”を入力します。

- Source Environment Name (ソース環境名)
“CODECHANGE”と入力します。
- Target Environment Name (ターゲット環境名)
“PY9”と入力します。
- Release or Package Name (リリースまたはパッケージ名)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
アップグレード	ターゲット・リリース
アップデート	パッケージ名

“TESTICC”と入力します。

[Advanced]タブには、次のオプションが含まれています。

- Printing Level of Detail (詳細レベルの印刷)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	例外のみ
1	オブジェクト名のみ
2 - 5	詳細レベル

“2”を入力します。

- Merge Restart (マージの再開)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	標準処理
1	再開
2	結果の再印刷
3	テスト・モード

“0”を入力します。

- Stop Processing on Error (エラー時のプロセス停止)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	エラー発生後も処理を継続
1	エラー発生後に処理を停止

“0”を入力します。

- Number of simultaneous processes (同時プロセスの数) (1～6)

“0”を入力します。

[Language] タブには、次のオプションが含まれています。

- Update translated text (Updates Only) (翻訳されたテキストの更新 (更新のみ))

値	記述
0	翻訳済みテキストは置換されません。
1	翻訳済みテキストが置換されます。

“0”を入力します。

- Source data source for translated text (翻訳されたテキストのソース・データ・ソース)
 ブランクにします。

レポートの内容

このレポートは、マージされるオブジェクトを確認できるように設計されています。レポートにマージ対象外のオブジェクトが表示される場合は、その修正が新リリースにマージされないように、修正フラグとマージ・オプションを変更できます。また、新リリースにマージするすべての修正に適切なフラグが設定されているかどうかを確認できます。

このレポートには、修正されたオブジェクトに 1 組と、そのオブジェクトのうち修正されたコンポーネントに 1 組、合わせて 2 組の見出しが表示されます。

カラム見出し	記述
Obj Type (オブジェクト・タイプ)	オブジェクトのタイプ。たとえば、アプリケーションを表す APPL や、ビジネス関数を表す BSFN など。
Object Name	オブジェクトの英数字 ID。
Member Description	オブジェクトの簡潔な記述。
Syst Code (システム・コード)	オブジェクトが属するシステム・コード。
Location	オブジェクトが格納されているマシン。通常はデプロイメント・サーバー。
Path Code	オブジェクトが属する旧リリースのパス・コード。
Mod Flag (変更フラグ)	オブジェクトが変更されたかどうか(C)。
Mrg Opt (マージ・オプション)	オブジェクトがマージされるかどうか(1 は Yes、0 は No)。
Date Modified	オブジェクトの前回変更日付。

構成要素見出し	記述
Object Component	オブジェクトのうち、変更または追加された部分(フォームやイベント・ルールなど)。
Status	正常に読み取られた構成要素の状況は、変更済みまたは追加済みになります。状況が Failed と表示される場合は、バッチ・アプリケーションでは修正済み構成要素を読み取れなかったことを示します。
Description	変更の簡潔な記述。状況が Failed と表示される場合は、エラーの簡潔な記述が示されます。通常、これらのエラーは、ファイルの読取りに失敗したことが原因です。

このレポートには、次のレコード・タイプの状況が含まれます。

- パッケージ名
- ソース環境
- ターゲット環境
- 上級オプション

このレポートは 4 つのセクションに分かれており、次に個別に説明します。

- 最初のセクションは表紙で、レポートの生成に使用された処理オプションの概要を示します。
- 第 2 のセクションは、すべてのオブジェクトの完了状況のリストです。このセクションに表示されるオブジェクトは、次のとおりです。

オブジェクト・ライブラリアン・レコードの状況は、次のいずれかになります。

- Success: 正常に追加または更新されたオブジェクトの数。
- System 88 Warning (システム 88 警告): 新しいオブジェクト・ライブラリアンに存在しない JDE システム・コード内のオブジェクトについて、カスタム修正が存在しています。そのシステム・コードのオブジェクトは B73.3 では存在しないため、カスタマーはこれが手順に及ぼす影響を判断する必要があります。
- Errors: セットアップに問題があります。セットアップが正しいかどうかを検証するには、次のように作業します。
 - ソースおよびターゲットのオブジェクト・ライブラリアンへのアクセス権限を検証します。
 - JDE.LOG 内で、F986*テーブルに挿入エラーまたは削除エラーがないかどうかをチェックします。

バージョン・リスト・レコードの状況は、次のいずれかになります。

- Success: 正常に追加または更新されたコピーの数。スペック・マージ合計は、追加、置換、およびマージされたオブジェクト数を示します。
- PO Change Warning (PO 変更警告): ZJDE バージョンの処理オプションのフォーマットに変更があります。これらのバージョンのオプションを確認して更新してください。
- Errors: マージ中に発生したエラーの数。JDE.LOG 内で、F983051 または F98306 に関連する詳細メッセージをチェックしてください。

セントラル・オブジェクト・スペックの状況は、次のいずれかになります。

- No Action Taken (処理なし): これは ZJDE バージョンに関するものです。このカテゴリは、バージョン・データは転送されたが、スペックがマージされなかったことを示します。
- Warnings and Errors (警告およびエラー): 警告とエラーの詳細は、このレポートの第 4 のセクションで確認できます。
- Not Processed (未処理): マージが終了しなかったことを示します。エラー内容を確認し、〈Restart version number (バージョン番号の再起動)〉を使用してマージを再実行してください。
- In Process (処理中): オブジェクトの完了前に、ビジネス関数のマージ中に致命的なエラーが発生したことを示します。エラー条件を確認し、修正してからマージを再開してください。

- 第 3 のセクションには、各オブジェクトのマージ状況が 1 行ずつに要約されます。次の表は、このセクションのカラム見出しを示しています。

カラム見出し	記述
Obj Type	オブジェクト・タイプ。たとえば、BSFN はビジネス関数で、TBLE はテーブルです。
Object Name	オブジェクトの英数字 ID。
Version	このオブジェクトに関して実行されたレポートのバージョン番号。
Syst Code	システム・コード。
Merge Action	ソース上のオブジェクトがターゲット上で追加されたか、置換されたか、マージされたかを示します。
Object Librarian Merge	このオブジェクトに関するオブジェクト・ライブラリアン更新の完了状況。
Versions List Merge	このオブジェクトに関するバージョン・リスト更新の完了状況。
Merge Status	このオブジェクトに関するスペック・マージの完了状況。
Date Completed	オブジェクトがマージされた日付。
Time Updated	オブジェクトの更新時刻。

- 第 4 のセクションには、マージされた各オブジェクトの詳細情報が含まれています。一般的なエラーは、次のとおりです。
 - 挿入エラー
 - ヘッダー・ファイルとソース・ファイルのコピー失敗
 - テーブルまたはビューに無効な辞書項目
 - ビジネス・ビュー内の無効なファイル名またはカラム

次の表は、このセクションのカラム見出しを示しています。

カラム見出し	記述
Object Name	オブジェクトの英数字 ID。
Version	このオブジェクトに関して実行されたレポートのバージョン番号。「+」はレポートのテンプレートを示します。
Obj Type	オブジェクト・タイプ。たとえば、BSFN はビジネス関数で、TBLE はテーブルです。
Syst Code	システム・コード。

Merge Action	ターゲット・ソース上のオブジェクトが追加されたか、置換されたか、マージされたかを示します。
Merge Status	Success は、オブジェクトとすべての修正済み構成要素が正常にマージされたことを意味します。Warning は、1 つ以上の構成要素が正常にマージされなかったことを意味します。
Mod Flag	修正フラグ。
Date Completed	オブジェクトの前回修正日付。
Time Updated	オブジェクトの前回更新時刻。

カラムの小見出しは、次のとおりです。

カラム見出し	記述
Description	オブジェクトの構成要素のタイプ。たとえば、テンプレート、フィールド、イベント・ルールなどです。
Status	特定の構成要素のマージ状況。成功すると、[Added(追加)]または[Changed(変更)]状況になります。マージに失敗すると、[Failed]または[Error]となります。
Description	これは、構成要素の簡潔な記述、または、失敗した場合はそれを記述するエラー・メッセージです。[Disable and Append(不可および追加)]は、開発者による修正を必要とするイベント・ルールを示します。

エラーおよび解決方法

エラーが発生したためにマージ・プロセスが停止した場合は、再起動、あるいは再実行という2つの回復方法があります。オブジェクト・ライブラリアン・マージまたはバージョン・リスト・マージ中にプロセスが停止した場合、スペックを回復する必要はありません。最初にエラーの原因となった問題の修正後に、マージを再実行するだけですみます。[Merge Status]カラムがマージ済みまたはマージ中の項目がいくつかあることを示している場合は、再起動を実行する必要があります。

再起動では、マージ状況が[Not Processed]になっている項目がマージされます。他のすべての状況はスキップされます。状況が[Error]、[Warning]、または[In Process]になっているオブジェクトの元のスペックを復元する必要があるかどうかに関係なく、状況はマージ処理のタイプに基づいて評価する必要があります。

マージ処理	マージ状況	ターゲット・スペックの復元
ADD	任意	任 意
REPLACE	任意	任 意
CHANGE	NOT PROCESSED	任 意

CHANGE	SUCCESS	任 意
CHANGE	ERROR	必 須
CHANGE	IN PROCESS	必 須
CHANGE	WARNING	必 須

単一オブジェクトのスペックを復元するには、〈Object Transfer(オブジェクトの転送)〉を使用して新しいプリスティン(JDE オリジナル)環境からターゲット環境にオブジェクトをコピーします。

オブジェクトのマージ状況の修正

このリリースには、マージ中に処理の進行状況をオンライン表示するための新しいアプリケーション(P98700)が含まれています。F988810 は、マージ処理の制御と追跡に使用される新しいテーブルです。各レコードには、処理の発生時にタイム・スタンプが設定されます。特定のオブジェクトのマージを繰り返すためには、再起動操作の前に、上記のルールに従ってマージ状況を[Not Processed]に変更することができます。

参照

- 〈Specification Merge〉の再起動の詳細については、該当するアップグレード・ガイドまたは PTF/Cum アップデート・ガイドの「Installation Workbench の完了」を参照してください。

集計レポートには、完了したオブジェクト・ライブラリアン、バージョン・リスト、およびスペック・マージの状況が表示されます。

Specification Merge Multithread Driver Report(R987001)

注:

このレポートは、アップグレード、PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

〈Specification Merge Multithread Driver Report〉(R987001)は、マージ中にスレッドが完了すると作成されます。複数スレッドの処理中の場合は、完了時にスレッドごとにレポートが生成されます。

参照

- 〈Specification Merge〉の詳細については、「マージ」を参照してください。

処理オプション

[Options]タブには、次のオプションが含まれています。

- Merge Type(マージ・タイプ)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
2	アップグレード
3	アップデート
4	言語のみ

“3”を入力します。

- Source Environment Name(ソース環境名)
空白にします。
- Target Environment Name(ターゲット環境名)
空白にします。
- Release or Package Name(リリースまたはパッケージ名)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
アップグレード	ターゲット・リリース
アップデート	パッケージ名

空白にします。

[Advanced]タブには、次のオプションが含まれています。

- Printing Level of Detail(詳細レベルの印刷)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	例外のみ
1	オブジェクト名のみ
2 – 5	詳細レベル

“2”を入力します。

- Merge Restart(マージの再開)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	標準処理
1	再開
2	結果の再印刷
3	テスト・モード

“0”を入力します。

- Stop Processing on Error(エラー時のプロセス停止)。次のオプションのうち 1 つを入力します。

値	記述
0	エラー発生後も処理を継続
1	エラー発生後に処理を停止

“0”を入力します。

- Number of simultaneous processes(同時プロセスの数)(1～6)

“0”を入力します。

[Language]タブには、次のオプションが含まれています。

- Update translated text (Updates Only)(翻訳されたテキストの更新(更新のみ))

値	記述
0	翻訳済みテキストは置換されません。
1	翻訳済みテキストが置換されます。

“0”を入力します。

- Source data source for translated text(翻訳されたテキストのソース・データ・ソース)
空白にします。

レポートの内容

このレポートは、各スレッドで完了したタスクの要約情報を示します。個々のスレッド・レポートに表示される情報は、次のとおりです。

カラム見出し	記述
Object Type	マージされたオブジェクトの種類を示します。TBLE はテーブル、BSFN はビジネス関数、BSVW はビジネス・ビュー、APPL はアプリケーション、DSTR は分散オブジェクト、GT はメディア・オブジェクト・データ構造体、UBE はバッチ・アプリケーションです。
Action	発生した処理を示します。[Merge]はオブジェクトがマージされたことを意味し、[Add/Replace(追加/置換)]は既存オブジェクトにオブジェクトが追加または置換されたことを意味します。
Objects Merged	このタスクでマージ対象となるオブジェクト数を示します。
Success	このタスクで正常にマージされたオブジェクト数を示します。
Errors	このタスクで発生したエラー数を示します。
Warnings	このタスクで発生した警告数を示します。

このレポートは、〈Batch Versions(バッチ・バージョン)〉フォームからは起動されないため、処理オプションは変更しないでください。

List Tables that Differ from OW Specs(R9698711)

このレポートは、インストールまたはアップグレード後に〈Batch Versions〉から実行できます。このレポートでは、データベース・テーブルとインデックスがセントラル・オブジェクトまたは TAM スペックと比較されます。このレポートを使用して、データベースにあるテーブルのフォーマットを検証します。

UDC マージ・レポート、データ辞書マージ・レポート、およびメニュー・マージ・レポート

注:

これらのレポートは、アップグレード、および PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

〈UDC Merge〉、〈Data Dictionary Merge〉、および〈Menu Merge〉プログラムでは、次のレポートが生成されます。

- UDC Merge and Exception (UDC マージおよび例外) レポート (R987241)
- Data Dictionary Merge and Exception (データ辞書マージおよび例外) レポート (R989200)
- Menu Merge (メニュー・マージ) レポート (R989751B)

この 3 つのマージ・レポートは、『アップグレード・ガイド』の「Installation Workbench の実行」で説明されている〈Control Table Workbench〉の実行時に作成されます。各レポートは、UDC、データ辞書項目、およびメニューのマージ状況を示します。

処理オプション

この 3 つのレポートの処理オプションは同じです。

UDC マージ/例外レポートとデータ辞書マージ/例外レポート

[Release Info (リリース情報)] タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a 1 for Proof Mode or a 2 for Update Mode (default is Update Mode).
"2"を入力します。
- Enter the Environment Name for the Old Release. (旧リリースの環境名を入力します。)
"PRODB732"と入力します。
- Enter the Name of the Old Release.
"B732"と入力します。
- Enter the Name of the New Release.
"B9"と入力します。

- Enter a Y if language codes need to be merged, N otherwise. (言語コードのマージが必要な場合は Y、不要な場合は N を入力します。)

“N”を入力します。

メニュー・マージおよび例外レポート

[Merge (マージ)] タブには、次のオプションが含まれています。

- Enter a 1 for Proof Mode or a 2 for Update Mode (default is Update Mode).

“2”を入力します。
- Enter the Name of the Old Release Environment.

“PRODB732”と入力します。
- Enter the Name of the Old Release.

“B732”と入力します。
- Enter the Name of the New Release.

“B9”と入力します。

レポートの内容

レポートの表紙には、アップグレード基本情報、リリース情報、ソース・マッピング、レプリケーションからのマッピング、その他のテーブル・マッピング、および、レポートの実行モードが要約されます。

レポートの本文には、環境の状況とリリース情報、ソース UDC テーブルのマッピング、レプリケーションからの UDC テーブルのマッピング、その他のテーブル・マッピング、モードが示されます。

すべてのマージが正常に終了すると、各レポートの最後に次のメッセージが示されます。

- UDC マージ/例外レポートの場合：

UDC Merge process completed successfully with no errors and warnings. (UDC マージ・プロセスは正常終了し、エラーや警告は発生しませんでした)
- データ辞書マージ/例外レポートの場合：

Data dictionary merge process completed successfully with no errors and warnings (データ辞書マージ・プロセスは正常終了し、エラーや警告は発生しませんでした)
- メニュー・マージ・レポートの場合：

Menu merge process completed successfully with no errors and warnings (メニュー・マージ・プロセスは正常終了し、エラーや警告は発生しませんでした)

エラーおよび解決方法

レポートに警告が示される場合は、マージが終了したことを意味します。レポートの最後に印刷された警告ログをチェックし、発生したと思われる問題を診断してください。

エラーが表示されるのは、処理を停止できないほど重大な問題が発生した場合のみです。レポートにエラー・メッセージが表示される場合は、マージ処理が終了していません。エラーに関する情報も、レポート末尾のログに印刷されます。

変更テーブルにマージ元リリースマージ先リリースの設定に関連するレコードが存在しない場合は、次のエラー・メッセージが示されます。

DD Merge process terminated: Check Error Log (DD マージ処理が中止されました: エラー・ログをチェックしてください)

Index Regeneration(R9698713)

このレポートは、インストールまたはアップグレード後に〈Batch Versions〉から実行します。データベースのインデックスが F98712 および F98713 のリリース 8.9 インデックス・スペックと比較されます。更新モードで実行すると、誤りのあるインデックスが再作成されます。

Pathcode Copy(R9800942)

〈Environment Workbench〉では、既存のパス・コードからパス・コードをコピーするカスタム環境ごとに、R9800942 が実行されます。デプロイメント・サーバー上で、既存のパス・コードのディレクトリ構造がコピーされます。また、パッケージ定義フィールド (F9603、F9631、F9621、および F96215) のパッケージ情報とレコードがコピーされ、各項目のパス・コード名が置換されます。

本稼働用環境のアップグレード

本稼働用環境のアップグレードは、すべてのテストを正常に完了した後に行います。ここで説明する手順に従って、本稼働用環境を旧リリースから新リリース(リリース 8.9)にアップグレードします。

通常のアップグレードでは、開発や CRP/PY などのアップグレード環境と、本稼働用などの本稼働用環境があります。アップグレードの最初のフェーズでは、新リリース用に確保する必要がある修正内容とカスタマイズ内容が、すべてアップグレード環境に反映されます。次に、テーブル変換、スペック・テーブルのマージ、ビジネス・データ・テーブル変換およびコントロール・テーブル・マージを使用して、セントラル・オブジェクトを変換します。このアップグレードのテストを正常に完了すると、本稼働用環境の運用開始準備が完了したことになります。

新規の本稼働用環境では、正常にマージされたセントラル・オブジェクト(すべての修正内容とカスタマイズ内容を含む)のみでなく、正常にマージされたコントロール・テーブルも利用できます。後は、ビジネス・データ・テーブル変換をマージまたは変換処理として実行するだけで、本稼働用環境を正常に準備できます。ただし、PY から PD にコントロール・テーブルをコピーしないように選択した場合は、〈Control Table Merge (コントロール・テーブル・マージ)〉を再実行する必要があります。

注:

他にオブジェクト・スペック変更を必要とする場合には、「本稼働用環境の更新」の手順は実行できません。これが、アップグレードと本稼働用環境アップグレードの更新内容の違いです。

全般的なチェックリストと考慮事項

- **サインオン・セキュリティ** – デプロイメント・サーバー上のリリース 8.9 の場合、ワークベンチの実行中はセキュリティ・サーバーをオフにする必要があります。ワークベンチの実行中にサインオン・セキュリティを使用すると、セキュリティ上の問題を生じる場合があります。ユーザー JDE、パスワード JDE を使用してサインインするデータベースがないと、パスワードの問題を生じる場合があります。
- **プランに関する通常タスク** – 本稼働用環境のアップグレードの場合も更新の場合も、ワークベンチは〈Initial Tasks (通常タスク)〉から始まります。通常タスクでは、次の 4 つのレポートが実行されます。ただし、これらのレポートは初期アップグレード時に既に実行されているため、これらのバッチ・アプリケーションは実行されますが、デフォルトではデータはコピーされません。代替の実行方法については、下記のバッチ・プログラムの説明を参照してください。

R98403|XJDE00020 – 〈Copy Data Dictionary Tables (データ辞書テーブルのコピー)〉

このバッチ・プログラムでは、データ辞書の変更分と追加分を保つために、データ辞書テーブルが旧データ辞書データ・ソースから新データ・ソースにコピーされます。デフォルトでは、最初の環境をアップグレードするときにこのコピーが一度だけ実行されることに注意してください。したがって、本稼働用環境のアップグレードで新たなデータ辞書項目を取り込みたい場合は、追加のステップが必要になります。

R98403|XJDE00023 - <Copy System Tables(システム・テーブルのコピー)>

このバッチ・プログラムでは、旧システムのデータ・ソースからリリース 8.9 データ・ソースに F98OWSEC テーブルがそのままコピーされます。このバッチ・プログラムもデフォルトで一度だけ実行されるため、リリース 8.9 本稼働用の F98OWSEC テーブルには、最初にアップグレードした環境の最初のバッチ日付でのサインオン・セキュリティが保持されます。通常は最初のアップグレードからテスト、最終的な本稼働用環境のアップグレードに至るまでに時間がかかるため、これでは不十分です。

このバッチ・プログラムでは、旧システムのデータ・ソースからリリース 8.9 のデータ・ソースに少数のシステム・テーブルがコピーされます。コピーされるテーブルは、次のとおりです。

- ユーザー・リスト(F0092、F0021、F0022)
- セキュリティ・ワークベンチ(F00950)
- プリンタ定義セキュリティ(F98616、F986161、F986162、F986163、F986164、F986165)

これらのテーブルとそこに含まれているデータは、デフォルトで一度だけコピーされます。

Release Master(リリース・マスター)

残りのシステム・テーブルをローカル・データ・ソースからコピーします。

これらのレポートを実行する前に、重要な考慮事項があります。この 3 つのレポートはいずれも <Additional Tasks(追加タスク)>処理で実行されますが、レポートが示すように何もコピーされません。これは、最初のアップグレード中に実行した時点で自動入力されているためです。初回の実行時の処理内容は、次のとおりです。

<Installation Workbench>を開始すると、<Installation Workbench>自体から渡された事前設定済みの一連の処理オプションを使用して、これらのレポートが起動されます。処理オプションの事前設定では、既存のテーブルの再作成に関するオプション番号 7 には、“A”は**設定されていません**。また、テーブルを消去せずにレコードを追加するかどうかに関する処理オプション番号 9 は、“N”に設定されています。これは、コピー中にテーブルに新規レコードが追加されないことを意味します。

この 2 つの事前設定済み処理オプションは、バッチ・プログラムの結果に重要な影響を及ぼします。バッチ・プログラムを初めて実行すると、最初に System - B9 データ・ソースがチェックされ、バッチ内のテーブルが新規データ・ソースに存在するかどうかを確認されます。まだ <Release Master>は実行されていない(次のステップで実行される)ため、System - B9 テーブルは存在しません。バッチ・プログラムが続行され、旧システムのデータ・ソースから新たな System - B9 データ・ソースにテーブルがコピーされます。その後、<Release Master>の実行時に、すべてのシステム・テーブルが新たな System - B9 データ・ソースに追加されます。既存のテーブルが上書きされることはありません。したがって、新たに追加された少数のシステム・テーブルは、旧データ・ソースと旧リリースから直接コピーされており、Data Dictionary - B9 と System - B9 の両方のデータ・ソースに存在することになります。

旧データ・ソースからコピーされたテーブルは、EnterpriseOne に適したフォーマットになっていない場合があります。すべてのテーブル移行は後でワークベンチ中に実行されるため、これは問題ありません。ただし、リリース間では同じテーブル・フォーマットが使用されます。旧リリースからコピーする時には、テーブルとそこに含まれるデータを新規フォーマットにするためのテーブル変換が実行される場合があります。また、リリース 8.9 では、新規リリース 8.9 リリースに関連するテーブルへの情報の追加が必要になる場合もあります。

保持したい変更ごとに、プランナ環境で〈Batch Versions(バッチ・バージョン)〉から R98403 を手作業で実行する必要があります。初期アップグレード中に実行されたレポートに表示されるとおり、適切なターゲット環境とソース環境を使用してください。前述の表を調べると、必要な変更を取り込むためにレポートのどのバージョンを実行すればよいかを判断できます。保持するデータのテスト中にリリース 89 に対して修正または追加を行った場合は、テーブルを削除せずにテーブルにレコードを追加するように処理オプションを設定して R98403 を実行する必要があります。たとえば、リリース 89 ユーザー・テーブルに対する追加をコピーする場合は、処理オプション 9 を“Y”に設定して R98403 を実行します。これにより、単にリリース 89 テーブルにレコードが追加されます。このオプションを指定すると、テーブルに対する新規レコードの追加のみが実行されます。多数の異なるユーザーについてサインオン・セキュリティ用の新規パスワードを取り込みたい場合は、既存テーブルが再作成されるように処理オプションを“A”に設定して R98403 を実行します。これにより、既存のセキュリティ・テーブルが削除され、旧システムのデータ・ソースからコピーされます。この方法を使用する場合は、削除と再作成の対象となるテーブルに対してテーブル変換が発生しないことを確認する必要があります。テーブル変換が発生している場合は、変換を再度リセットして実行し直してください。

ユーザー・リスト、セキュリティ・ワークベンチまたはプリンタ・テーブルに対する変更を取り込むために、R98403|XJDE00023 を手作業で実行する場合は、〈Data Selection(データ選択)〉で特定のテーブルのみを指定して、このレポートを実行する必要があります。

本稼働用環境をアップグレードするためのワークベンチ実行中は、ユーザー全員をログオフさせてください。本稼働用環境は稼働を停止する必要があります。

マージ

特に明記されている場合を除き、この章の情報はアップグレードと PTF/Cum アップデートにのみ適用されます。

マージを実行するには、次の 2 つの方法があります。

- テスト・モードでは、マージ・レポートが作成されますが、コントロール・テーブルは更新されません。このモードでは、テーブルを更新しなくても、レポートに含まれた変更を検証できます。
- 更新モードでは、マージ・レポートが作成され、コントロール・テーブル内の項目が更新されます。

ヒントおよびテクニック

マージが正常終了したかどうかは、各マージが終了するたびにチェックしてください。また、トラブルシューティングが必要になった場合に備えて、ログを保存してください。

この項では、次のマージ・プログラムについて説明します。

□ コントロール・テーブルのマージ

- 〈Data Dictionary Merges(データ辞書マージ)〉は、インストール、アップグレード、PTF/Cum アップデートに使用します。
- 〈User Defined Code Merges(ユーザー定義コード・マージ)〉は、アップグレードと PTF/Cum アップデートにのみ使用します。
- 〈Solution Explorer Merges(Solution Explorer のマージ)〉は、アップグレードと PTF/Cum アップデートにのみ使用します。
- 〈Favorites Merges(よく使用する項目のマージ)〉は、アップグレードと PTF/Cum アップデートにのみ使用します。
- 〈Reports Director Templates Merges(レポート・ディレクター・テンプレートのマージ)〉は、アップグレードと PTF/Cum アップデートにのみ使用します。
- 〈Tips of the Day Merges(ワンポイント・ヒントのマージ)〉は、アップグレードと PTF/Cum アップデートにのみ使用します。
- 〈Workflow Merges(ワークフローのマージ)〉は、PTF/Cum アップデートにのみ使用します。

□ スペックのマージ

- 〈Object Librarian Merges(オブジェクト・ライブラリアン・マージ)〉は、アップグレードと PTF/Cum アップデートにのみ使用します。
- 〈Versions List Merges(バージョン・リスト・マージ)〉は、アップグレードと PTF/Cum アップデートにのみ使用します。
- 〈Central Object Merges(セントラル・オブジェクト・マージ)〉は、アップグレードと PTF/Cum アップデートにのみ使用します。

- 〈Update Language Text Merges(言語テキスト・アップデートのマージ)〉は、PTF/Cum アップデートにのみ使用します。

参照



- 個々のテーブルの詳細については「主要なテクニカル・テーブル」

コントロール・テーブルのマージ

リリース 8.9 ソフトウェアの基本構造は、コントロール・テーブルからなっています。これらのテーブルによって、システムに入力する情報が体系化され、その処理順序が設定されます。また、入力データに対して実行する処理のタイプも確定されます。たとえば、データ辞書テーブルでは、ソフトウェア内のデータ項目のすべてのスペックが定義されます。

コントロール・テーブルとトランザクション・テーブルには、次のような違いがあります。

- コントロール・テーブルには、デモ・データとカスタマー・データで共有するデータが含まれています。
- トランザクション・テーブルは移行できますが、デモ・データがマージされることはありません。

カスタマーは、コントロール・テーブルを修正できます。たとえば、自社のビジネス・ニーズに合わせてメニューを変更できます。コントロール・テーブルを修正可能にするため、これらの修正されたコントロール・テーブルを新規リリースでの新しい情報に安全にマージできる機能が提供されています。これにより、カスタマーが修正した情報が保護されます。

この項では、次のトピックとコントロール・テーブル・マージ・プログラムについて説明します。

- カスタマー・ベースのマージ
- 言語固有のテーブル
- データ辞書マージ
- データ辞書スペックのマージとデータ辞書テキストのマージ
- Solution Explorer のマージ
- ユーザー定義コード(UDC)のマージ
- お気に入りのマージ
- レポート・ディレクタ・テンプレートのマージ
- ワンポイント・ヒントのマージ
- ワークフローのマージ

カスタマー・ベースのマージ

基本的にカスタマーが行うマージによって、デフォルトの変更テーブルが取り込まれ、カスタマーのコントロール・テーブルにマージされます。変更テーブルには、前回のリリース以降に変更または追加したコントロール・テーブルのデータに関連する情報が格納されています。この情報は、メニューの変更内容など、詳細を示している場合もあります。これらのマージでは、B73.3.2 から B73.3.4 など、基本リリースから次の基本リリースへの変更が検索され、B73.3.2 テーブルが B73.3.4 からの新しい情報で更新されます。

カスタマー・ベースの次のマージが実行されます。

- データ辞書のマージ
- ユーザー定義コードのマージ
- Solution Explorer のマージ
- お気に入りのマージ
- レポート・ディレクタ・テンプレートのマージ
- ワンポイント・ヒントのマージ
- ワークフローのマージ

また、一部のマージでは、データ選択基準を指定することもできます。この機能を使用すると、リリース 8.9 のコントロール・テーブルにマージする情報を選択できます。これにより、マージされる情報が限定され、マージ処理全体の所要時間が大幅に短縮されます。

言語固有のテーブル

この情報は、代替言語をインストールするユーザーのみを対象としています。

配布された言語テーブルは、コントロール・テーブル、システム・テーブル、およびデータ辞書テーブルで構成されます。

- 必要な言語でテキストが表示されるように、お気に入り記述テーブル(F91100D)をロードする必要があります。
- 必要な言語でテキストが表示されるように、プロセス・マスター翻訳記述テーブル(F98800D)とアクティビティ・マスター翻訳記述テーブル(F98810D)をロードする必要があります。
- ソフトコード・テキストがレポートに表示されるように、RDA ソフトコード・テキスト・テーブル (F83100 および F83110)をロードする必要があります。

データ辞書のマージ

注:

このマージは、アップグレードおよび PTF/Cum アップデートを対象としています。

〈Data Dictionary merge〉(R989200P)では、プランナ・データベース内の新しい B9 データ辞書テーブルと変更テーブルからの情報の組合せを使用して、カスタマーのデータ辞書テーブルが更新されます。このプログラムは、〈Installation Workbench〉フェーズで実行します。

インストール時に限り、このマージ・プログラムによって AS/400 のデータ辞書項目に対する変更内容が、リリース 8.9 データ辞書テーブルにコピーされます。〈Installation Workbench〉の後にスペック更新プログラムを実行して、リレーショナル・データベースのレコードを System Local のレプリケート・オブジェクトに変換します。このプロセスには、〈Data Dictionary Specification Merge〉および〈Data Dictionary Text merge〉プログラムが含まれます。この 2 つのプログラムを実行し、修正した AS/400 のデータ辞書ファイルをリリース 8.9 のリレーショナル・データベース・テーブルにマージしてから、各ワークステーションと論理サーバーで使用されるレプリケート・テーブルにマージする必要があります。

リリース 8.9 のデータ辞書テーブルは、次のように格納されています。

- 次のプリスティン・データ辞書テーブルは、リレーショナル・データベースに格納されます。他のワークステーションにレプリケートされるデータ辞書項目の変更は、このテーブル内で実施する必要があります。
 - F9200 - データ項目マスター
 - F9202 - データ・フィールド表示テキスト
 - F9203 - データ項目名称記述
 - F9207 - データ辞書 - エラー・メッセージ情報
 - F9210 - データ・フィールド・スペック
 - F9211 - スマート・フィールド
 - F9212 - スマート・フィールド条件
 - F00165 - メディア・オブジェクト
- レプリケートされたデータ辞書項目は、各ワークステーション上のスペック・テーブルに格納されます。これらのテーブルは、¥Spec ディレクトリ内にある DDDICT および DDTEXT テーブルの.dbd および.xdb バージョンです。

インストール、アップグレード、および PTF/Cum アップデートの際に代替言語をインストールする場合、これらのファイルからのテキストを必要な言語で表示するには、データ辞書テキスト・テーブル (GT92002、F9202、および F9203) をロードする必要があります。データ辞書ファイルにより、必要な言語が既にインストール済みの英語版レコードの先頭に追加されます。

Solution Explorer のマージ

注:

このマージは、アップグレードおよび PTF/Cum アップデートを対象としています。

〈Solution Explorer Merge〉(R9690002)では、プランナ・データベースの新しい Solution Explorer テーブルと変更テーブルからの情報の組合せを使用して、カスタマーの Solution Explorer テーブルが更新されます。このプログラムは、〈Installation Workbench〉フェーズで実行します。メニュー・テーブルは、F9000、F9001、F9005、F9006、F9020、F9022、および F9050 です。

代替言語をインストールする場合、テキスト代替記述テーブル(F9002)には、Solution Explorer を必要な言語表示するための言語レコードが含まれています。Solution Explorer テキスト・ファイルにより、必要な言語が既にインストール済みの英語版レコードの先頭に追加されます。



ユーザー定義コードのマージ

注:

このマージは、アップグレードおよび PTF/Cum アップデートを対象としています。

〈User Defined Codes merge〉(R987241)では、プランナ・データベース内の新しいユーザー定義コード・テーブルと変更テーブルからの情報の組合せを使用して、カスタマーのユーザー定義コード・テーブルが更新されます。このプログラムは、〈Installation Workbench〉フェーズで実行します。UDC テーブルは、F0004 と F0005 です。

インストール・プロセス中にこのマージを使用するのは、代替言語をインストールする場合のみです。

アップグレード時と PTF/Cum アップデート時に代替言語をインストールする場合は、〈User Defined Codes (UDC) Merge〉(R987241)によって言語の UDC テキストがマージされます。ビジネス関数のマージを実行すると、ユーザー定義コード・タイプ・レコード(F0004)またはユーザー定義コード・レコード(F0005)を追加するたびに、対応する言語レコード(F0004D または F0005D)がユーザー定義コード言語テーブルに追加されます。

このマージには、言語 UDC マージを実行するためのレポート・インターコネクトも用意されています。

お気に入りのマージ

注:

このマージは、アップグレードおよび PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

〈Favorites Merge〉(R96911002)では、プランナ・データベース内の新しいお気に入りテーブルと変更テーブルからの情報の組合せを使用して、カスタマーのお気に入りテーブルが更新されます。このプログラムは、〈Installation Workbench〉フェーズで実行します。お気に入りテーブルは、よく使用するリレーションシップおよびプロパティ・テーブル(F91100)です。

レポート・ディレクター・テンプレートのマージ

注:

このマージは、アップグレードおよび PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

〈Report Director Templates Merge〉(R96914002)では、プランナ・データベース内の新しいレポート・ディレクター・テンプレート・テーブルと変更テーブルからの情報の組合せを使用して、カスタマーのレポート・ディレクター・テンプレート・テーブルが更新されます。このプログラムは、〈Installation Workbench〉フェーズで実行します。レポート・ディレクター・テンプレート・テーブルは、F91400、F91410、F91420、および F91430 です。

ワンポイント・ヒントのマージ

注:

このマージは、アップグレードおよび PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

〈Tips of the Day merge〉(R96915002)では、プランナ・データベース内の新しいワンポイント・ヒント・テーブルと変更テーブルからの情報の組合せを使用して、カスタマーのワンポイント・ヒント・テーブルが更新されます。このプログラムは、〈Installation Workbench〉フェーズで実行します。ワンポイント・ヒント・テーブルは、F91500 と F91510 です。

ワークフローのマージ

注:

このマージは、PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

〈Workflow merge〉(R98800)では、新リリースに含まれているワークフロー・データがカスタマーのワークフロー・データとマージされます。このプログラムは、〈Installation Workbench〉フェーズで実行します。

ワークフロー・テーブルは、次のとおりです。

- F98800 プロセス・マスター
- F98800D プロセス・マスター翻訳記述
- F98800T プロセス・マスター補足情報
- F98810 アクティビティ・マスター
- F98810D アクティビティ・マスター翻訳記述
- F98811 アクティビティ・スペック
- F98830 プロセス・アクティビティ関連付け
- F98840 組織構造マスター
- F98845 組織構造ルール

注:

ワークフロー・マージにより、カスタマーが定義したデータが次のように上書きされるため注意してください。

- カスタマーがデフォルトのワークフロー・プロセスを修正したために、新規のワークフロー・プロセスが変更されている場合は、新規のワークフロー・プロセスを更新すると、カスタマーが修正したワークフロー・プロセスが上書きされます。
- カスタマーが、更新されたデフォルト・ワークフロー・プロセスと同じ名前を指定して、新規のワークフロー・プロセスを作成していた場合は、更新後のデフォルト・ワークフロー・プロセスにより、同じ名前でカスタマーが作成したワークフロー・プロセスが更新されます。

カスタマーが上書きの危険を伴うプロセスを定義していた場合は、マージを実行する前に既存のプロセスをコピーし、別のバージョン番号を指定して名前を変更する必要があります。

プロセスが上書きされるかどうかは、マージをテスト・モードで実行して確認することができます。

スペックのマージ

この項では、次のスペック・マージ・プログラムについて説明します。

- オブジェクト・ライブラリアン・マージ
- バージョン・リスト・マージ
- セントラル・オブジェクト・マージ
- 言語テキスト・アップデートのマージ

次の表は、アップグレードまたは PTF/Cum アップデート中にスペック・マージを実行するときに、カスタマーが修正した場合の、次のタイプのオブジェクトの処理内容を示しています。この表は、カスタマーによる処理が同じオブジェクトを対象としていることを前提としています。

- アプリケーション
- ビジネス関数
- ビジネス・ビュー
- データ構造体
- テーブル
- バッチ・アプリケーション

デフォルトの処理	カスタマーによる処理	アップグレード	アップデート
オブジェクトの修正	処理なし	処理なし	追加または置換
オブジェクトの修正	同じオブジェクトの修正	マージ	マージ
オブジェクトの追加	処理なし	処理なし	追加
処理なし	新規オブジェクトの追加	追加	処理なし
処理なし	処理なし	処理なし	処理なし
処理なし	同じオブジェクトの修正	マージ	処理なし
オブジェクトの削除	処理なし	処理なし	レポートに警告が表示され、オブジェクト・ライブラリアンがシステム・コード 88 に更新されるはずですが。
オブジェクトの削除	オブジェクトの修正	レポートに警告が表示され、オブジェクトがマージされます。	レポートに警告が表示され、オブジェクトは削除されません。

参照

- レポートの詳細については、このガイドの「レポート」の「Specification Merge Multithread Driver Report (R987001)」

代替言語をアップグレードする場合は、マージによってカスタム・オブジェクト用のすべてのテキストがコピーされます。修正されたオブジェクトについては、変更または追加されたテキストがすべて新リリースに反映されます。

代替言語をアップグレードする場合、TAM パッケージには基本テキストのみが含まれています。マージによって、セントラル・オブジェクトの基本テキストがパッケージからの基本テキストに置換されます。翻訳済みのテキストが削除されることはありません。

オブジェクト・ライブラリアンのマージ

注:

このマージは、アップグレードおよび PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

アップグレード時には、〈Specification merge〉(R98700)によって、B73.2 のオブジェクト・ライブラリアンに対する変更(オブジェクトと修正フラグの追加や、カテゴリ・コードの変更など)が、新しい OneWorld Xe または ERP 8.0 のオブジェクト・ライブラリアンに取り込まれます。

PTF/Cum アップデート時には、オブジェクト・ライブラリアンの変更(オブジェクトの追加やカテゴリ・コードの変更など)が、既存の OneWorld Xe または ERP 8.0 のオブジェクト・ライブラリアンに追加されます。

バージョン・リストのマージ

注:

このマージは、アップグレードおよび PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

アップグレード時の〈Versions List merge〉(R98700)では、新リリースとその処理オプション・データに有効なオブジェクトについて、XJDE と ZJDE 以外(カスタマー・バージョン)のバージョン・スペックが保存されます。また、この処理では、ZJDE および ZJDEC バージョン(カスタマー・バージョン)の処理オプション・データも保存されます。

PTF/Cum アップデート時の〈Versions List merge〉(R98700)では、新リリースに有効なオブジェクトについて、XJDE と ZJDE 以外(カスタマー・バージョン)のバージョン・スペックが保存されます。さらに、それぞれの処理オプション・データが保存され、新しい XJDE および ZJDE バージョンが追加されます。また、この処理では、変更があったオブジェクトについて、ZJDE および ZJDEC バージョン(カスタマー・バージョン)の処理オプション・データも保存されます。

セントラル・オブジェクトのマージ

注:

このマージは、アップグレードおよび PTF/Cum アップデートのみを対象としています。

次の情報は、代替言語をインストールするユーザーのみを対象としています。

インストール時に代替言語をロードする場合は、その言語を使用可能にするために、言語レコードをセントラル・オブジェクト・テーブルにロードする必要があります。セントラル・オブジェクトテーブルには、選択した言語によるテキスト表示に必要な代替言語レコードが含まれています。

言語対応テーブルには、処理オプション・テキスト(F98306)、レポート設計ツール(RDA)テキスト情報(F98760)、およびフォーム設計ツール(FDA)テキスト情報(F98750)があります。英語版インストール時に選択した環境に応じて、ロードされる環境ごとに 1 組ずつなど、複数組のセントラル・オブジェクトを使用できます。

言語テキスト・アップデートのマージ

このマージは、代替言語をインストール済みで、PTF/Cum アップデート・リリースのみをインストールする場合を対象としています。

〈Update Language Text Merge〉は、〈Specification Table Merge Workbench〉中に自動的に実行されます。

このマージでは、言語データベースからセントラル・オブジェクト・データベースにテキストがコピーされます。存在しない言語テキスト・レコードがあれば追加されます。既存のレコードは、そのテキストに変更があれば更新されます。オブジェクト・ライブラリアン内でマージ・フラグが正しく設定されていれば、オブジェクト内のカスタム・テキストは保存されます。このプロセスは、〈Specification Table Merge Workbench〉から自動的に呼び出されますが、R98700 からスタンドアロン・オプションとして実行することもできます。ワークベンチから実行すると、言語プラン・テーブルを使用して、プラン内で選択した各言語、データ・ソース、および環境がマージされます。

